平成 28 年度

姫路市高齢者実態意向調査報告書

目次

Ⅰ　調査概要 3
1　対象者 3
2　抽出方法 3
3　調査方法 3
4　調査期間 3
5　発送数・回収数 3
6　調査結果の見方 4
Ⅱ　調査結果 5
1　回答者の属性 5
2　生活状況について 7
3　からだを動かすことについて 16
4　食べることについて 31
5　毎日の生活について 41
6　地域での活動について 55
7　たすけあいについて 66
8　健康について 70
9　将来について 81
10　地域包括支援センターについて 83
11　ボランティアについて 87

Ⅰ　調査概要

1　対象者

・平成 28 年 12 月 1 日現在、市内に住所を有し、要介護認定を受けていない 65 歳以上の市民および要支援 1・2 の認定を受けている 65 歳以上の市民

2　抽出方法

・無作為抽出（日常生活圏域別に比例配分）

3　調査方法

・郵送配布、郵送回収

4　調査期間

・平成 28 年 12 月 13 日～平成 28 年 12 月 28 日

5　発送数・回収数

・全体の発送数・回収数

		発送数	回収数	白票	有効回収数	有効回答率
全体		3,536	2,406	2	2,404	68.0%
	一般高齢者	1,820	1,255	0	1,255	69.0%
	要支援者	1,716	1,146	2	1,144	66.7%
	要介護状態不明		5	0	5	

・日常生活圏域別の発送数・有効回収数

圏域	一般高齢者		要支援者	
	発送数	有効回収数	発送数	有効回収数
北部	140	102	140	94
中部第一	140	95	140	90
中部第二	140	99	140	93
東部	140	91	140	101
灘	140	98	140	103
飾磨	140	90	140	99
広畑	140	94	140	94
網干	140	96	140	96
西部	140	103	140	89
家島	140	77	105	48
夢前	140	100	140	87
香寺	140	112	140	99
安富	140	98	71	51
合計	1,820	1,255	1,716	1,144

6　調査結果の見方

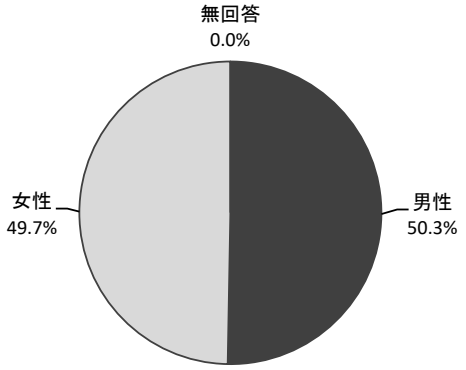
・本文中および図中に示した集計結果は、その質問の回答者数を基数（N）として算出し、百分率（%）で示している。
・集計結果は小数点第２位で四捨五入しているため、回答比率の合計が 100.0%とならない場合がある。
・複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超えることがある。また、グラフには「MA%」を付記している。
・図では、コンピューターの都合上、回答選択を短縮して記載している場合がある。

Ⅱ　調査結果

1　回答者の属性

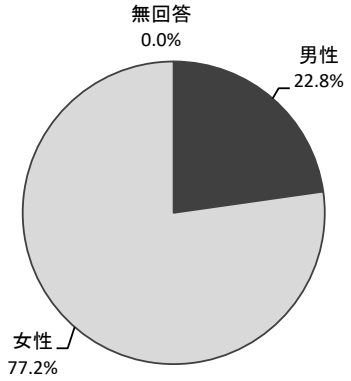
性別

【一般高齢者】



（N=1,255）

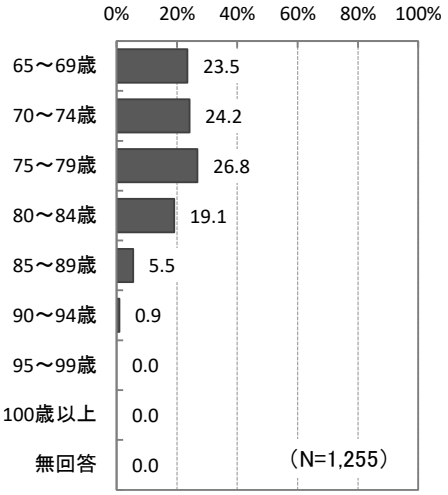
【要支援者】



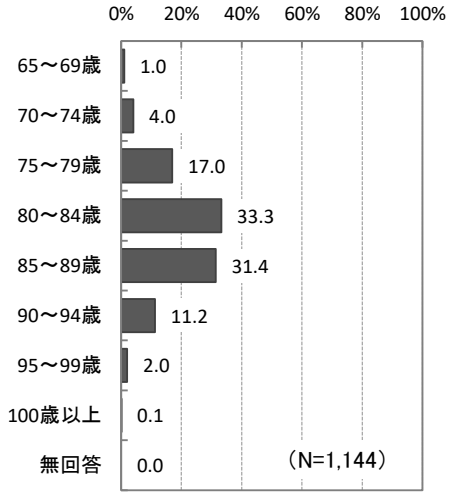
（N=1,144）

年齢

【一般高齢者】

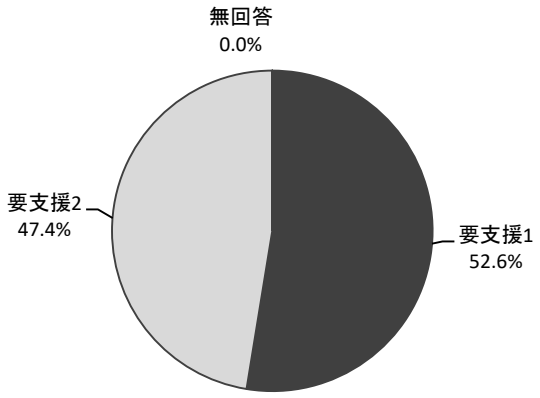


【要支援者】



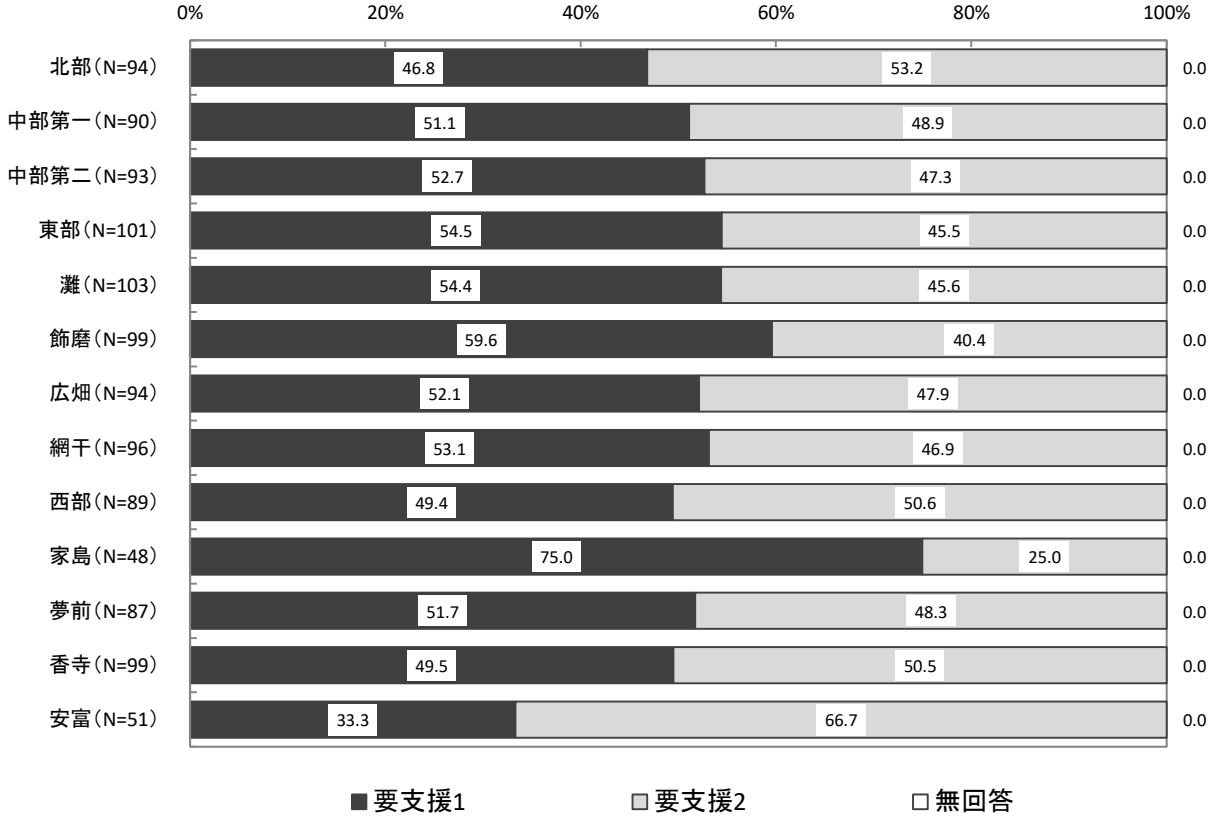
要介護状態

【要支援者】



（N=1,144）

【要介護状態　要支援者／日常生活圏域別】



2　生活状況について

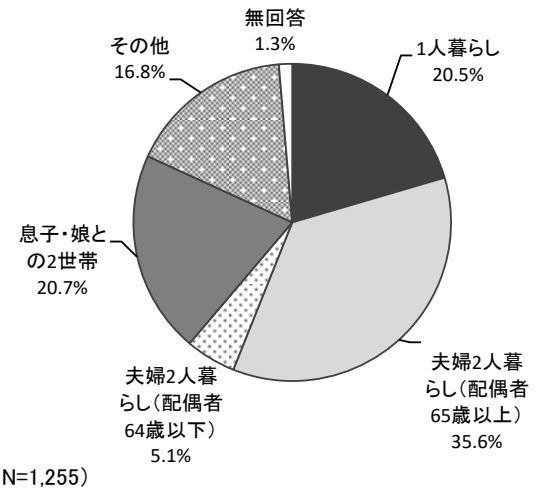
一般高齢者では、介護・介助を必要としていない人が８割を超えているが、自分・家族の健康や、それに関わる金銭的な不安を感じている人が多い。すでに、何らかの介護・介助を必要としている人が約１割いる状況となっており、健康に関わる生活への不安が身近な問題となっていることがうかがえる。

一方、要支援者では、何からの介護・介助を必要としている人が約８割と大半を占めているが、１人暮らしも約４割と多い。自分の健康への不安に加えて、外出の不便や、緊急時の対応について不安を感じている人が多く、健康状態の悪化から将来及び現実的な不便や不安がより大きくなっていることがうかがえる。

経済的な状況は一般高齢者、要支援者ともに、苦しいと感じている人が４割前後を占めている。

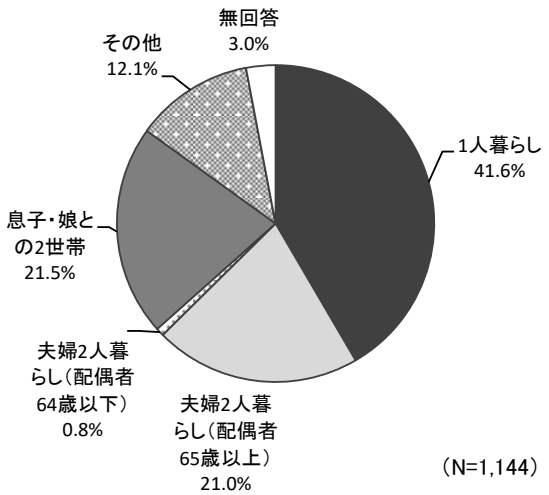
問１（１）家族構成を教えてください

【一般高齢者】



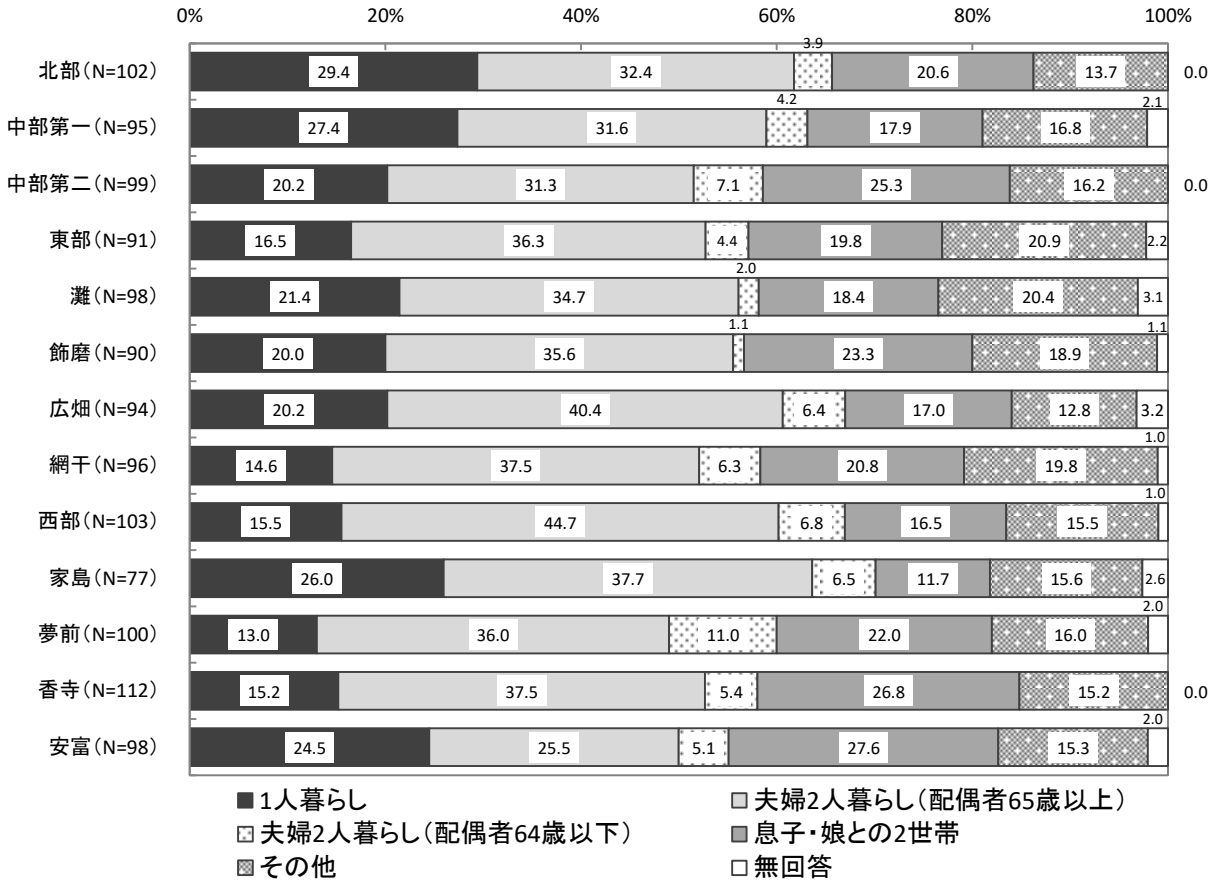
（N=1,255）

【要支援者】

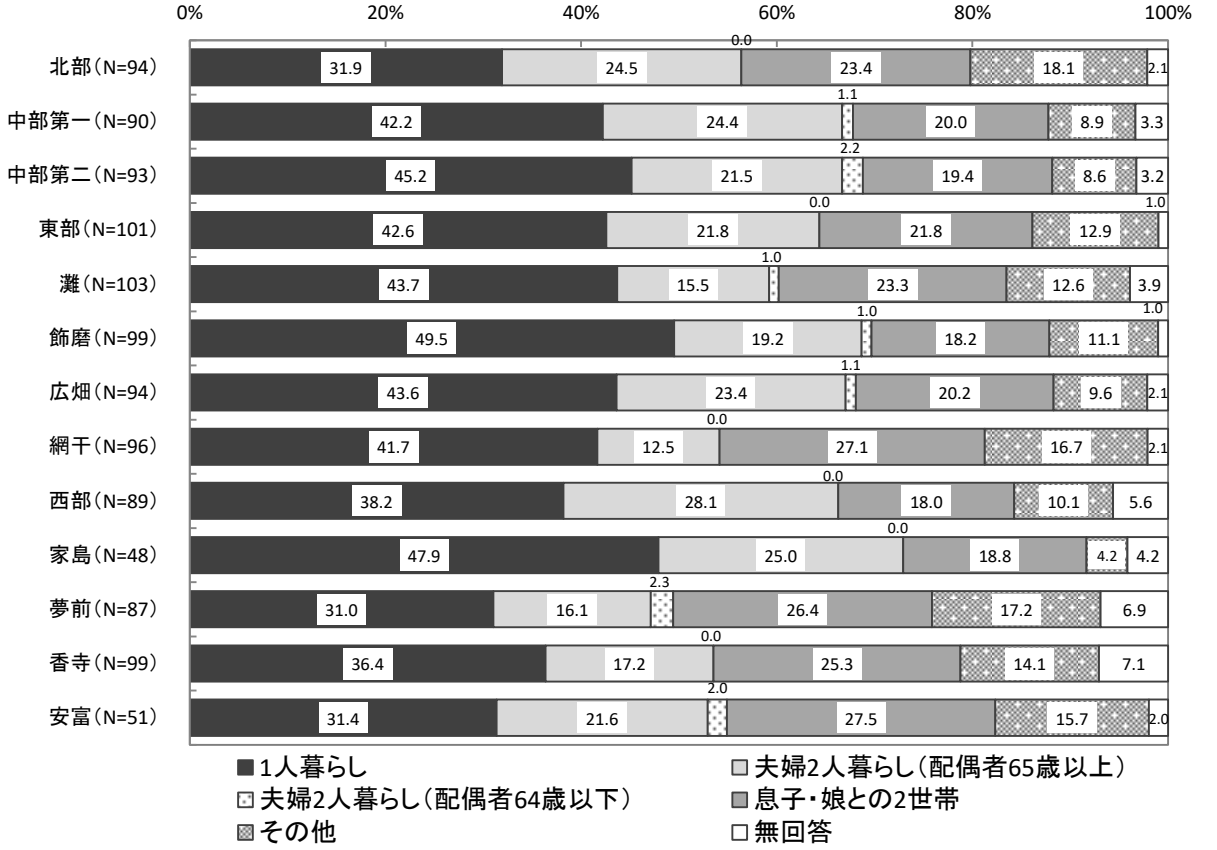


（N=1,144）

【問１（１）　一般高齢者／日常生活圏域別】

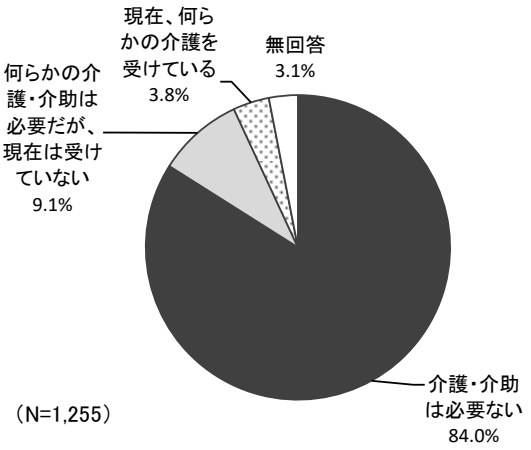


【問１（１）　要支援者／日常生活圏域別】

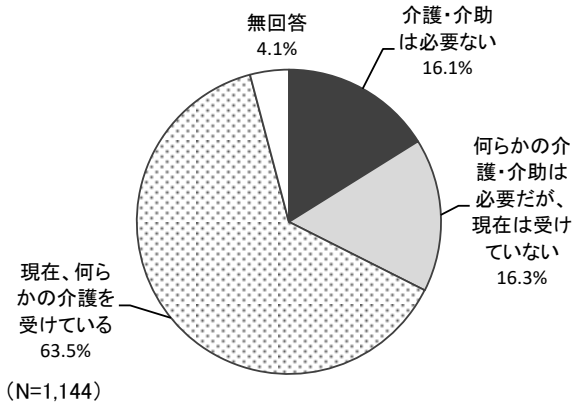


問１（２）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

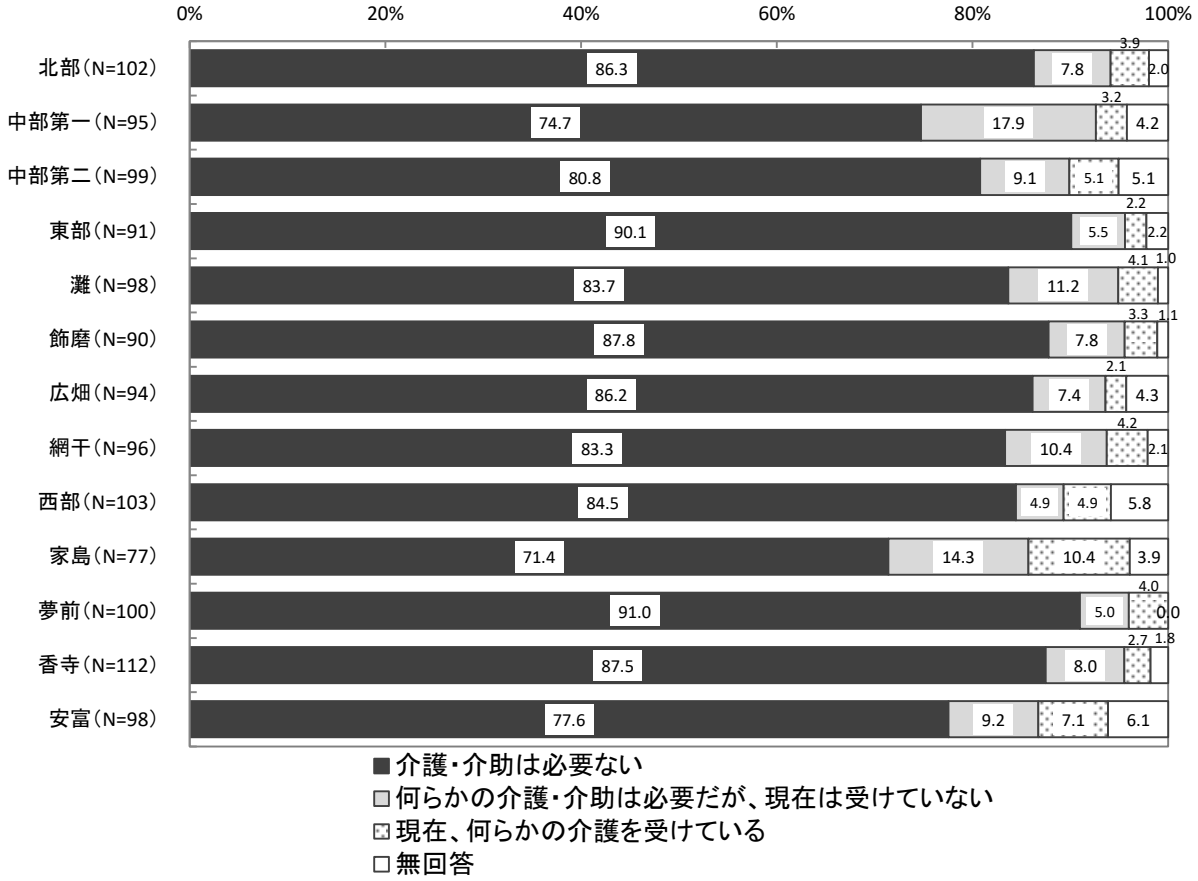
【一般高齢者】



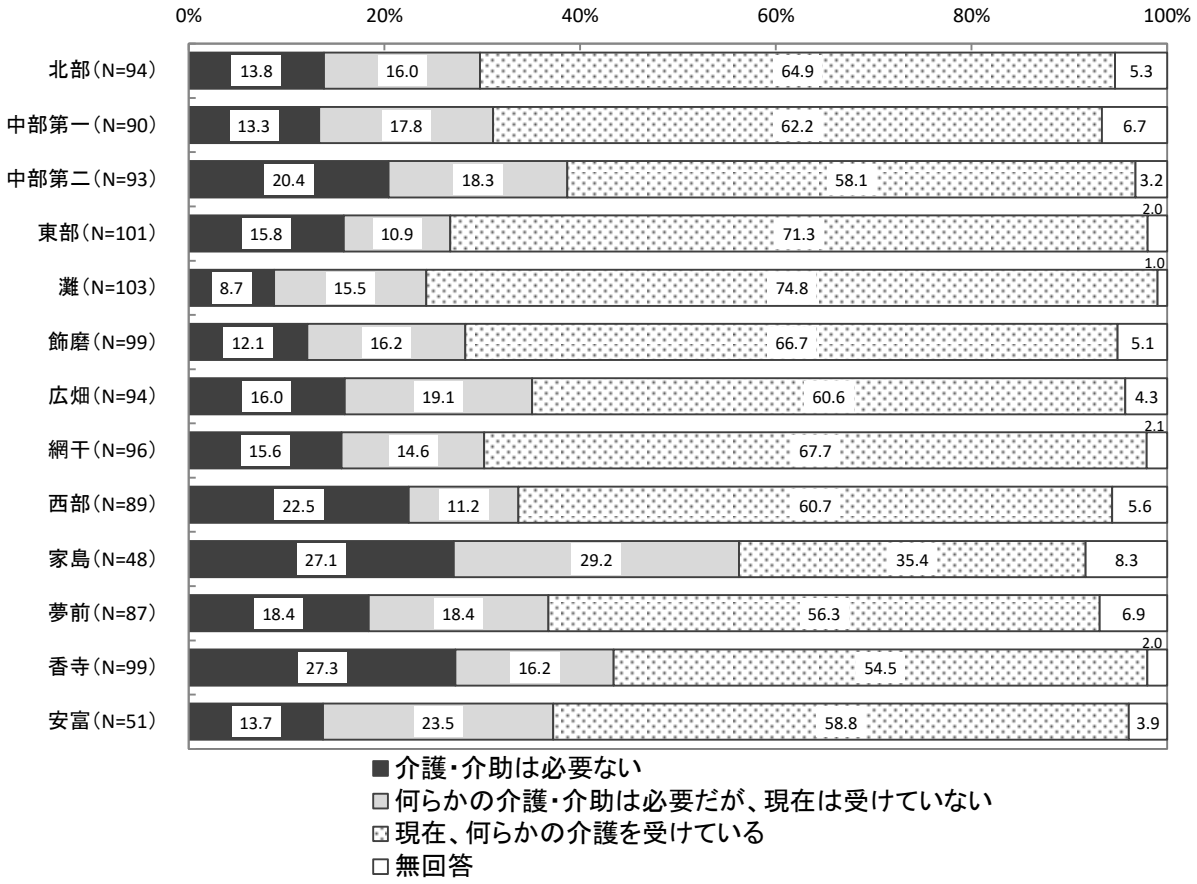
【要支援者】



【問１（２）　一般高齢者／日常生活圏域別】



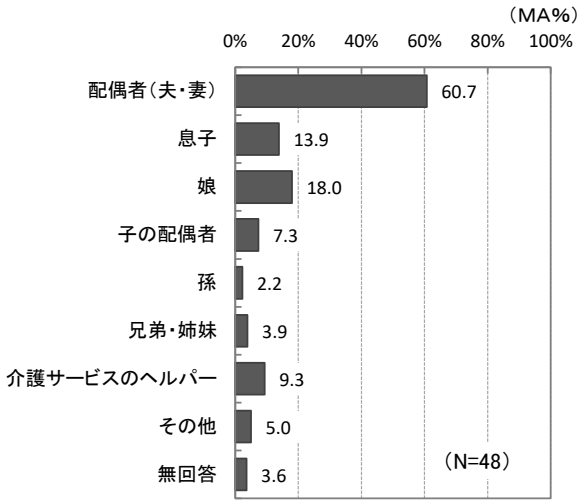
【問１（２）　要支援者／日常生活圏域別】



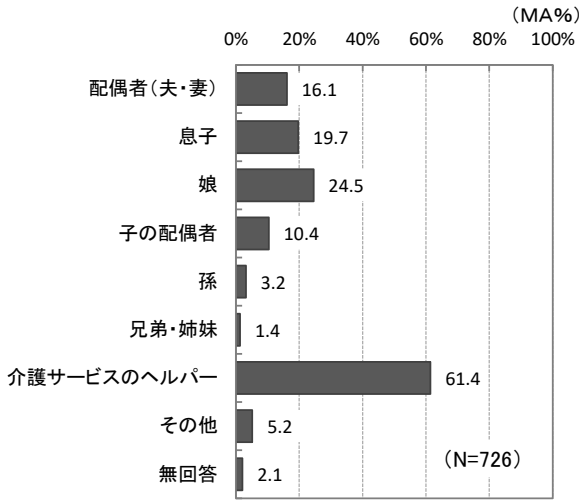
≪問１（２）において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ≫

問１（２）①主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

【一般高齢者】

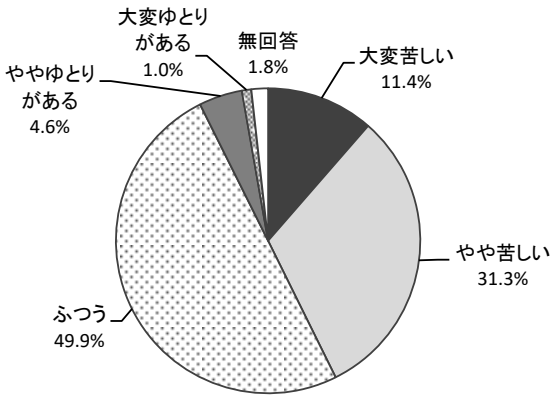


【要支援者】



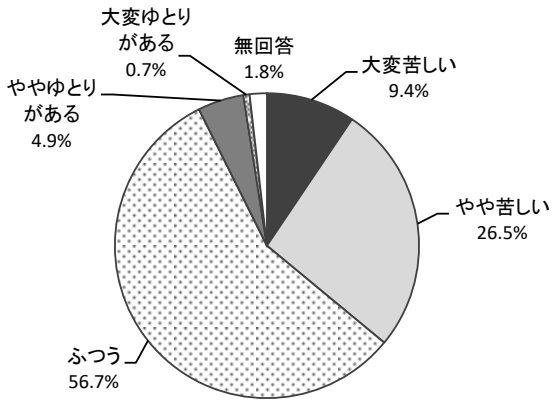
問１（３）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

【一般高齢者】



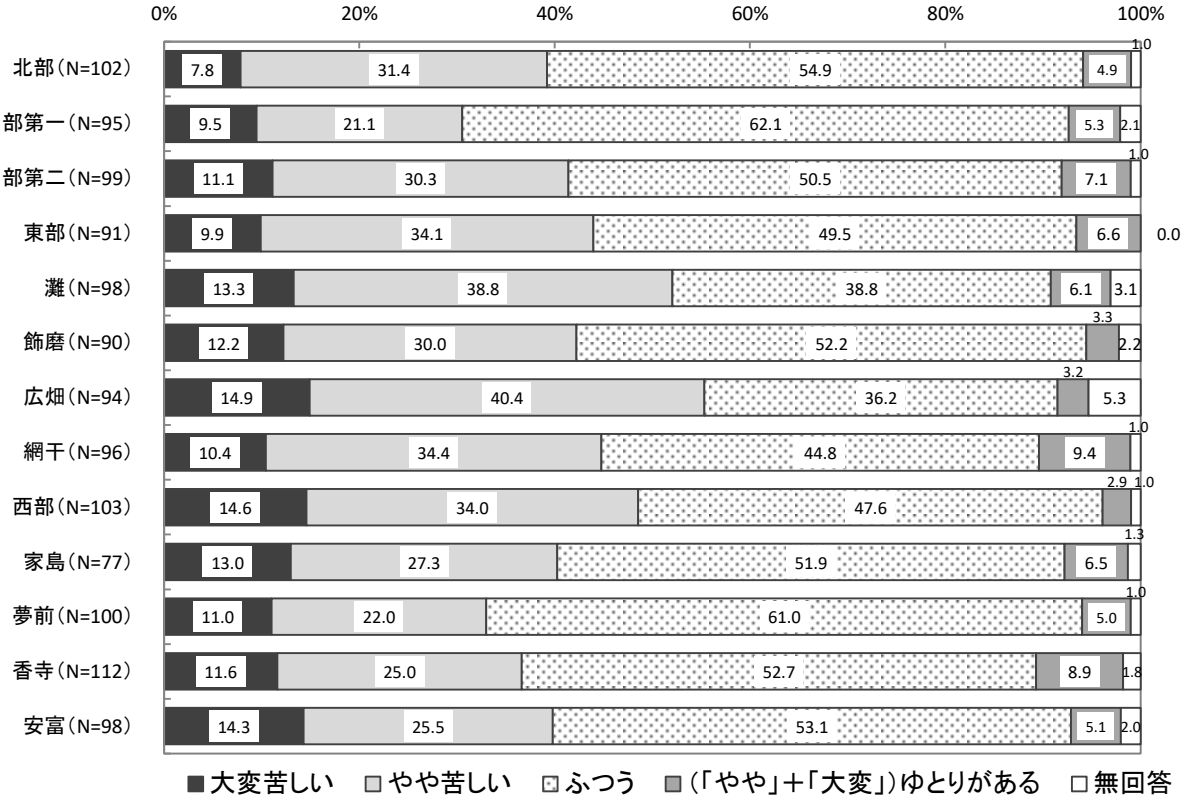
（N=1,255）

【要支援者】

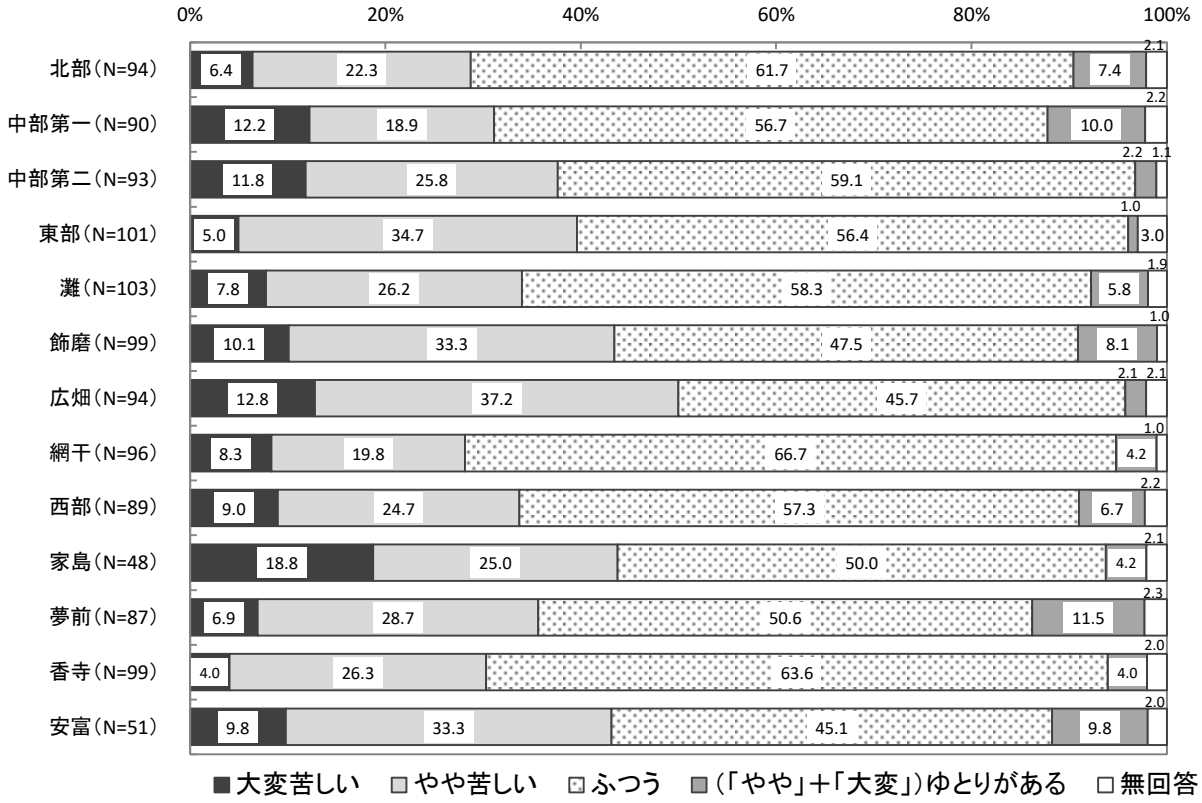


（N=1,144）

【問１（３）　一般高齢者／日常生活圏域別】

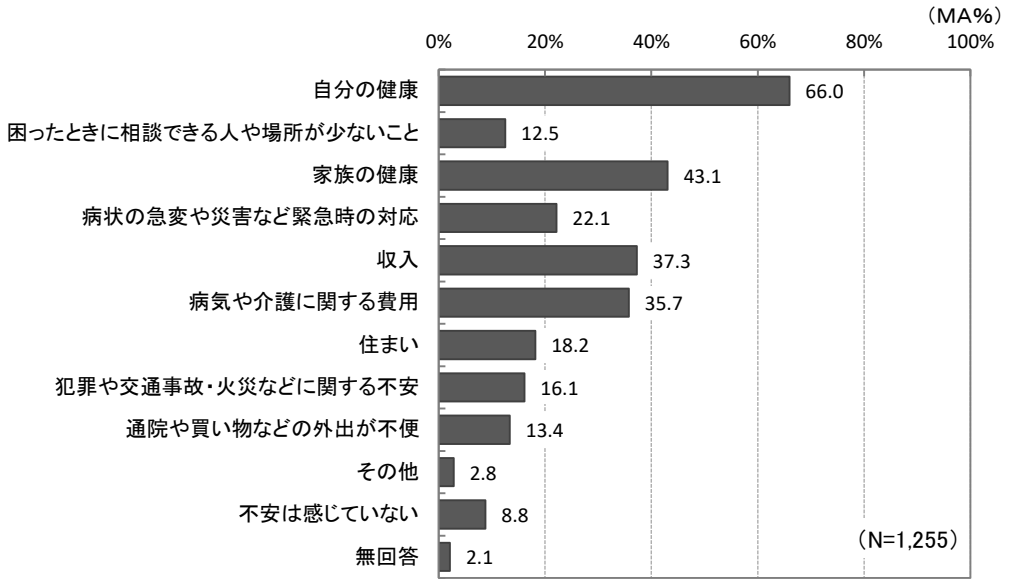


【問１（３）　要支援者／日常生活圏域別】

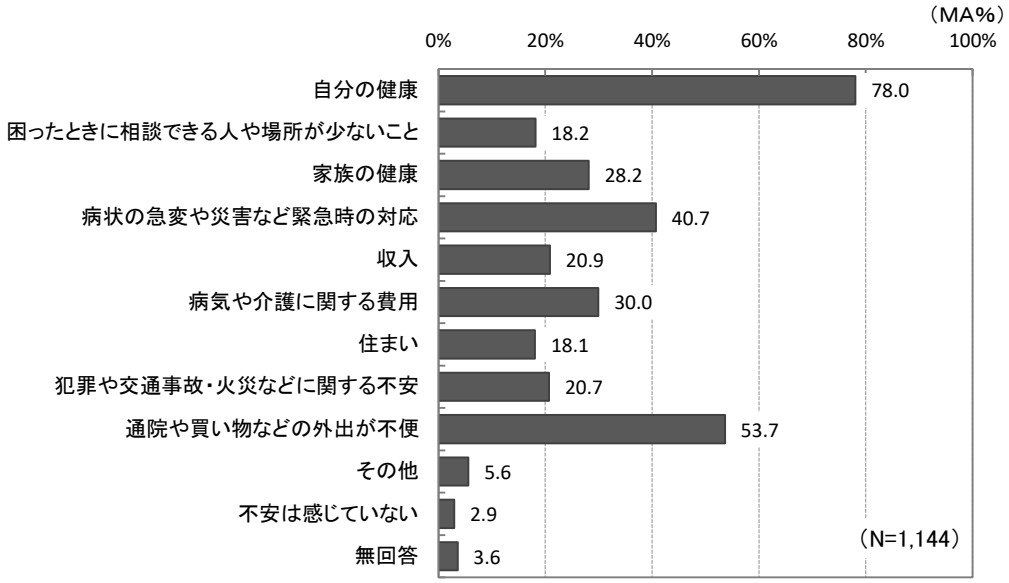


問１（４）現在の生活で、あなたは何か不便や不安を感じていますか（いくつでも）

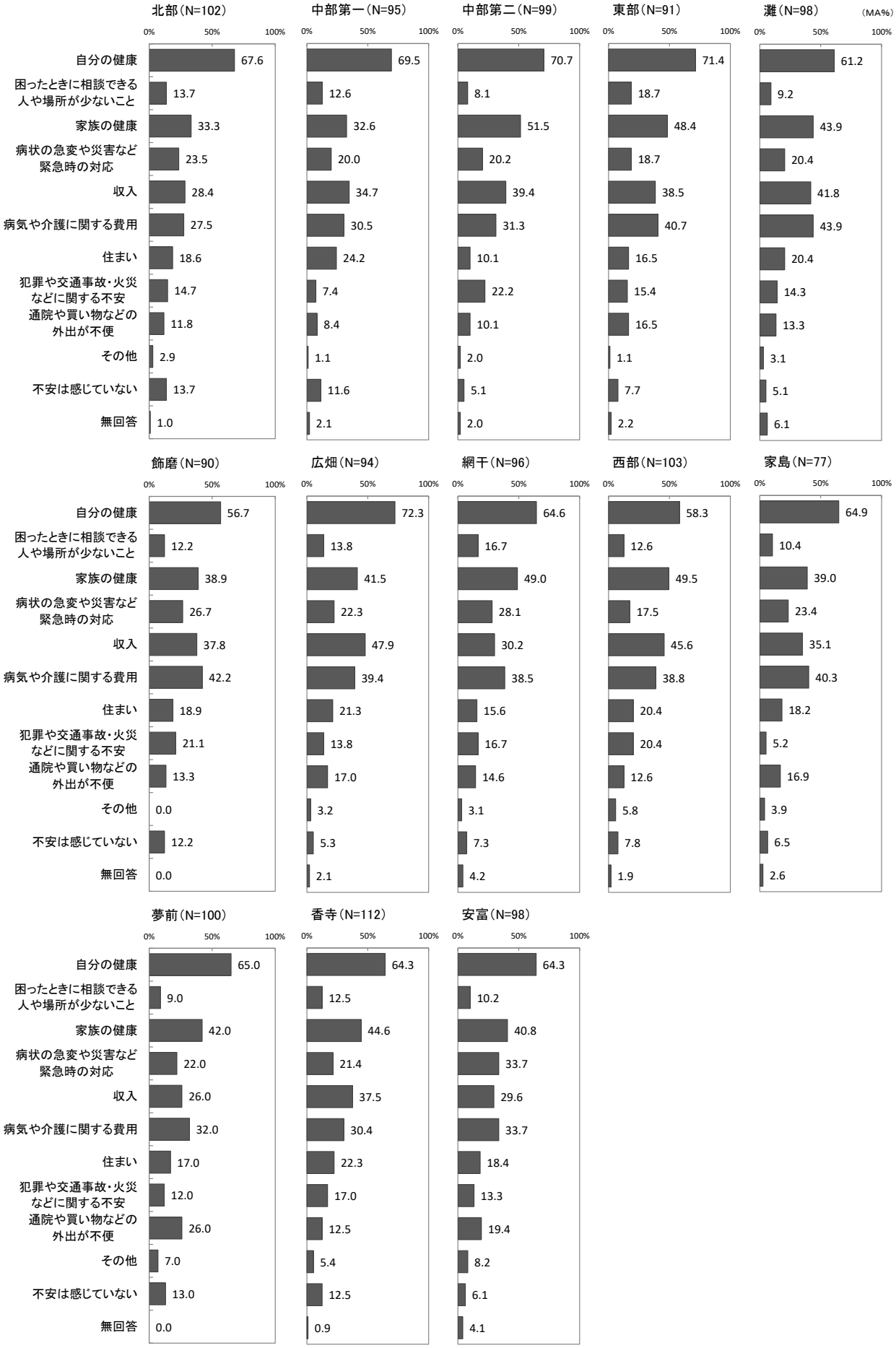
【一般高齢者】



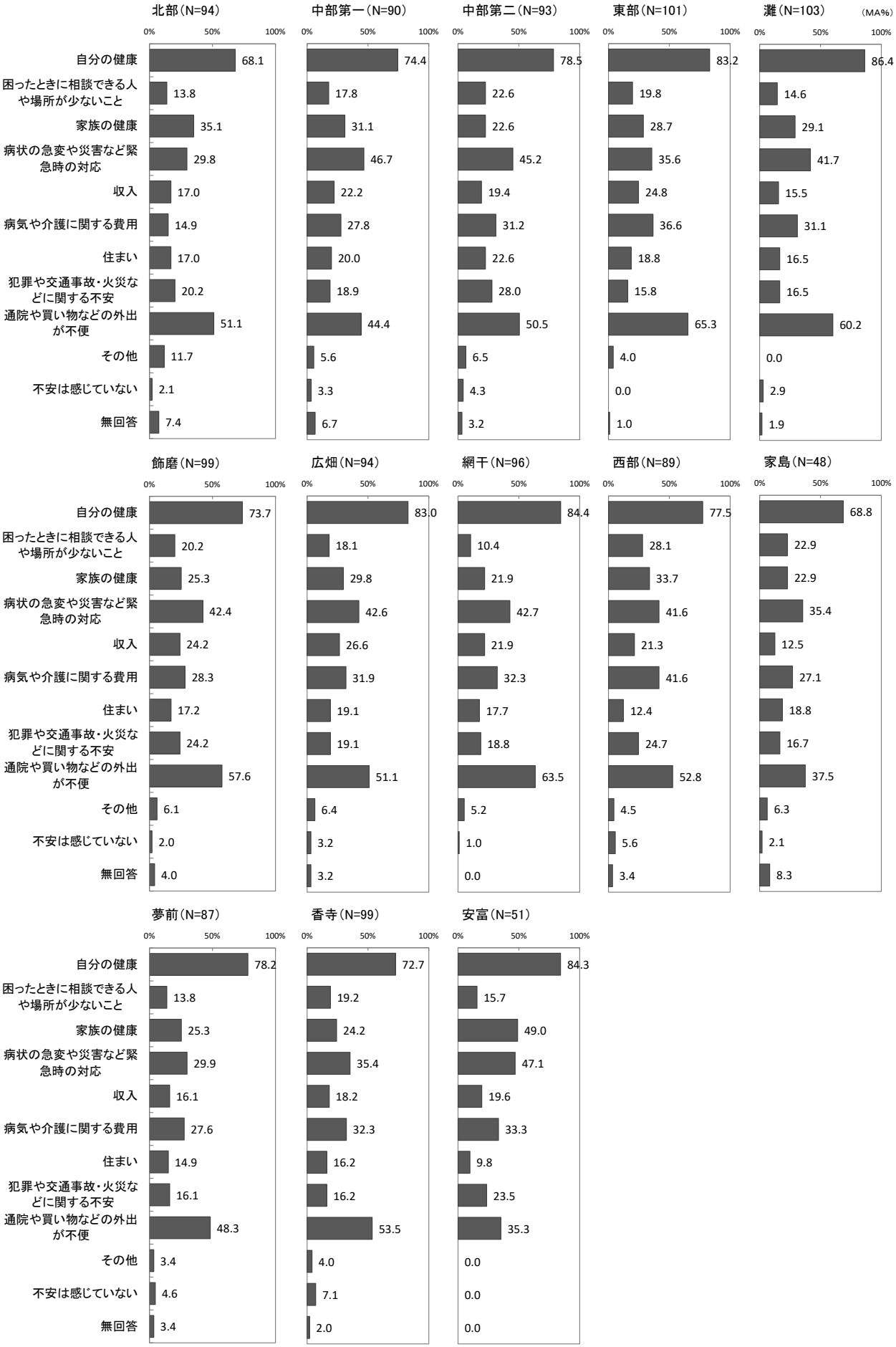
【要支援者】



【問１（４）　一般高齢者／日常生活圏域別】



【問１（４）　要支援者／日常生活圏域別】



３　からだを動かすことについて

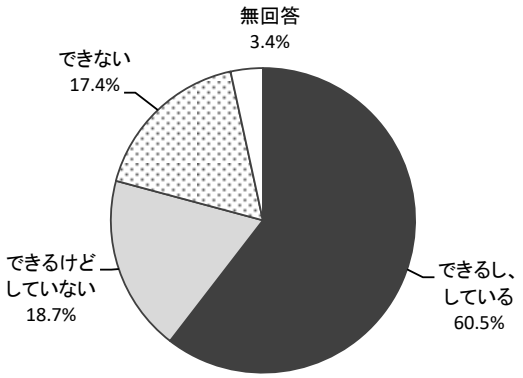
一般高齢者においても、半数を超える人が転倒への不安を感じている。実際、運動器機能が低下している一般高齢者は１割あまりいる状況となっている。

要支援者では、運動器機能が低下している高齢者の割合は約７割を占めており、ロコモティブシンドロームが、介護を必要とする状況の要因となっていることがあらためてうかがえる。外出回数の減少も６割あまりの高齢者にみられる。

外出を控えている理由は、一般高齢者、要支援者ともに、足腰などの痛みとの回答が多く、運動器機能の低下が社会とのつながりの希薄化につながりやすいことがうかがえる。

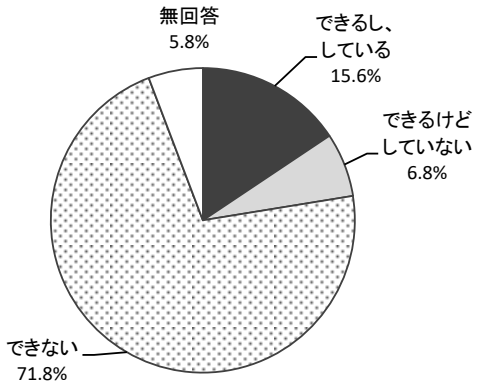
問２（１）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか

【一般高齢者】



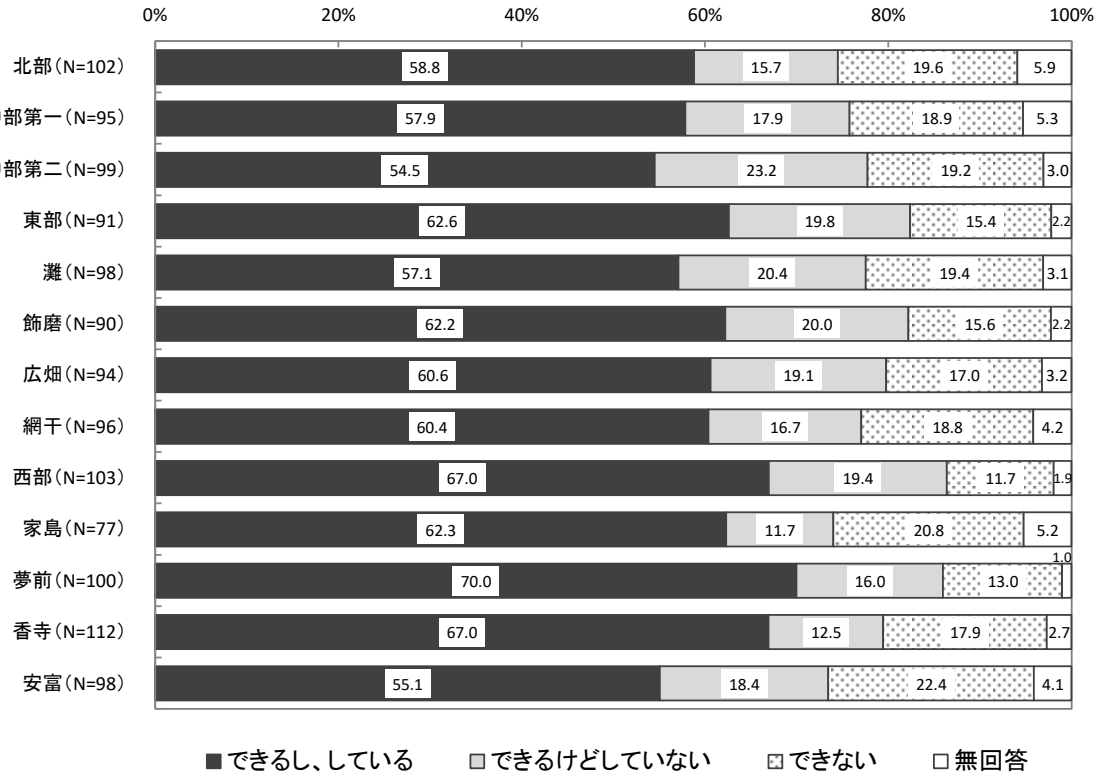
（N=1,255）

【要支援者】

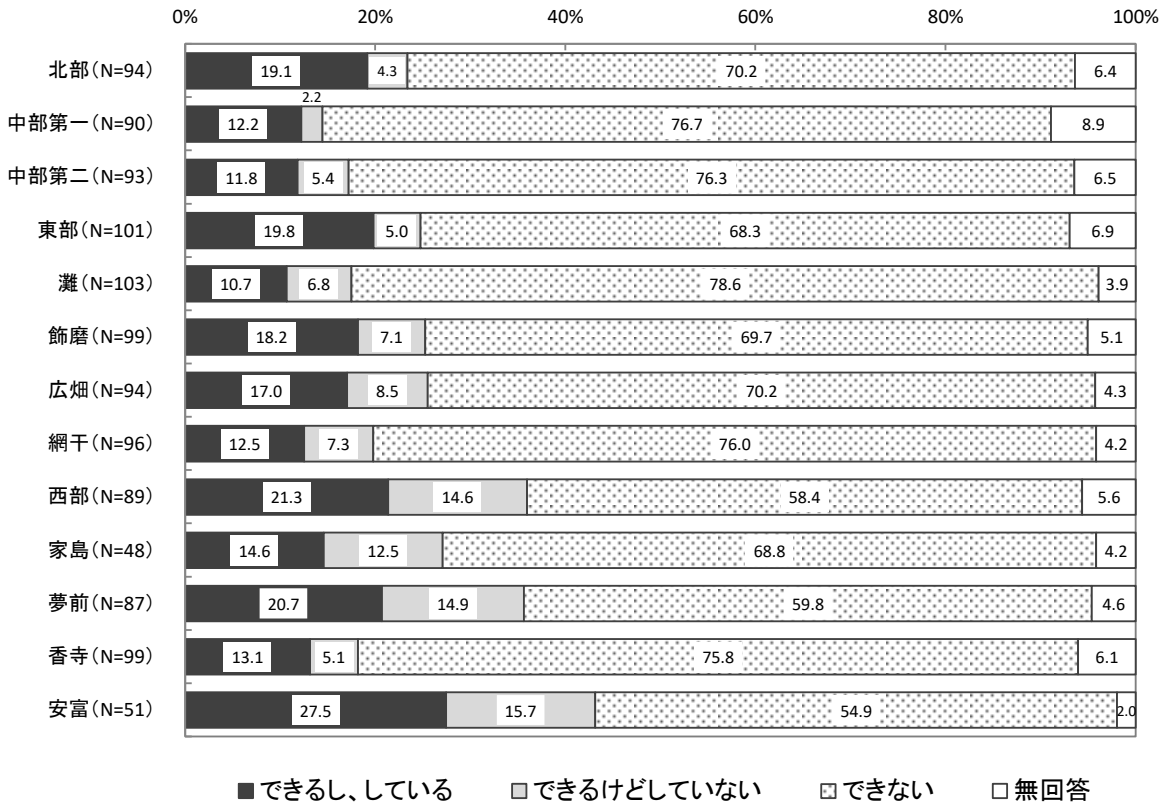


（N=1,144）

【問２（１）　一般高齢者／日常生活圏域別】

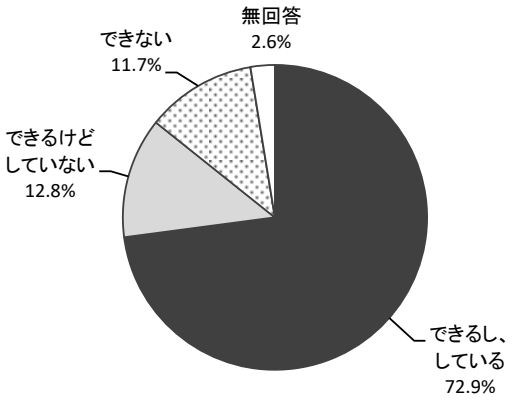


【問２（１）　要支援者／日常生活圏域別】



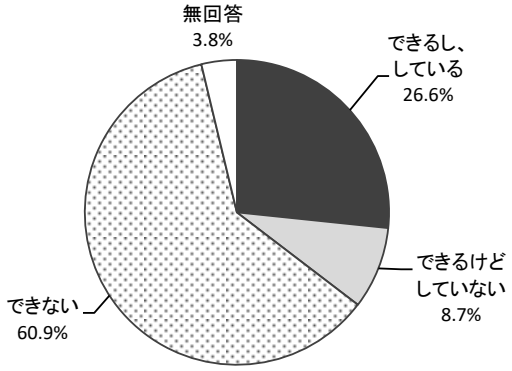
問２（２）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

【一般高齢者】



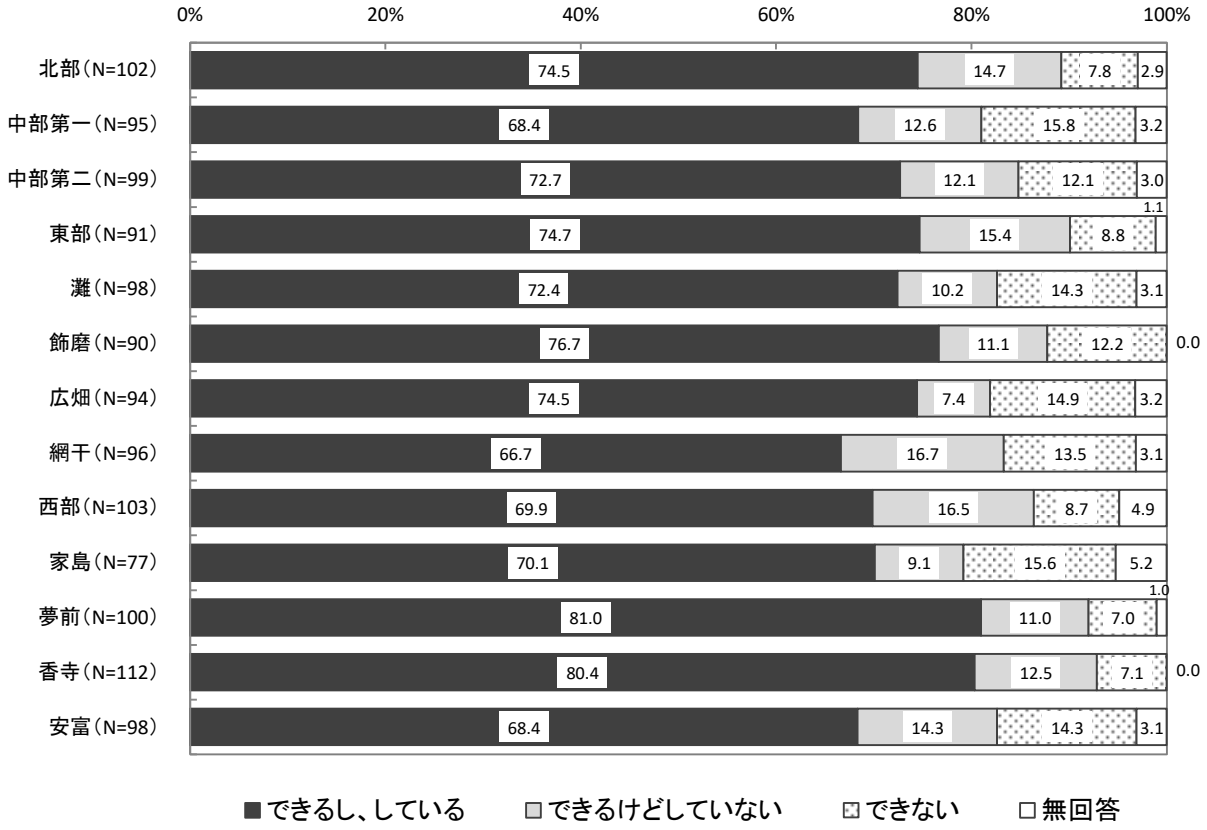
（N=1,255）

【要支援者】

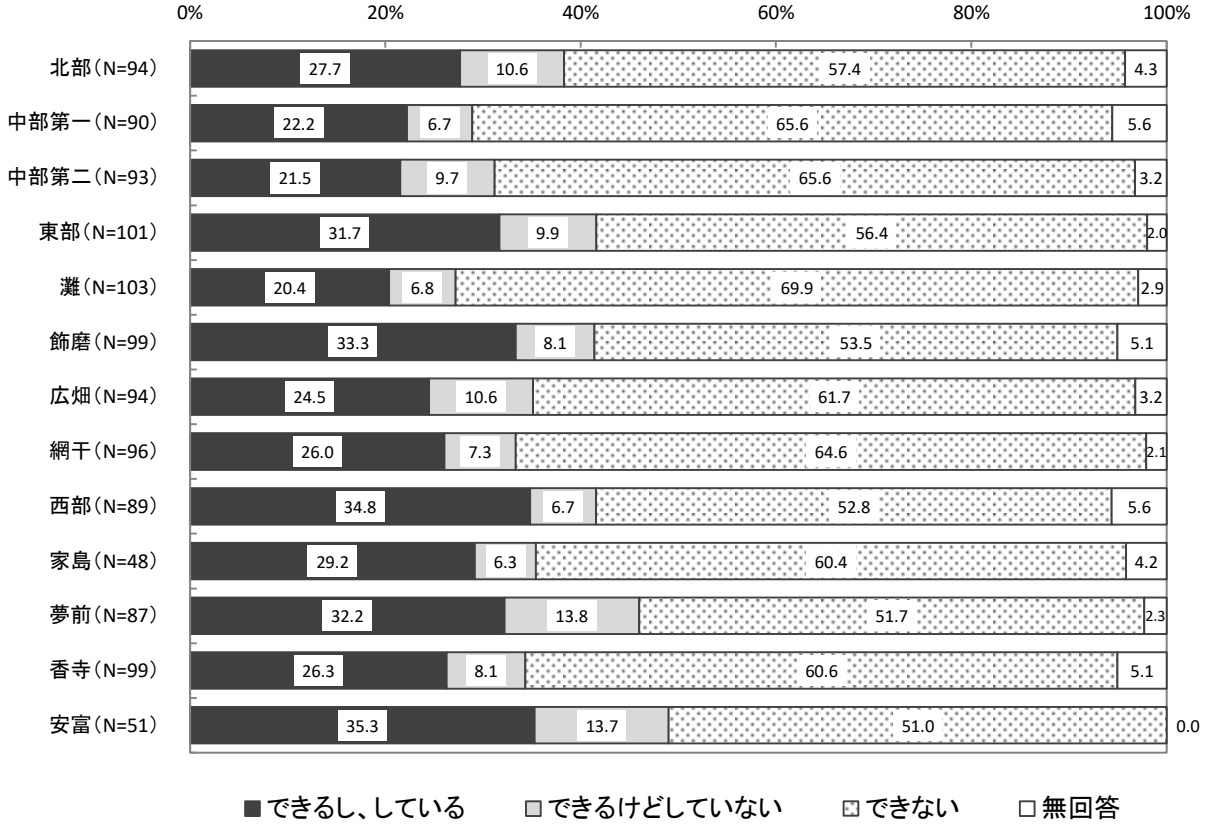


（N=1,144）

【問２（２）　一般高齢者／日常生活圏域別】

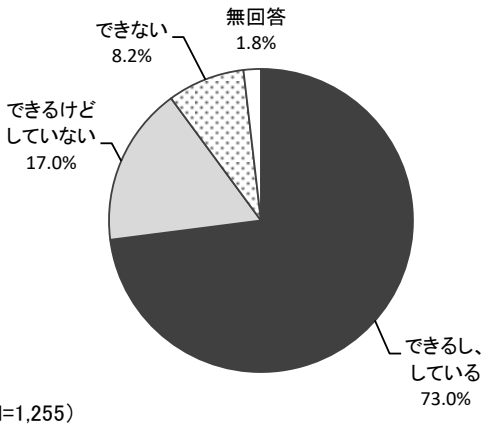


【問２（２）　要支援者／日常生活圏域別】



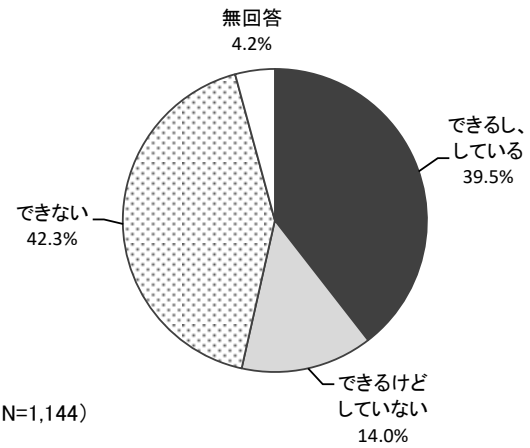
問２（３）15 分位続けて歩いていますか

【一般高齢者】



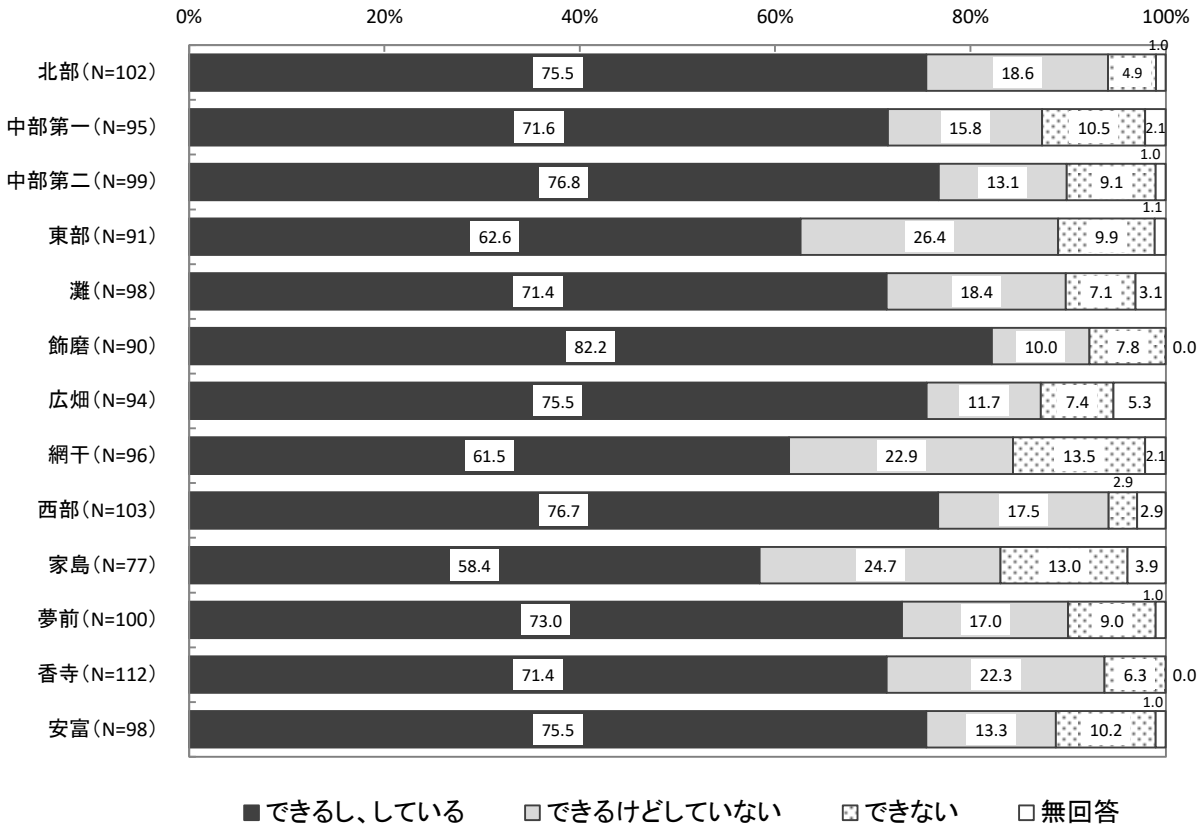
（N=1,255）

【要支援者】

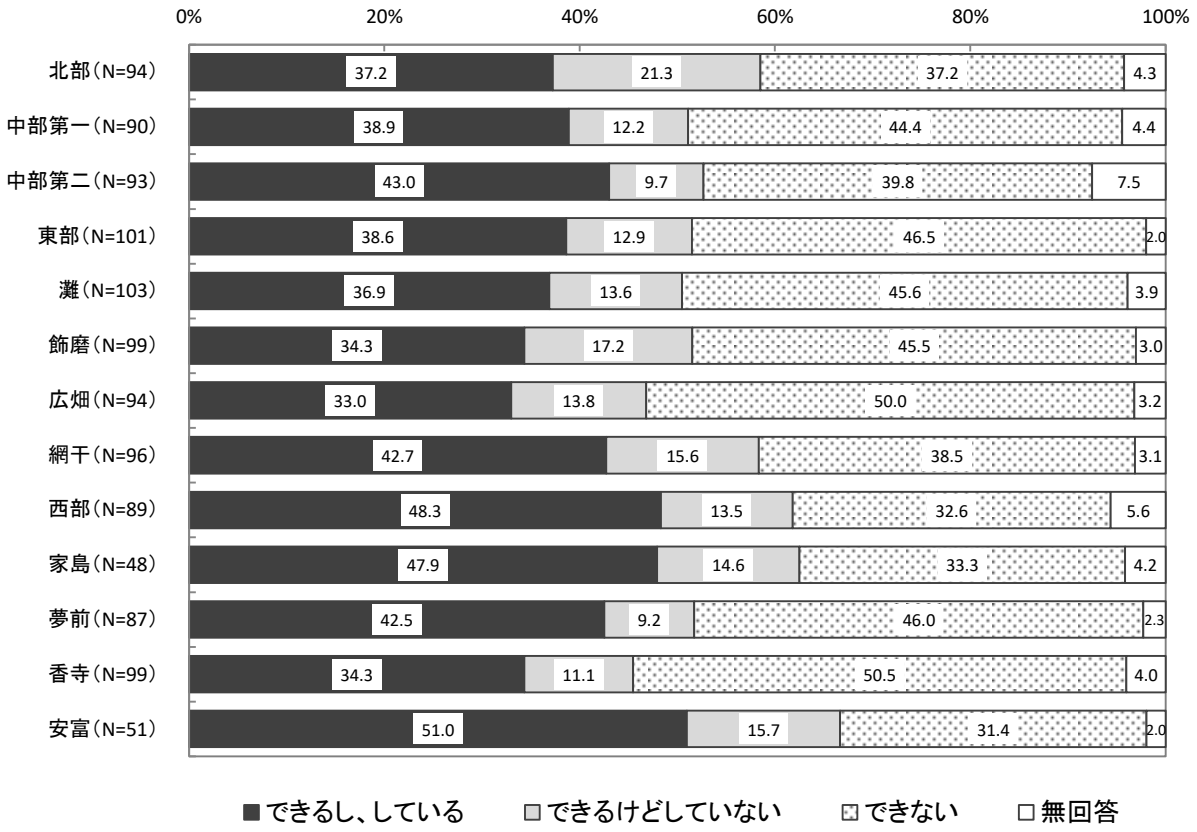


（N=1,144）

【問２（３）　一般高齢者／日常生活圏域別】



【問２（３）　要支援者／日常生活圏域別】

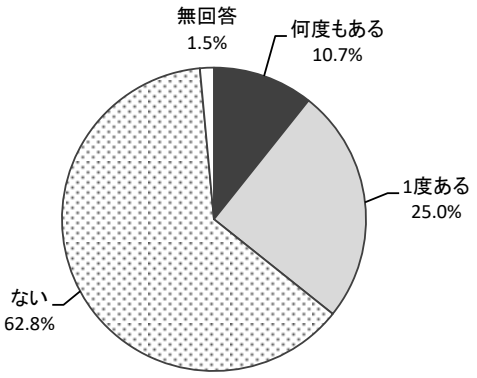


問２（４）過去１年間に転んだ経験がありますか（転倒リスクの判定）

※転倒リスクの判定方法

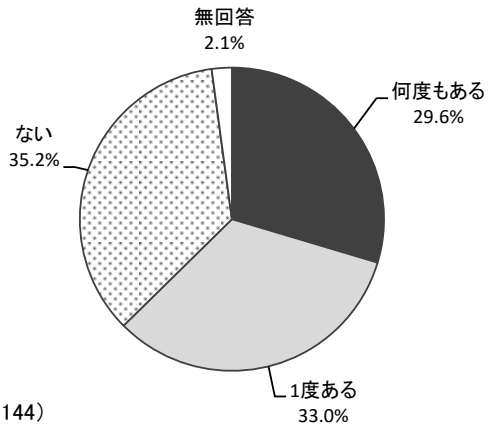
問２（４）で、「何度もある」「１度ある」と回答された場合、『転倒リスクあり』として集計。

【一般高齢者】



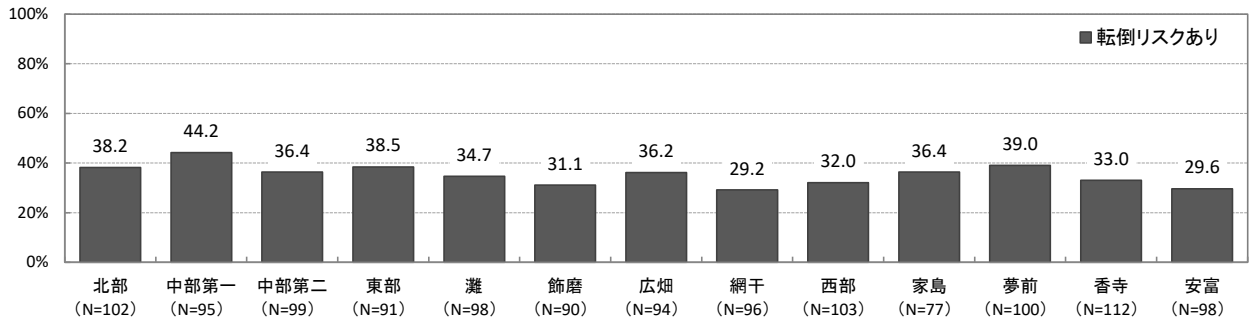
（N=1,255）

【要支援者】

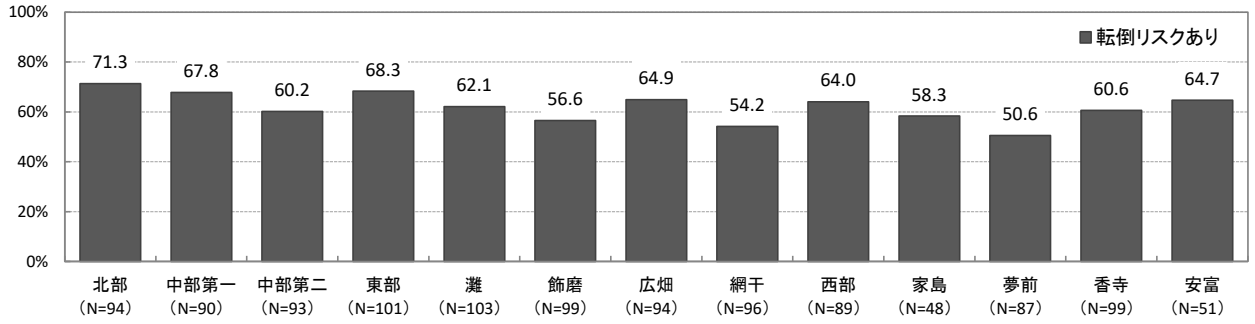


（N=1,144）

【問２（４）　一般高齢者／日常生活圏域別】

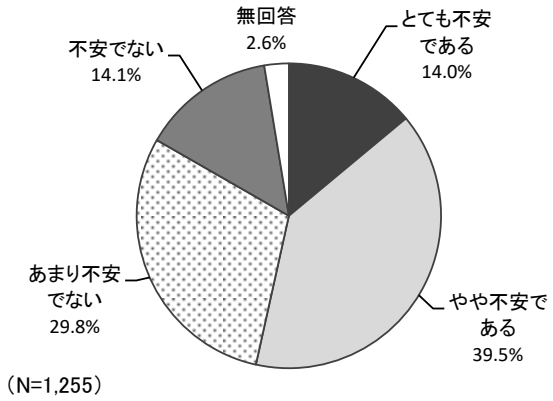


【問２（４）　要支援者／日常生活圏域別】

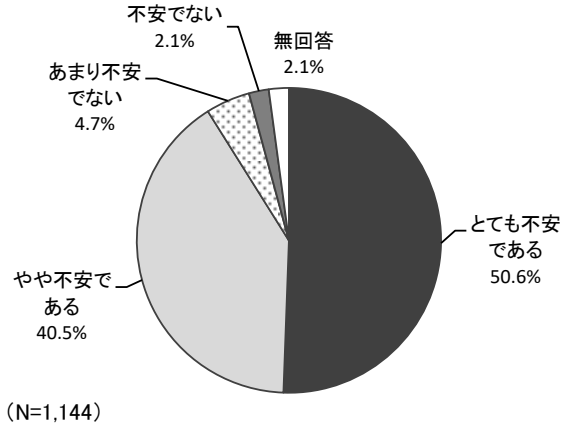


問２（５）転倒に対する不安は大きいですか

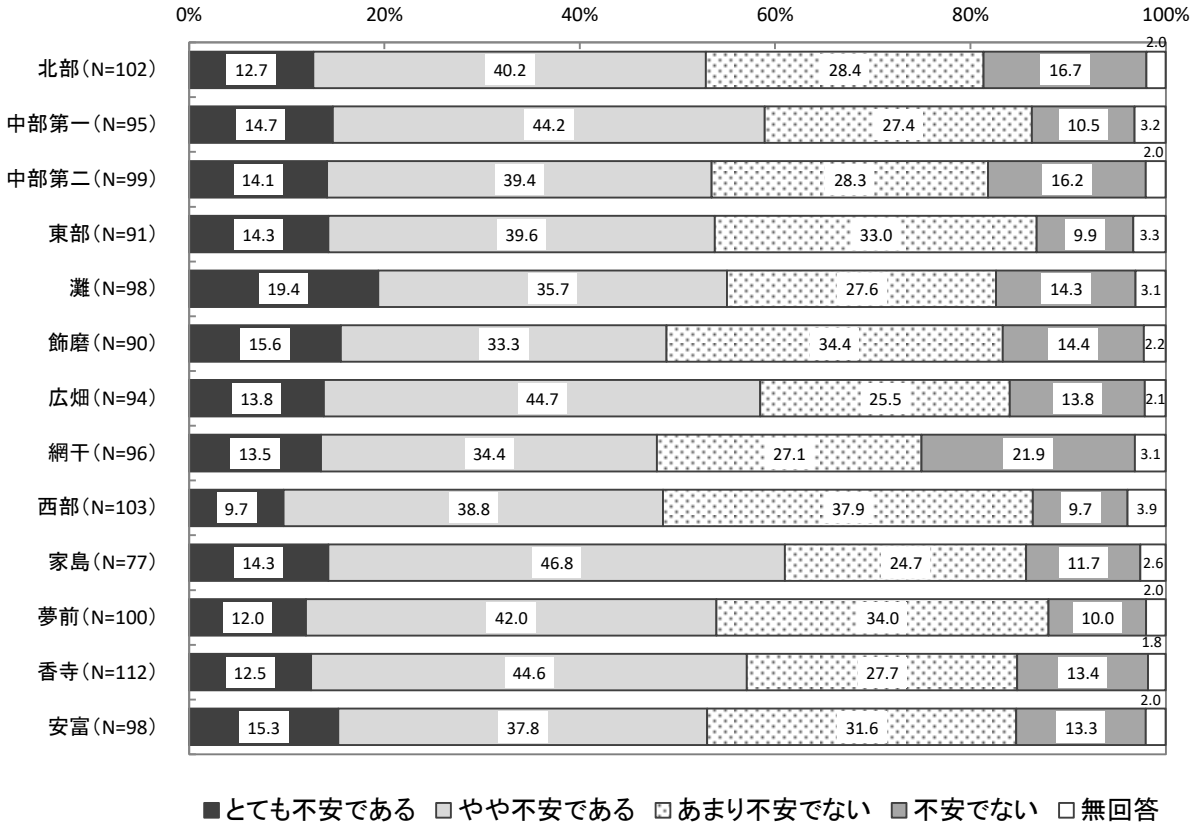
【一般高齢者】



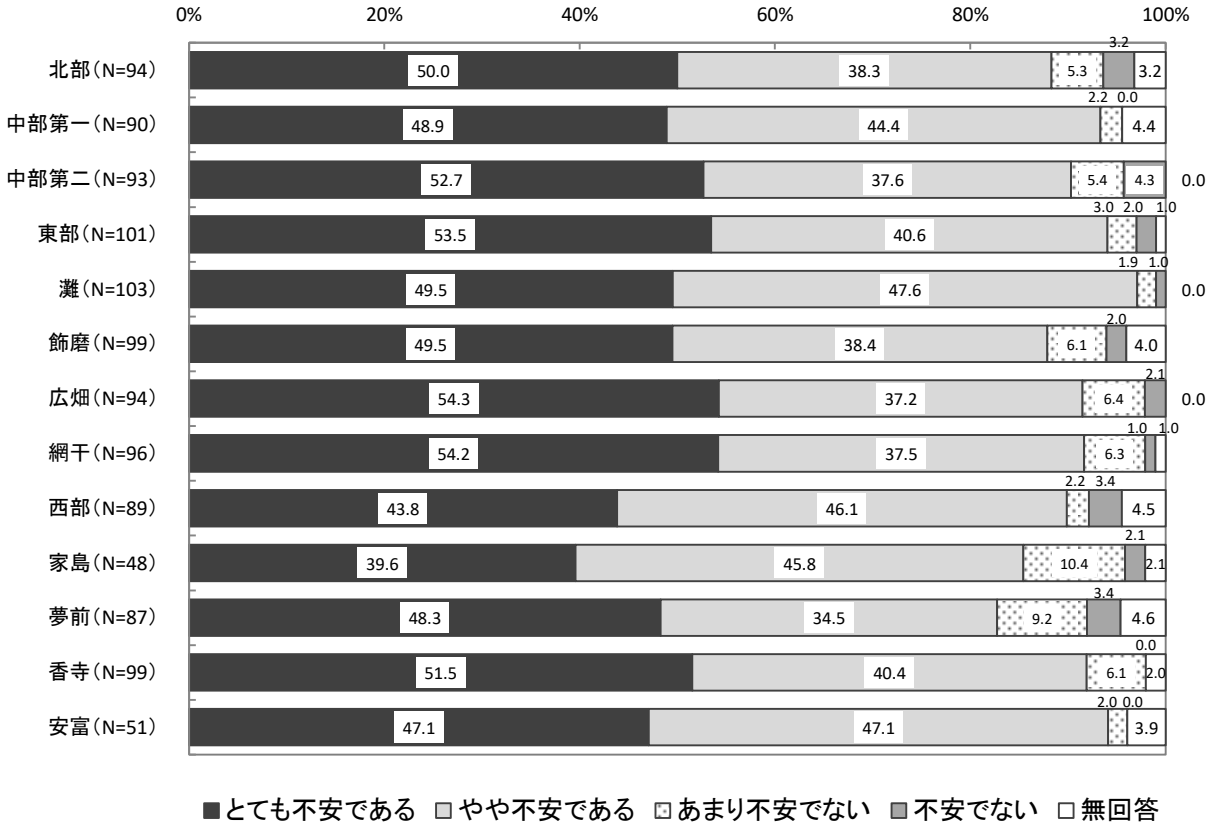
【要支援者】



【問２（５）　一般高齢者／日常生活圏域別】



【問２（５）　要支援者／日常生活圏域別】



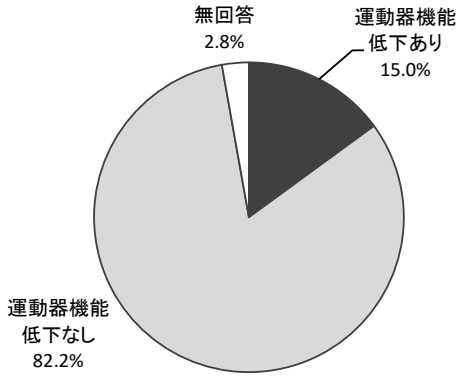
問２　運動器機能低下の判定

※運動器機能低下の判定方法

問２（１）～（５）で、３問以上、下記の選択肢が回答された場合、『運動器機能低下あり』として集計。

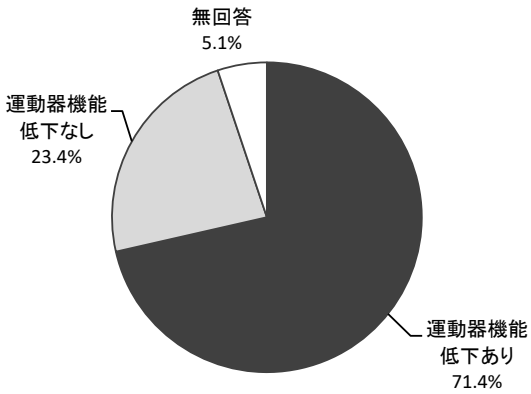
問２（１）：「できない」
問２（２）：「できない」
問２（３）：「できない」
問２（４）：「何度もある」「１度ある」
問２（５）：「とても不安である」「やや不安である」

【一般高齢者】



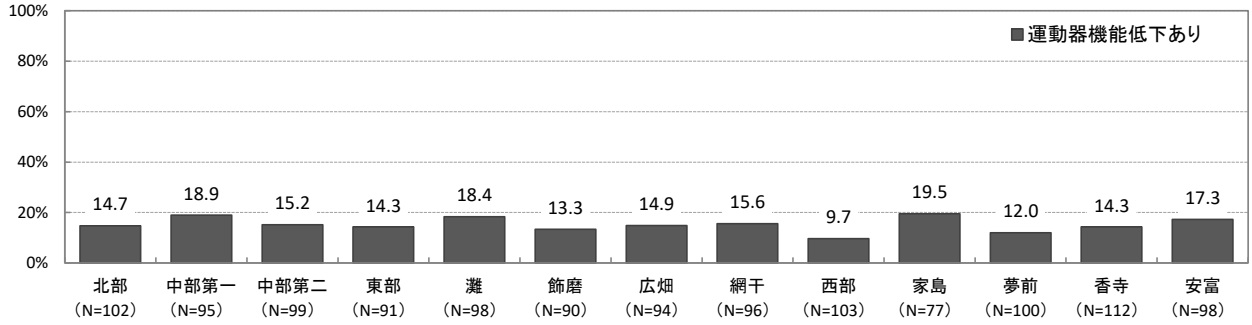
（N=1,255）

【要支援者】

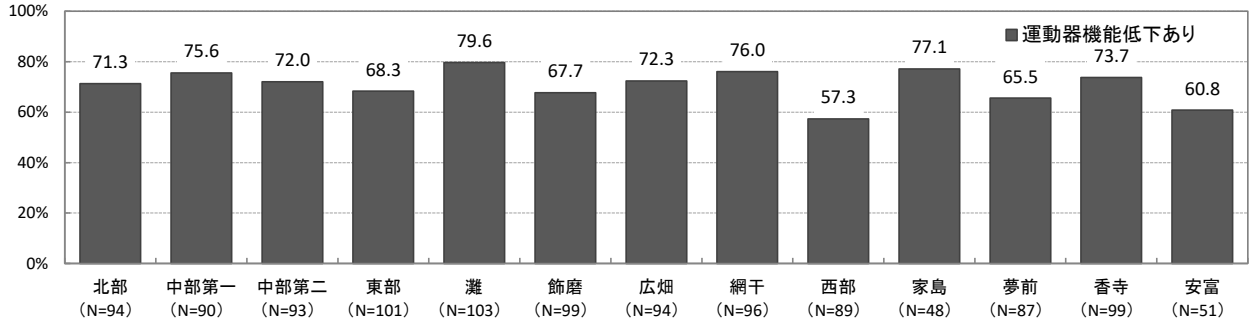


（N=1,144）

【問２　運動器機能低下の判定　一般高齢者／日常生活圏域別】



【問２　運動器機能低下の判定　要支援者／日常生活圏域別】

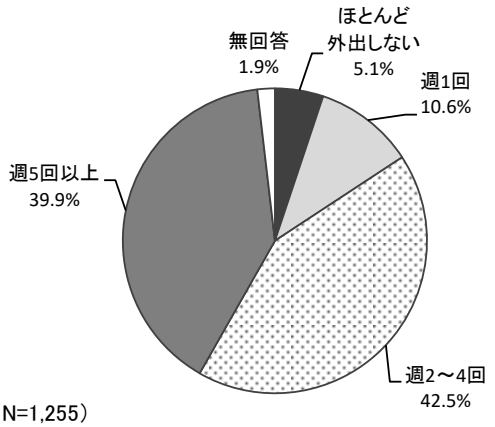


問２（６）週に１回以上は外出していますか（閉じこもり傾向の判定）

※閉じこもり傾向の判定

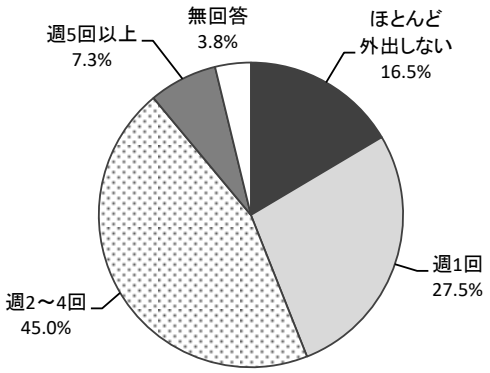
問２（６）で、「ほとんど外出しない」「週１回」と回答された場合、『閉じこもり傾向あり』として集計。

【一般高齢者】



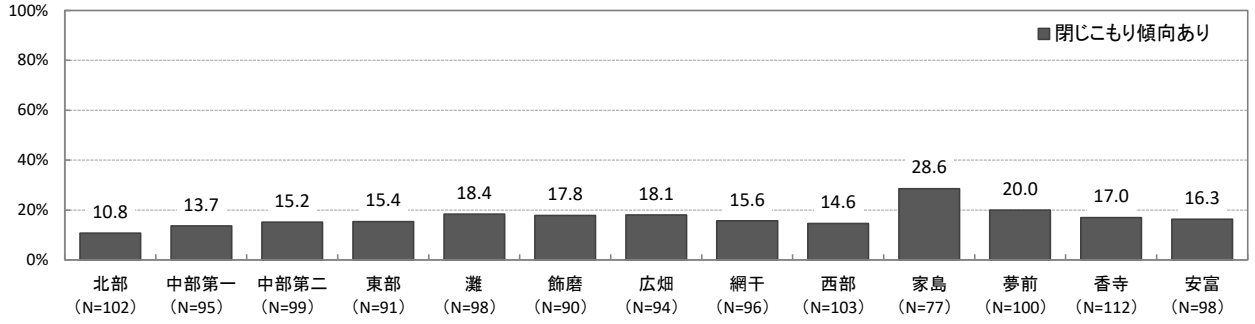
（N=1,255）

【要支援者】

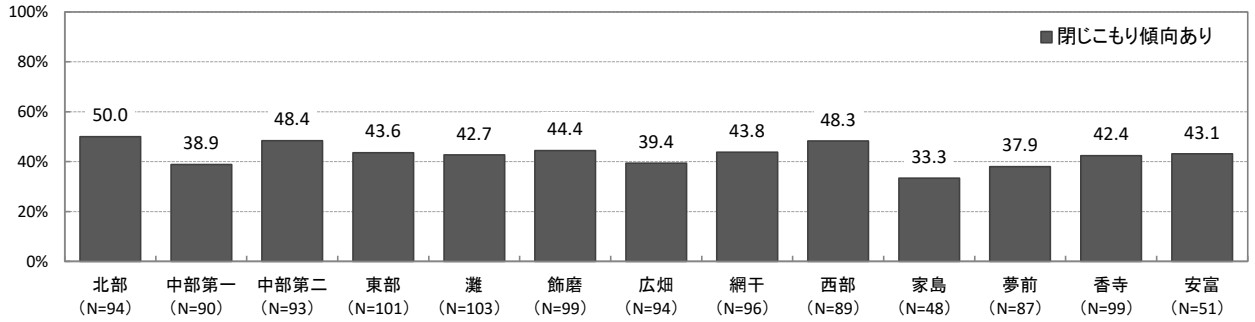


（N=1,144）

【問２（６）　一般高齢者／日常生活圏域別】

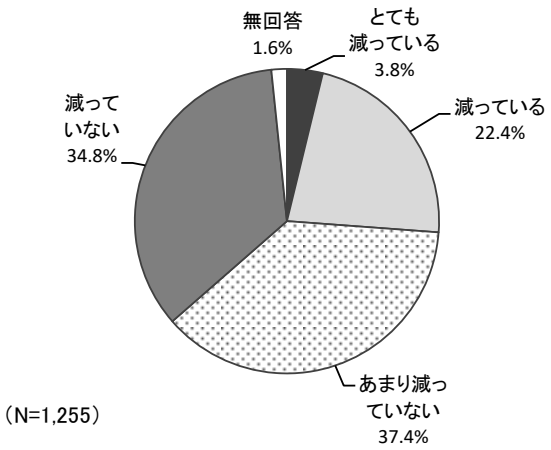


【問２（６）　要支援者／日常生活圏域別】



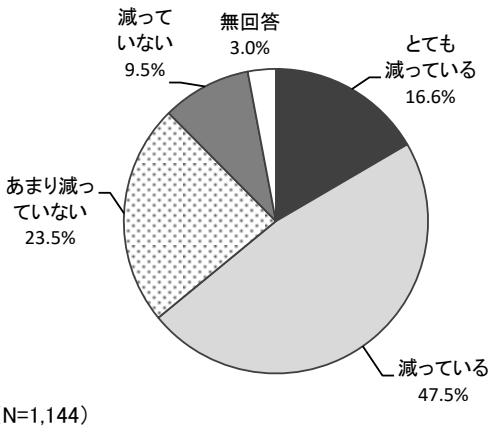
問２（７）昨年と比べて外出の回数が減っていますか

【一般高齢者】



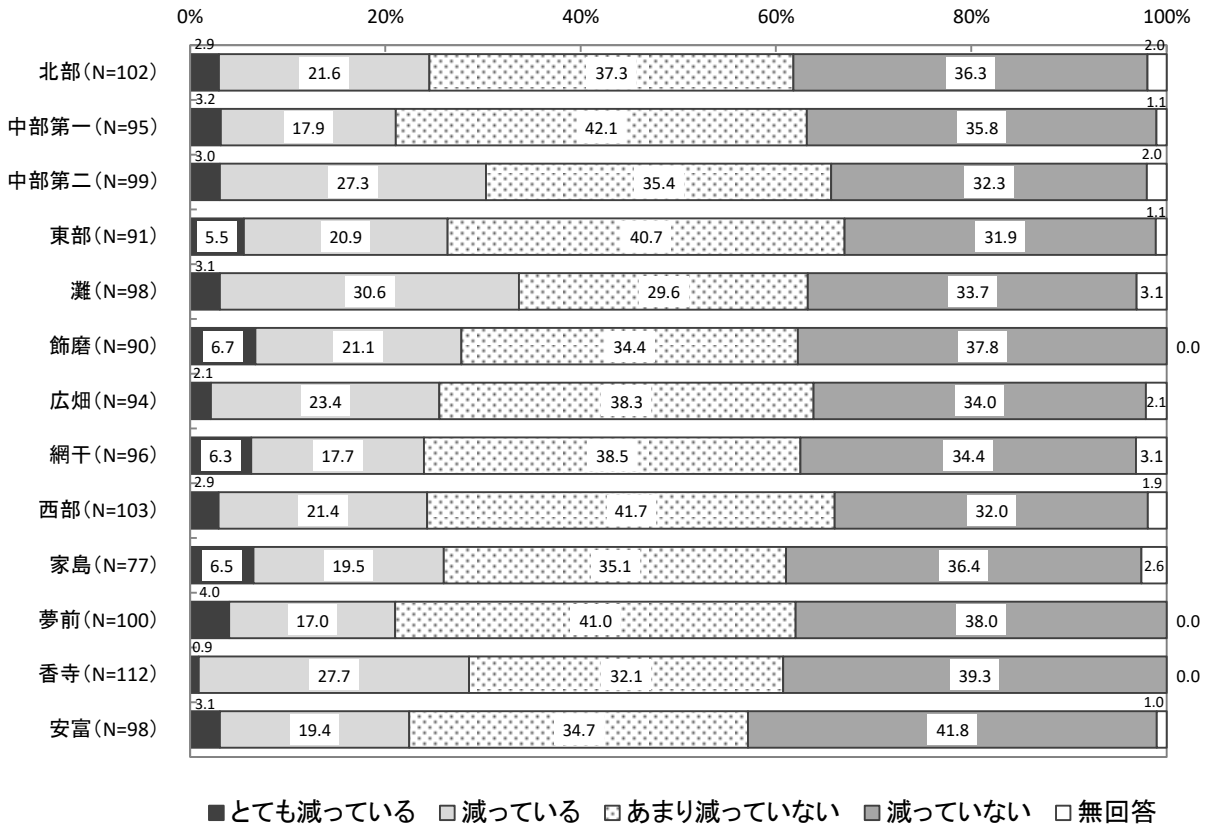
（N=1,255）

【要支援者】

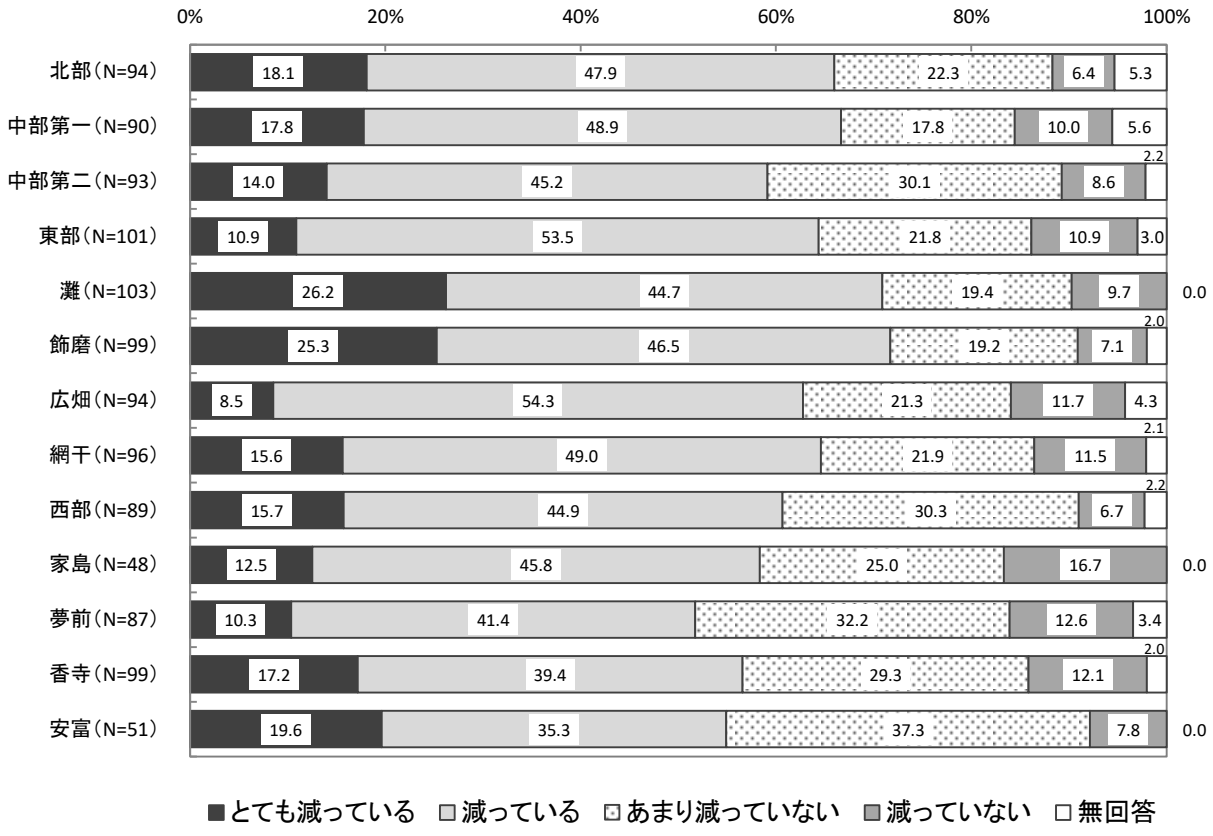


（N=1,144）

【問２（７）　一般高齢者／日常生活圏域別】

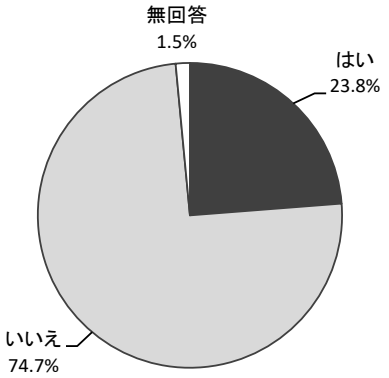


【問２（７）　要支援者／日常生活圏域別】



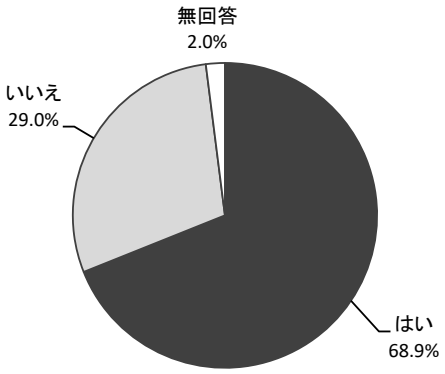
問２（８）外出を控えていますか

【一般高齢者】



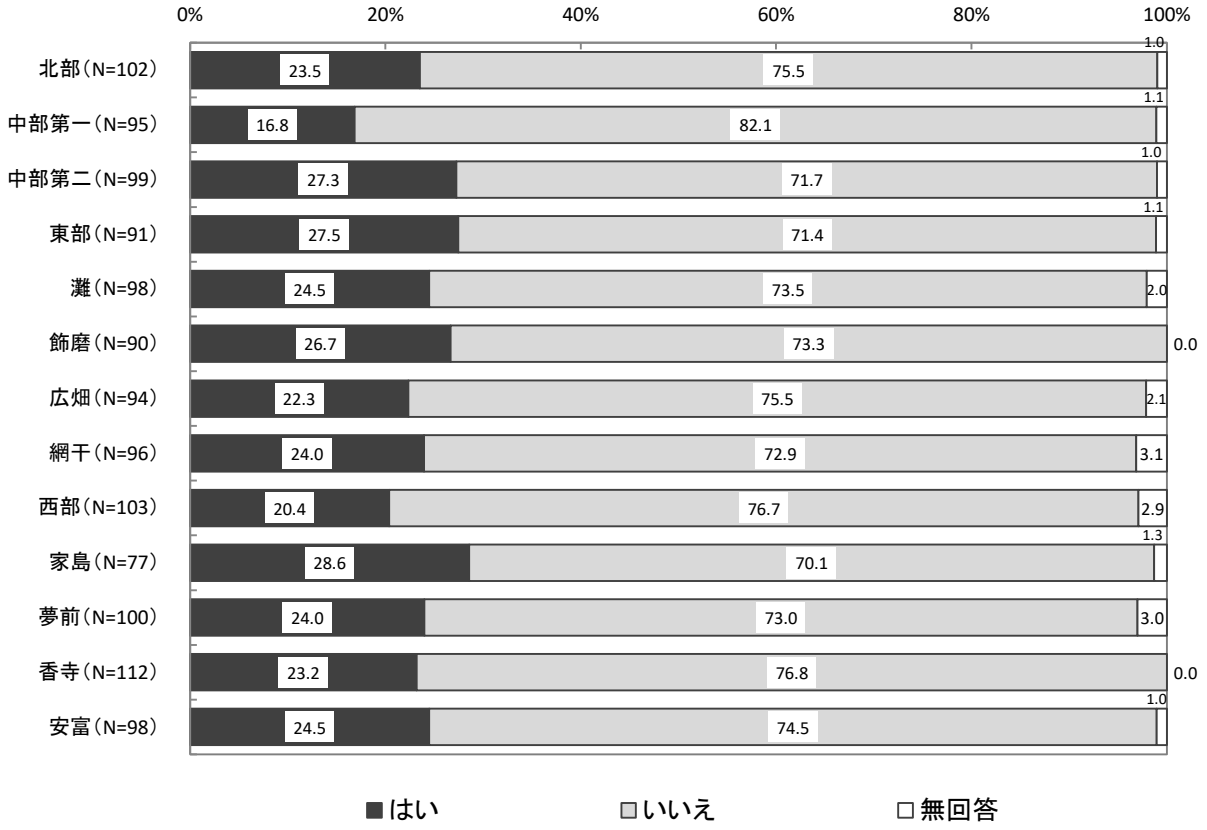
（N=1,255）

【要支援者】

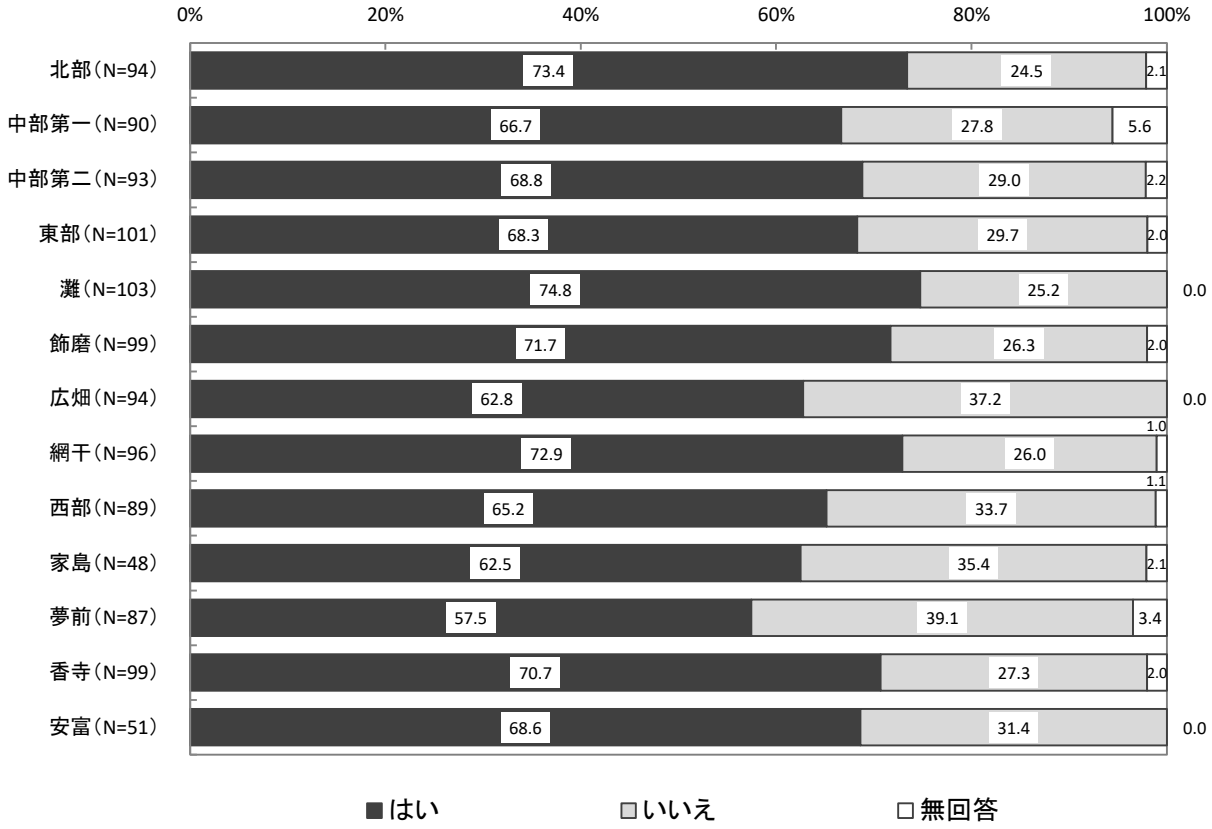


（N=1,144）

【問２（８）　一般高齢者／日常生活圏域別】



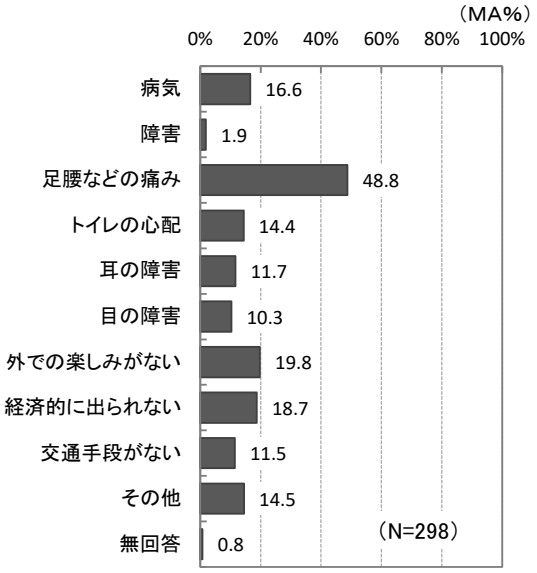
【問２（８）　要支援者／日常生活圏域別】



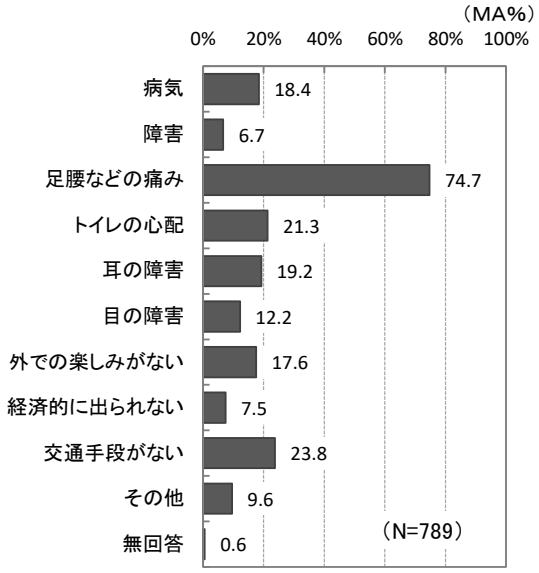
≪問２（８）で「はい」の方のみ≫

問２（８）①外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

【一般高齢者】

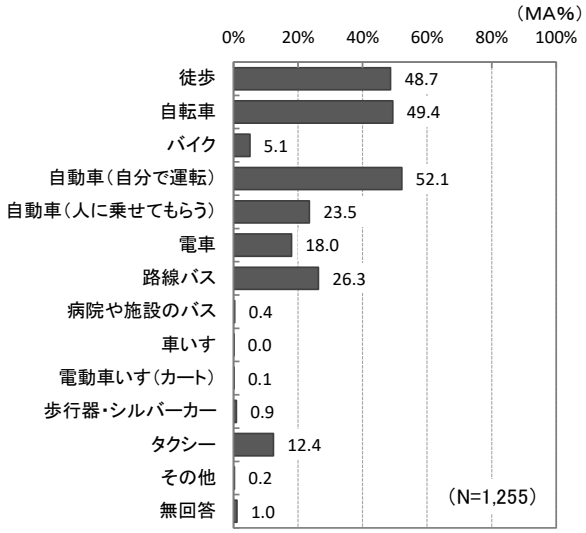


【要支援者】

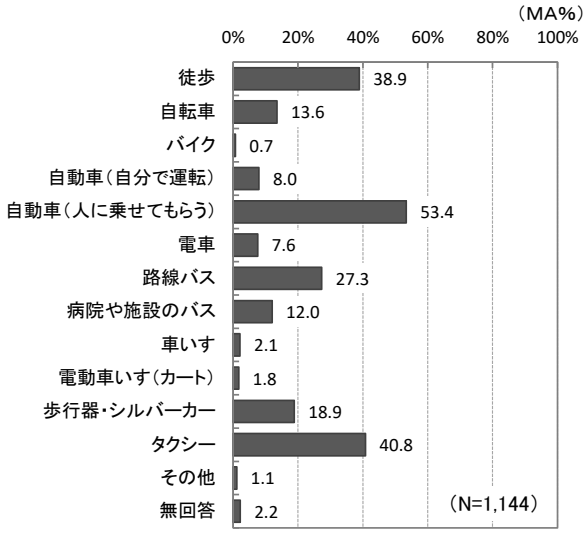


問２（９）外出をする際の移動手段は何ですか（いくつでも）

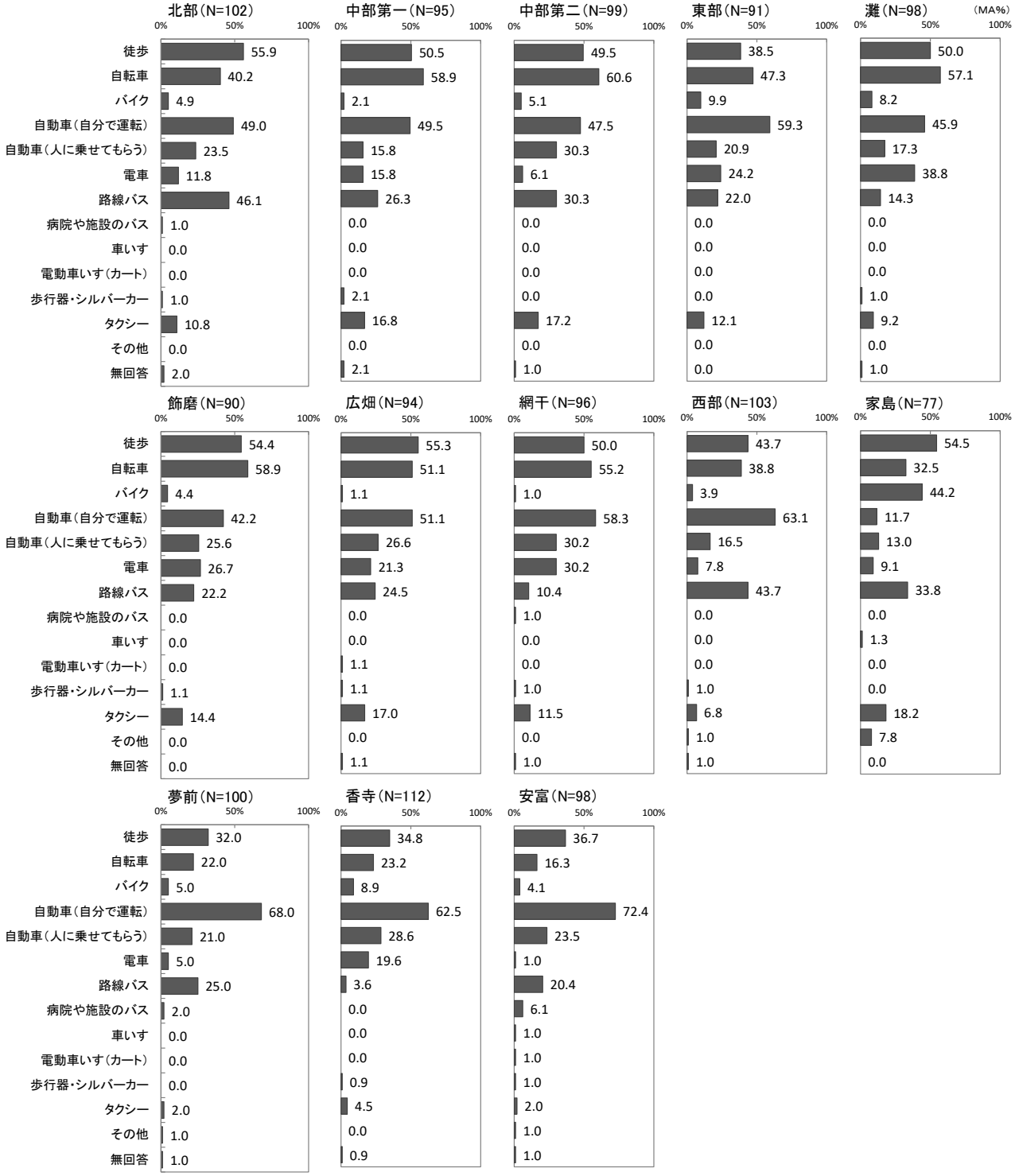
【一般高齢者】



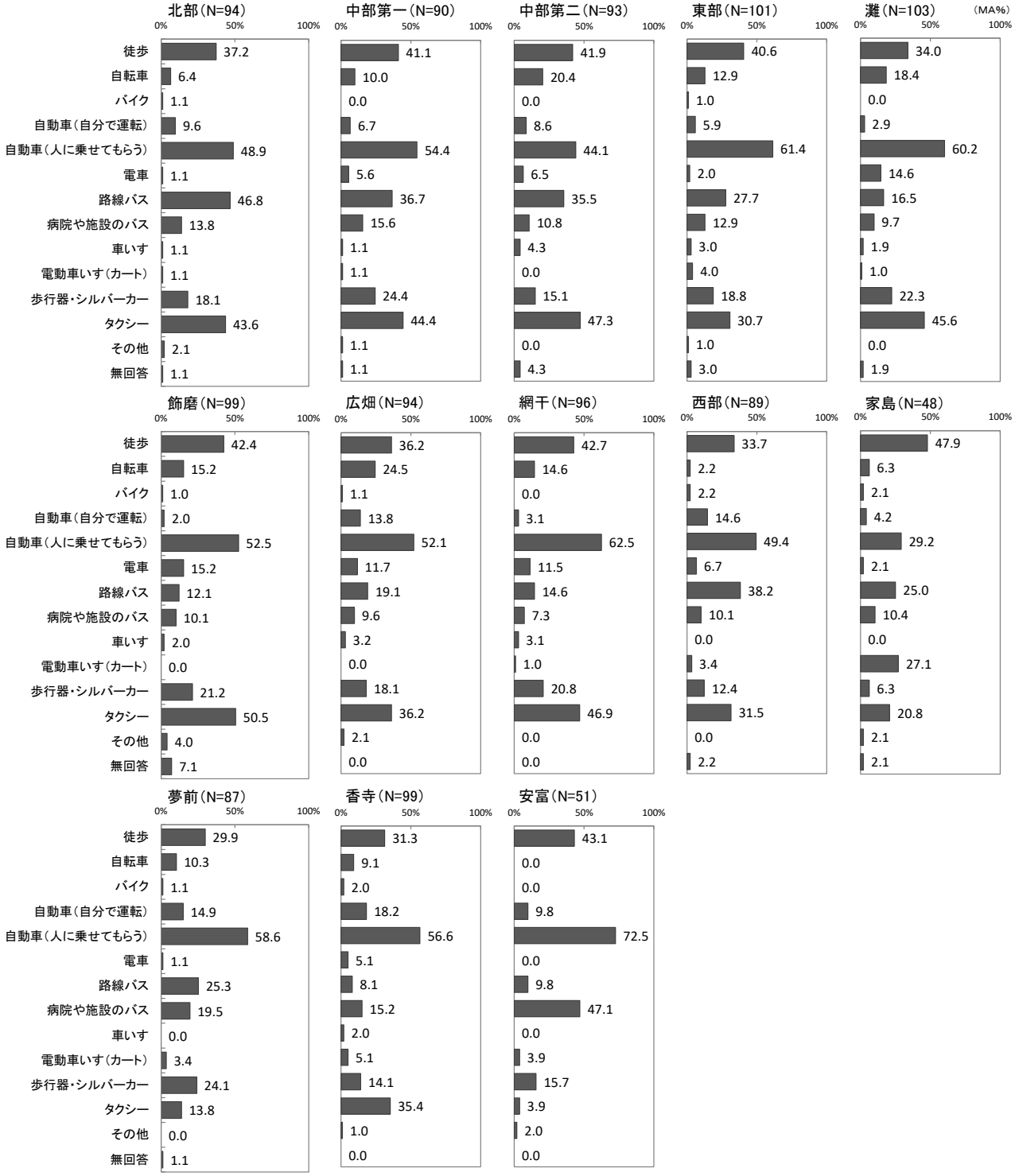
【要支援者】



【問２（９）　一般高齢者／日常生活圏域別】



【問２（９）　要支援者／日常生活圏域別】



4　食べることについて

低栄養状態にある割合は、一般高齢者、要支援者ともに5%を下回っているものの、ＢＭＩでやせの割合は約1割ある。

咀嚼機能の低下が疑われる割合は、一般高齢者では約4割、要支援者では約6割を占めている。嚥下機能の低下が疑われる割合はそれよりも少ないものの、一般高齢者では3割近く、要支援者では約4割あまりある。

自分の歯が20本以上ある割合は、一般高齢者では約4割で、要支援者ではその半分の約2割にとどまっている。

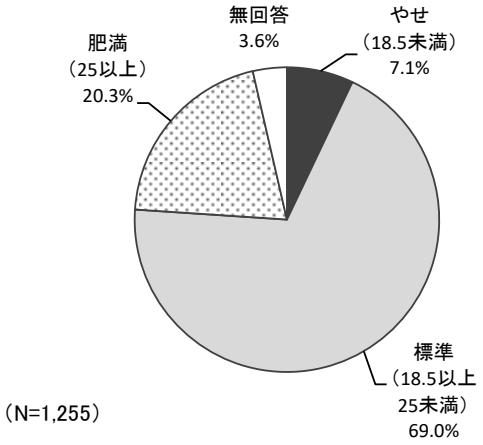
閉じこもりの傾向別に共食の状況をみると、閉じこもりの傾向がある人では共食の機会が年に何度か、またはほとんどないとの回答が多くなっており、共食が社会とのつながりと関係していることがうかがえる。

問３（１）ＢＭＩ（身長・体重）（低栄養の疑いの判定）

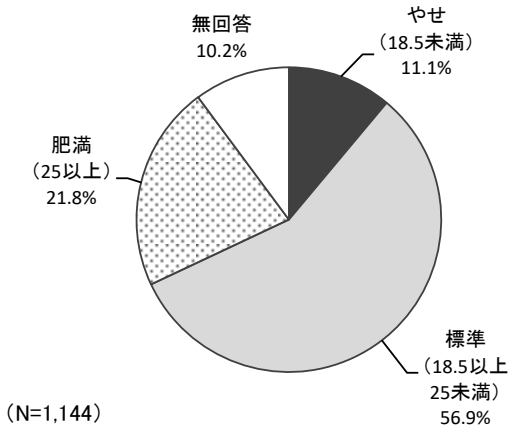
※低栄養の疑いの判定方法

問３（１）で、ＢＭＩが「やせ（18.5未満）」の場合、『低栄養の疑いあり』として集計。

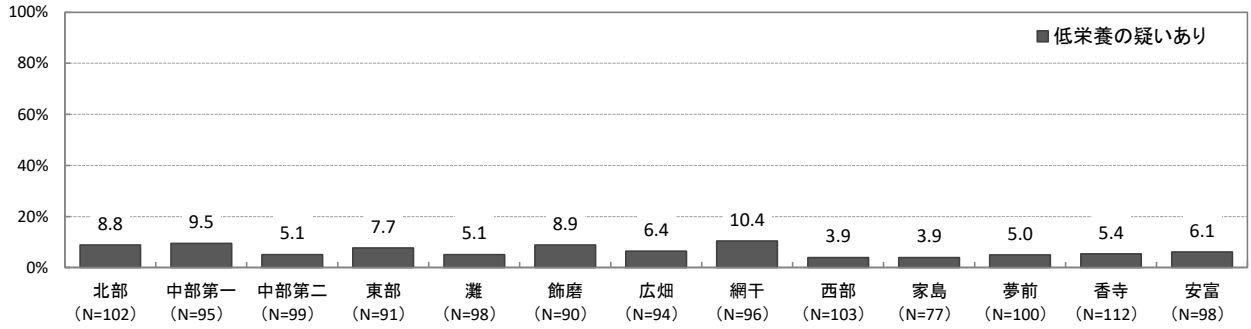
【一般高齢者】



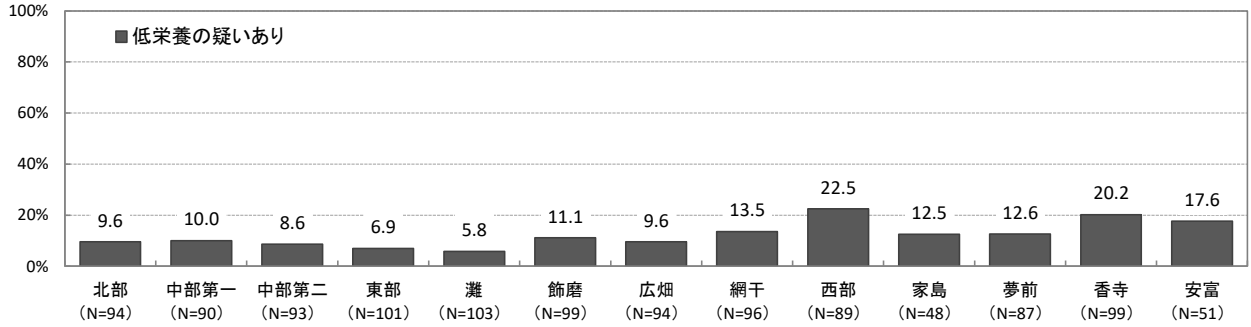
【要支援者】



【問３（１）　一般高齢者／日常生活圏域別】



【問３（１）　要支援者／日常生活圏域別】

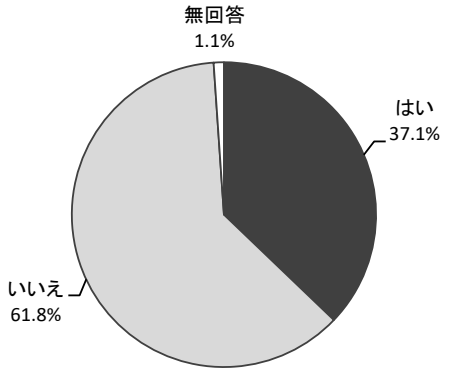


問３（２）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（咀嚼機能低下の疑いの判定）

※咀嚼機能低下の疑いの判定方法

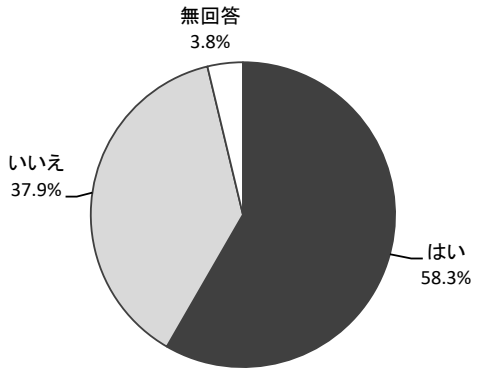
問３（２）で、「はい」が回答された場合、『咀嚼機能低下の疑いあり』として集計。

【一般高齢者】



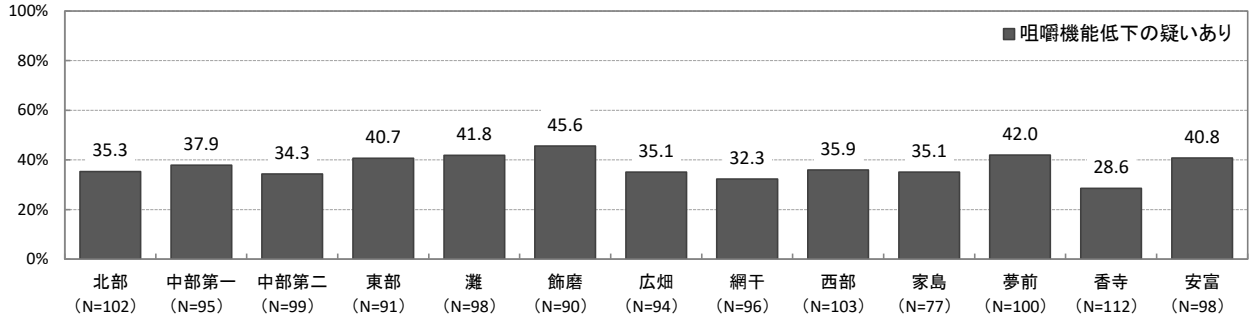
（N=1,255）

【要支援者】

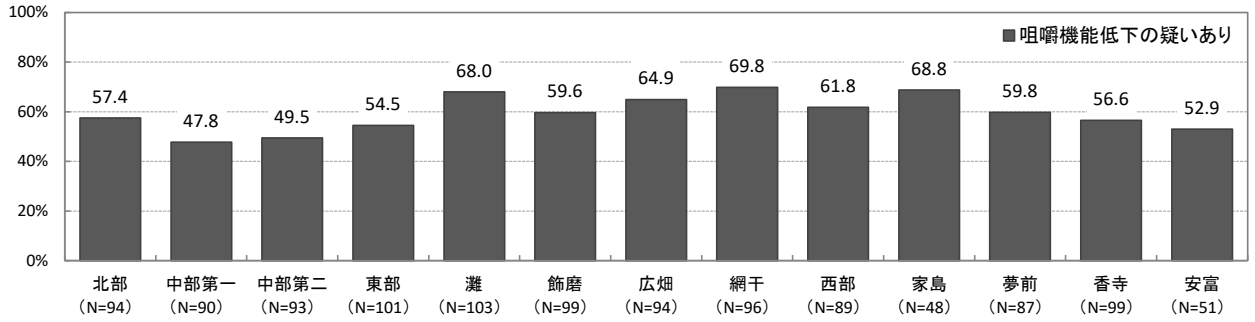


（N=1,144）

【問３（２）　一般高齢者／日常生活圏域別】



【問３（２）　要支援者／日常生活圏域別】

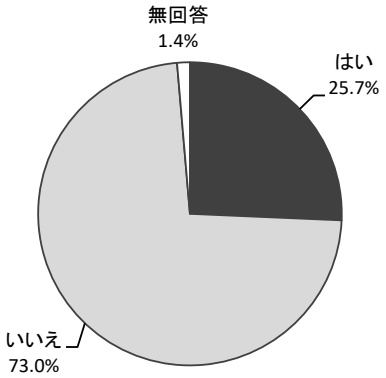


問３（３）お茶や汁物等でむせることがありますか（嚥下機能低下の疑いの判定）

※嚥下機能低下の疑いの判定方法

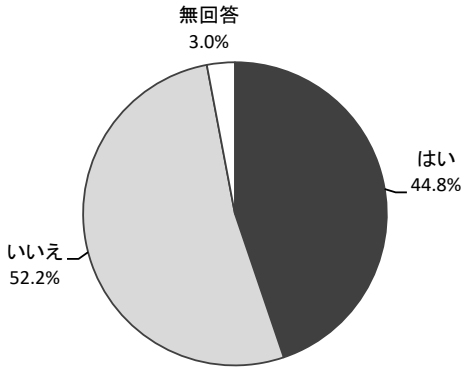
問３（３）で、「はい」が回答された場合、『嚥下機能低下の疑いあり』として集計。

【一般高齢者】



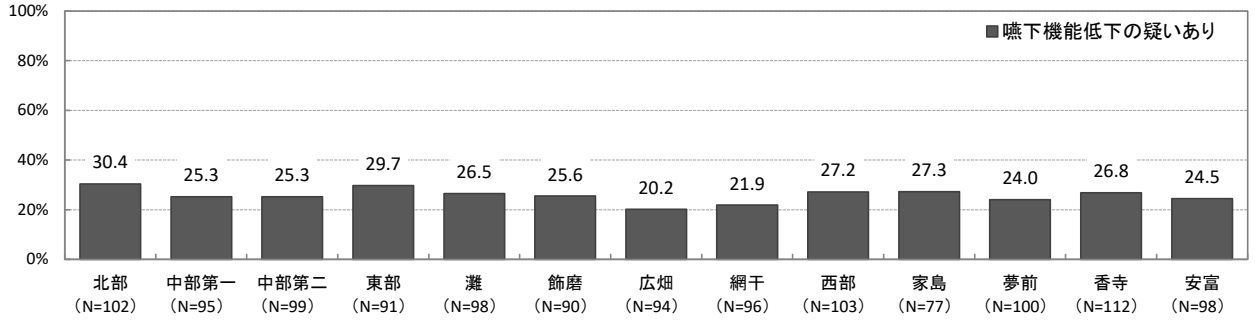
（N=1,255）

【要支援者】

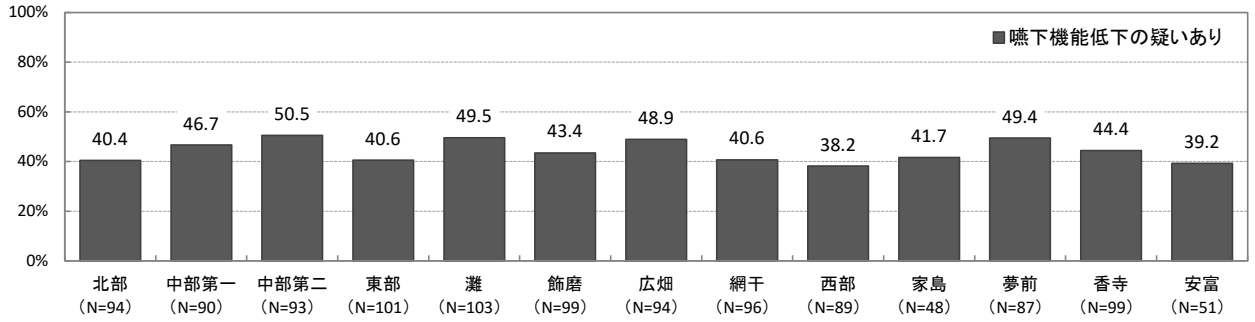


（N=1,144）

【問３（３）　一般高齢者／日常生活圏域別】

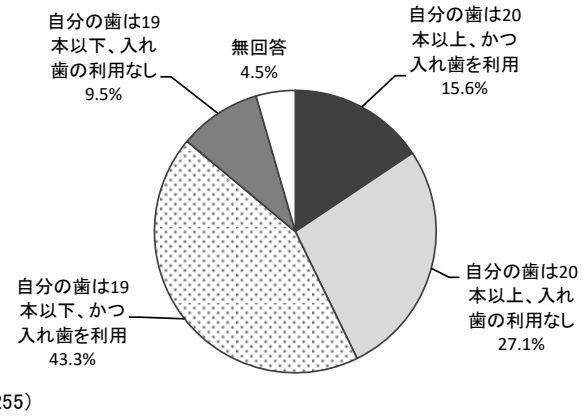


【問３（３）　要支援者／日常生活圏域別】



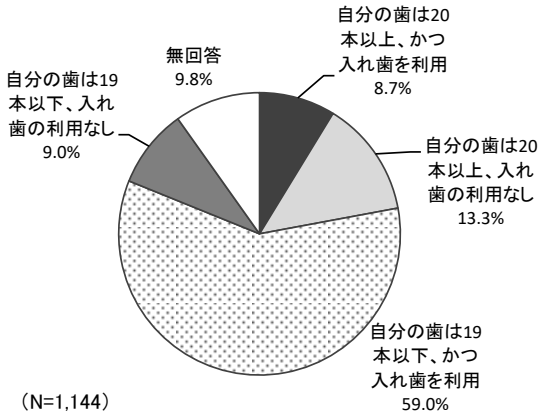
問３（４）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください

【一般高齢者】



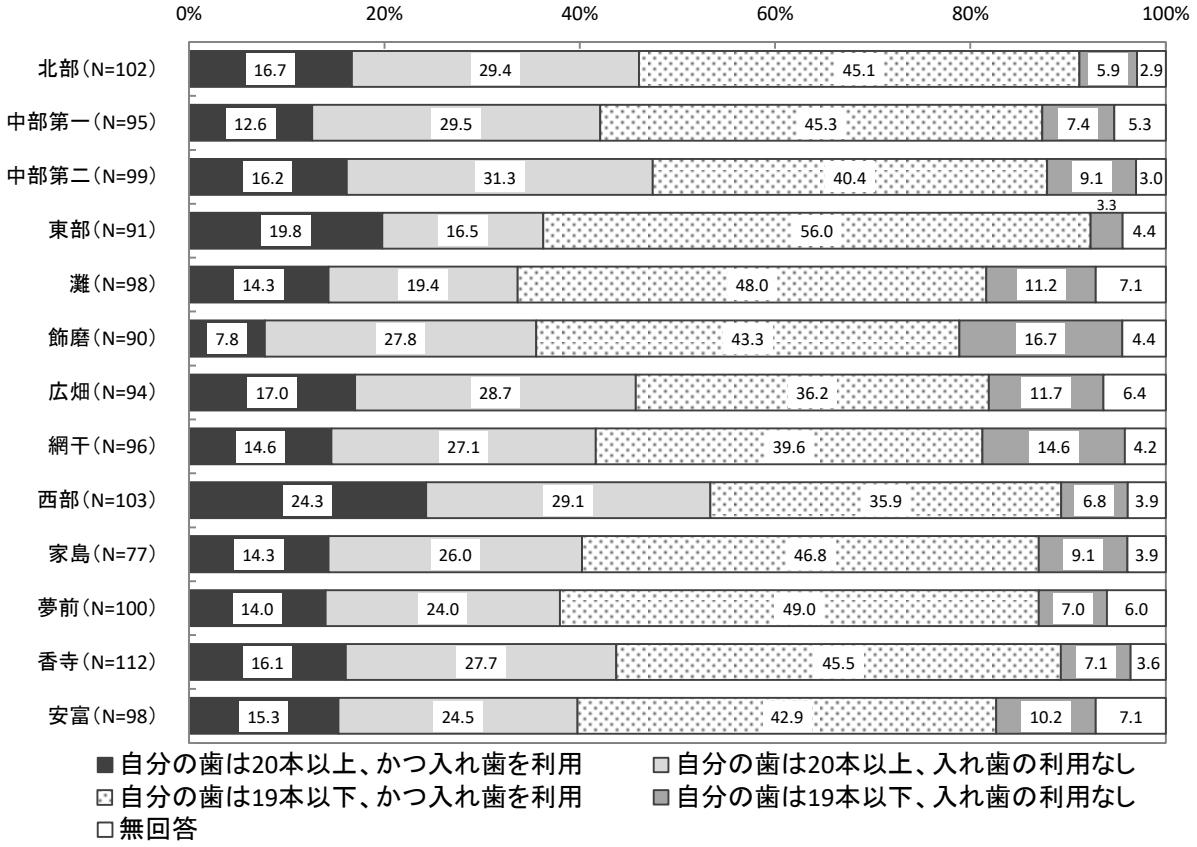
（N=1,255）

【要支援者】

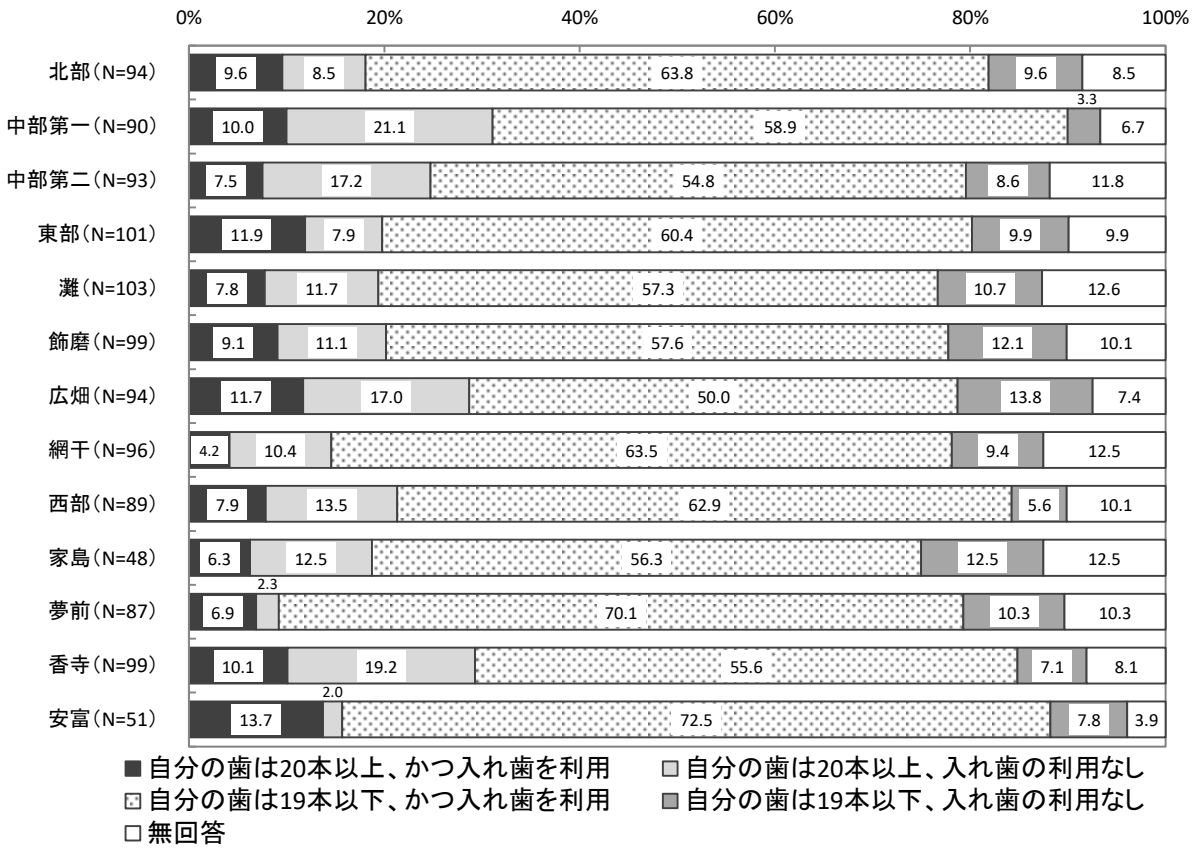


（N=1,144）

【問３（４）　一般高齢者／日常生活圏域別】



【問３（４）　要支援者／日常生活圏域別】

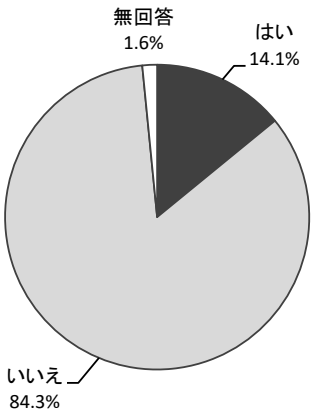


問３（５）６か月間で２～３kg 以上の体重減少がありましたか（低栄養の傾向の判定）

※低栄養の傾向の判定方法

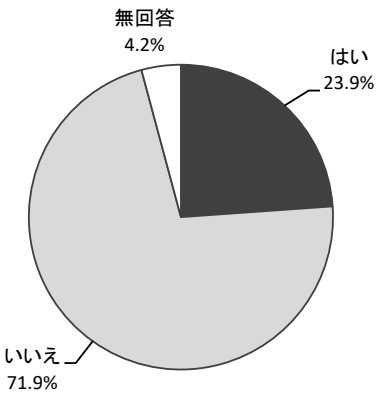
問３（５）で、「はい」が回答された場合、『低栄養の傾向のあり』として集計。

【一般高齢者】



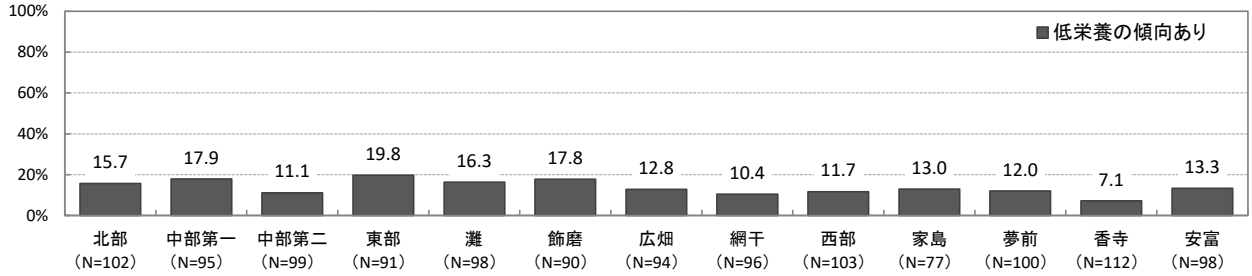
（N=1,255）

【要支援者】

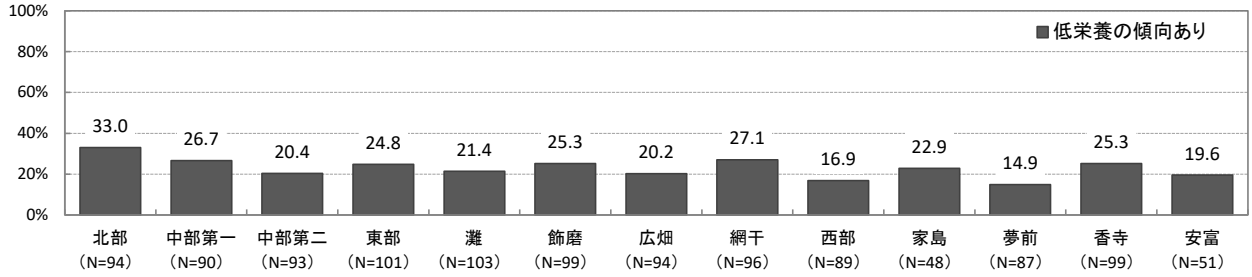


（N=1,144）

【問３（５）　一般高齢者／日常生活圏域別】



【問３（５）　要支援者／日常生活圏域別】

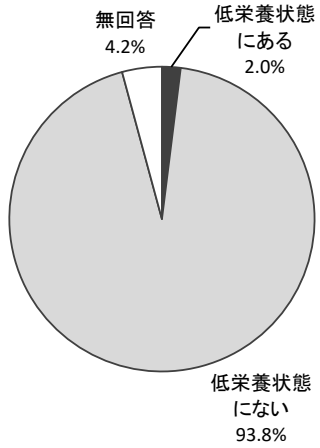


問３　低栄養状態の判定

※低栄養状態の判定方法

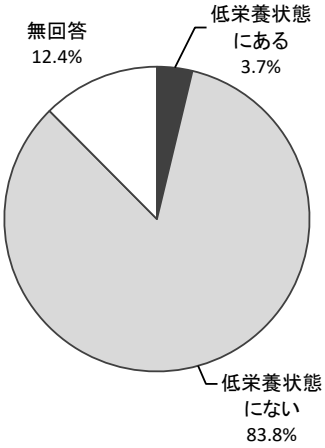
問３（１）で、ＢＭＩが「やせ（18.5未満）」、かつ、問３（５）で「はい」が回答された場合、『低栄養状態にある』として集計。

【一般高齢者】



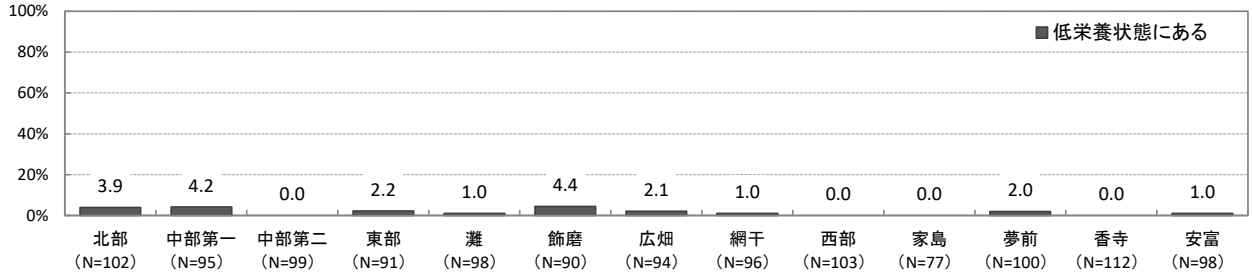
（N=1,255）

【要支援者】

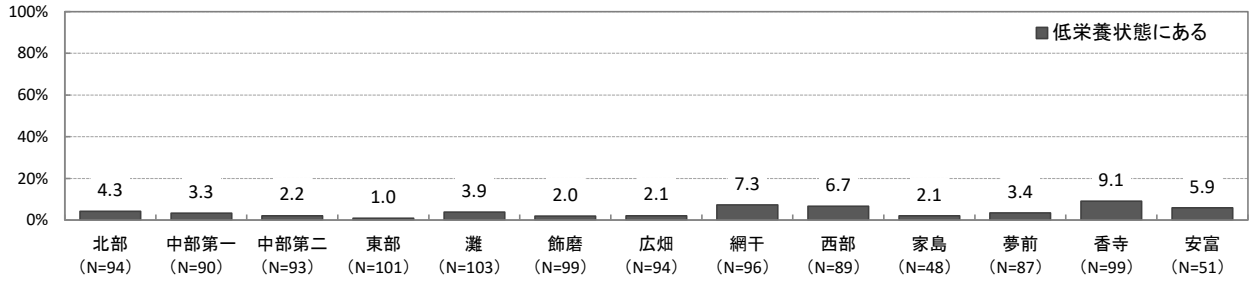


（N=1,144）

【問３　低栄養状態の判定　一般高齢者／日常生活圏域別】

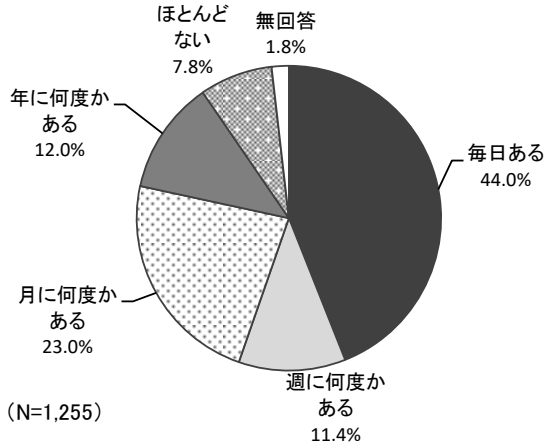


【問３　低栄養状態の判定　要支援者／日常生活圏域別】



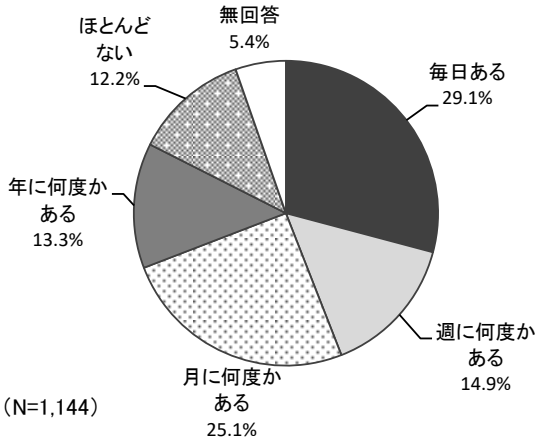
問３（６）どなたかと食事をともにする機会はありますか

【一般高齢者】



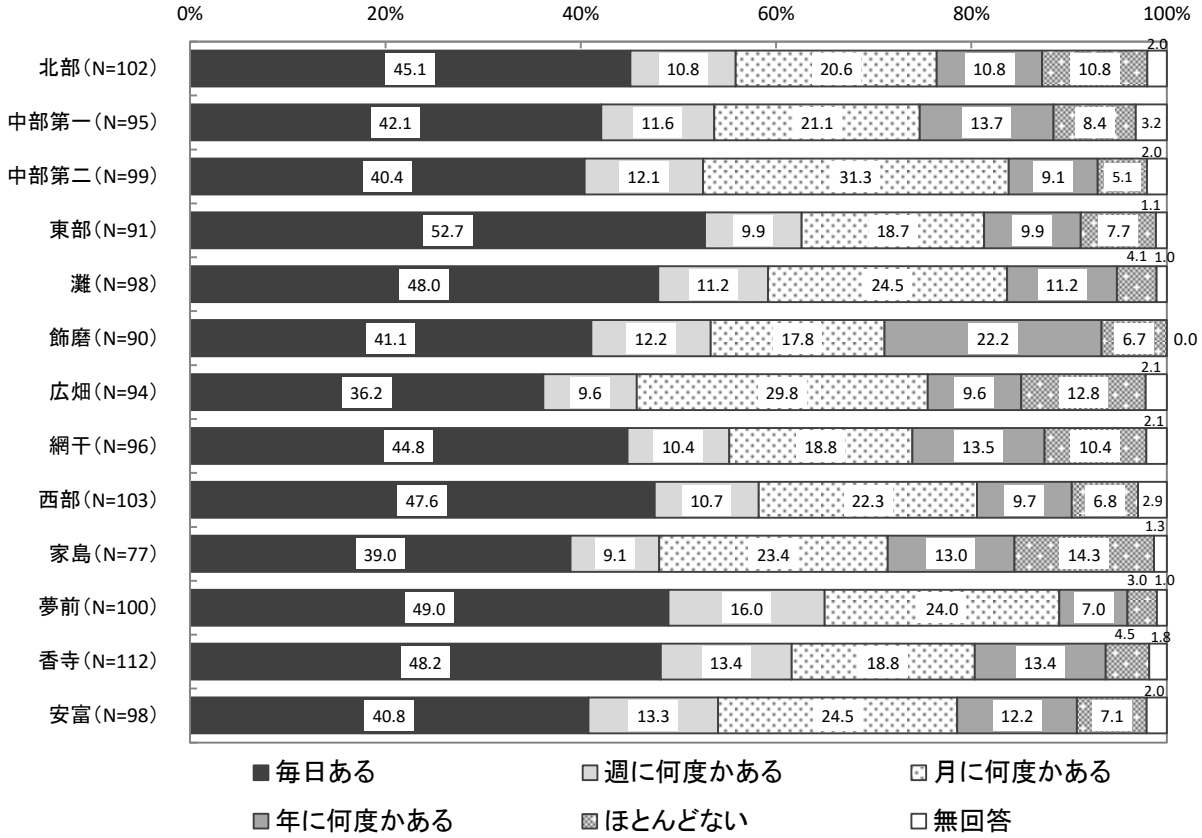
（N=1,255）

【要支援者】

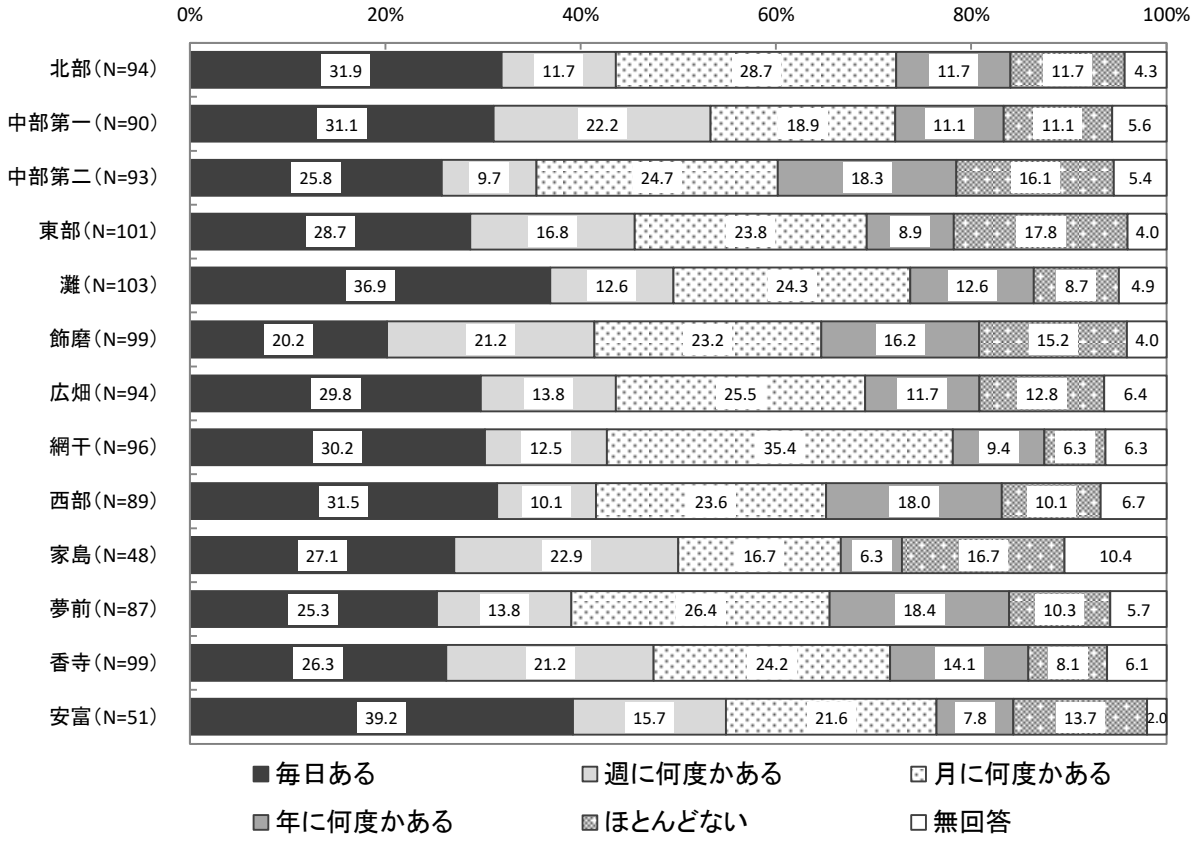


（N=1,144）

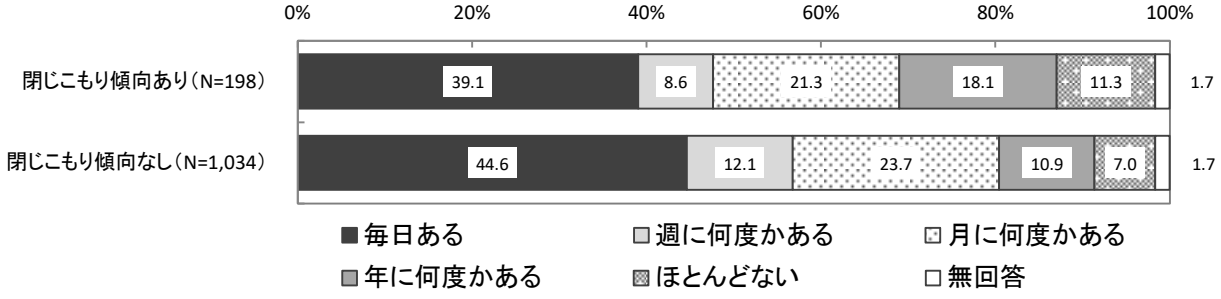
【問３（６）　一般高齢者／日常生活圏域別】



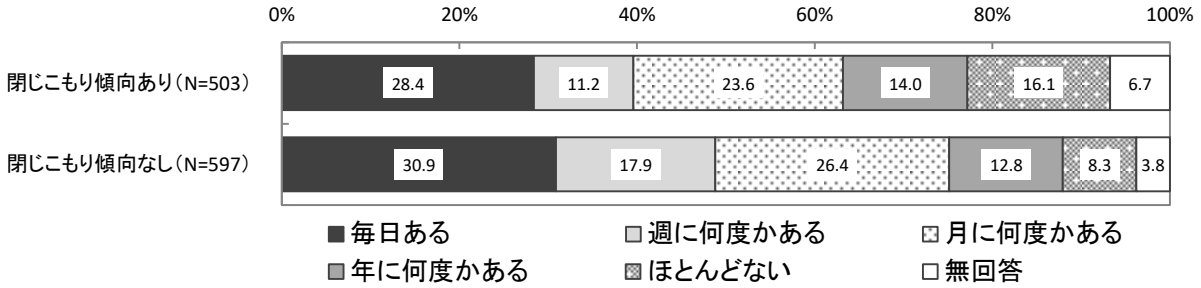
【問３（６）　要支援者／日常生活圏域別】



【問３（６）　一般高齢者／閉じこもり傾向別】



【問３（６）　要支援者／閉じこもり傾向別】



5　毎日の生活について

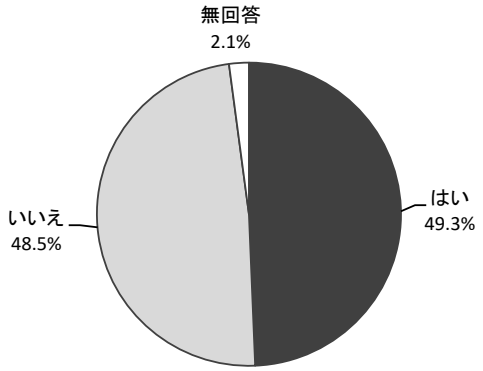
手段的自立度（ＩＡＤＬ）が低下している割合は、要支援者では約５割を占めており、一般高齢者においても１割あまりが該当している。
認知機能の低下がみられるかどうかについては、一般高齢者の約半数、要支援者の約７割が該当している。
趣味がある人の割合は、一般高齢者では約７割なのに対して要支援者では５割あまり、生きがいのある人の割合は、一般高齢者では６割近くなのに対して要支援者では約４割となっており、要支援者は一般高齢者と比べて趣味や生きがいを持つ人が少ない。

問４（１）物忘れが多いと感じますか（認知機能の低下がみられるかどうかの判定）

※認知機能の低下がみられるかどうかの判定方法

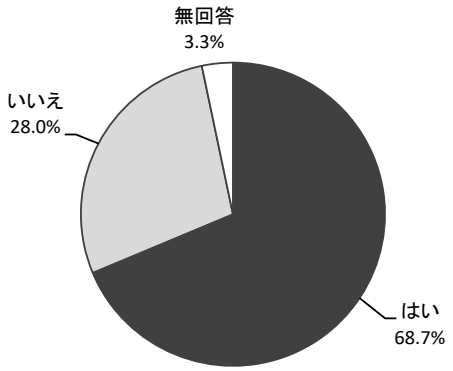
問４（１）で、「はい」が回答された場合、『認知機能の低下がみられる』として集計。

【一般高齢者】



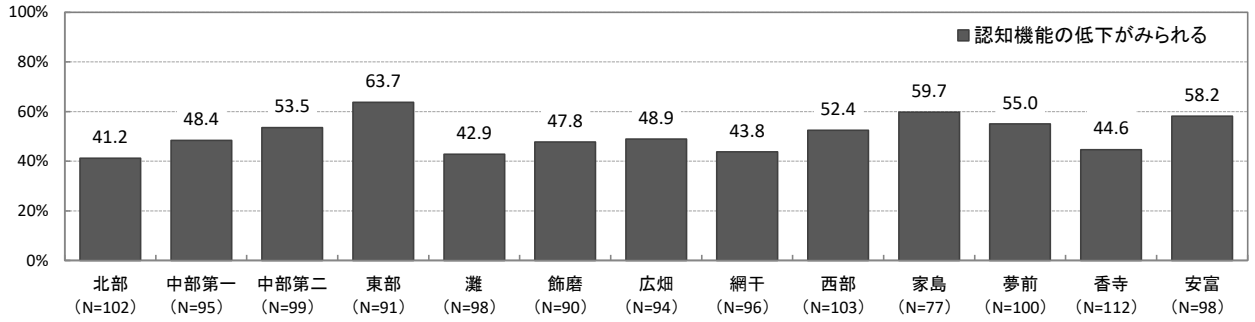
（N=1,255）

【要支援者】

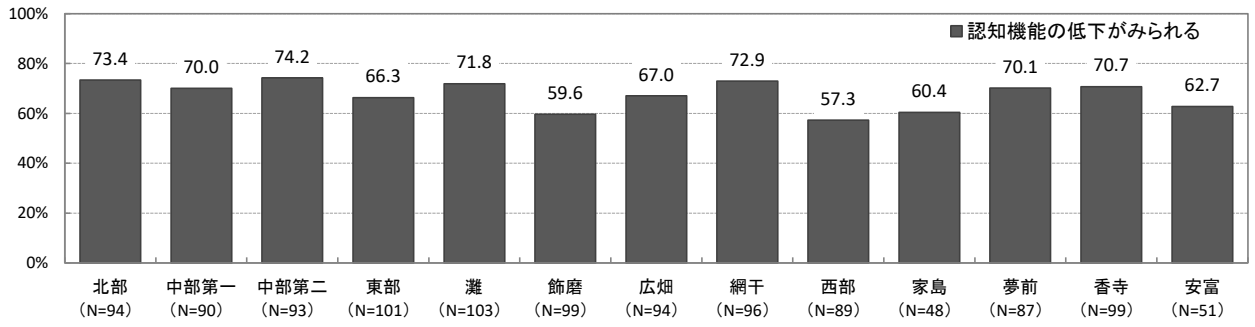


（N=1,144）

【問４（１）　一般高齢者／日常生活圏域別】

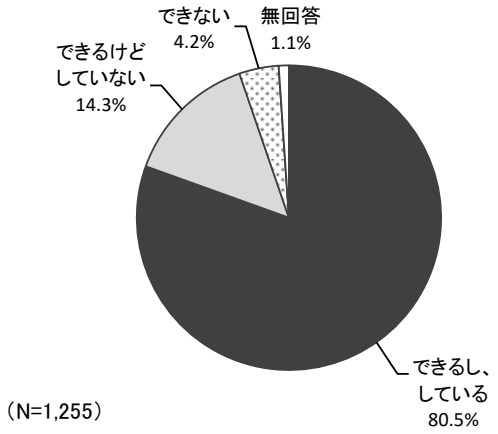


【問４（１）　要支援者／日常生活圏域別】

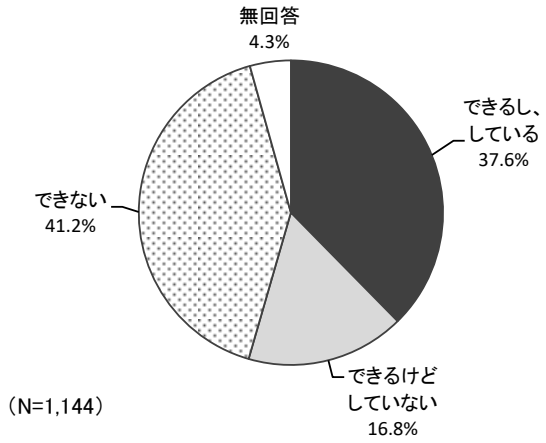


問４（２）バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）

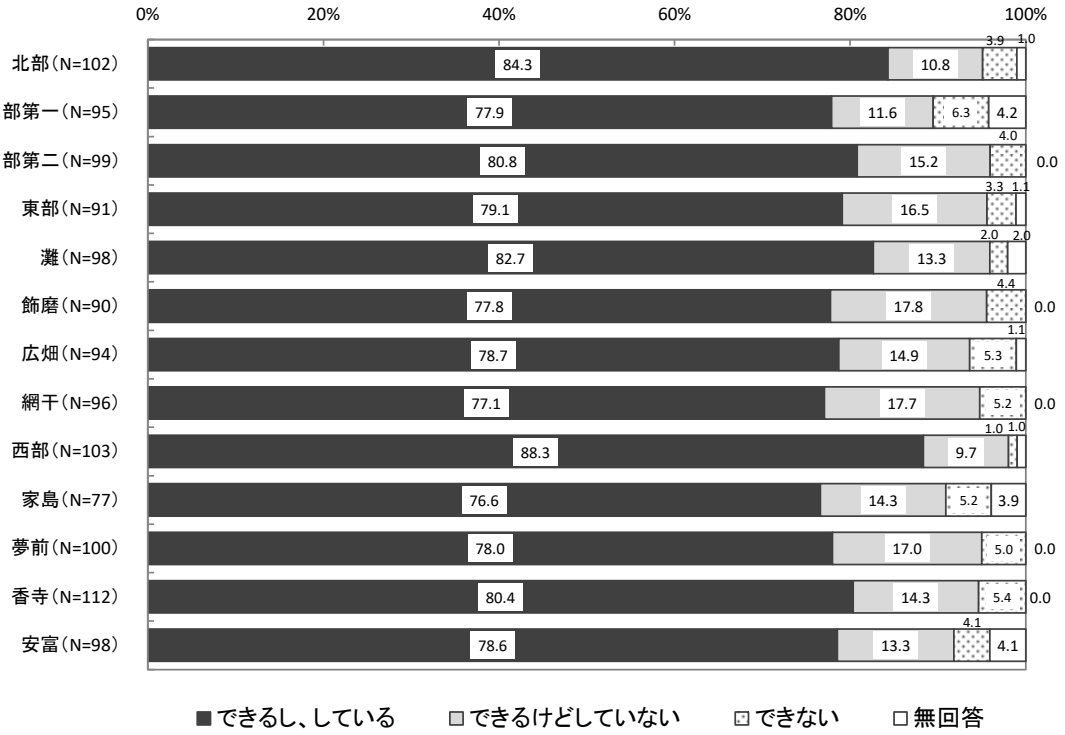
【一般高齢者】



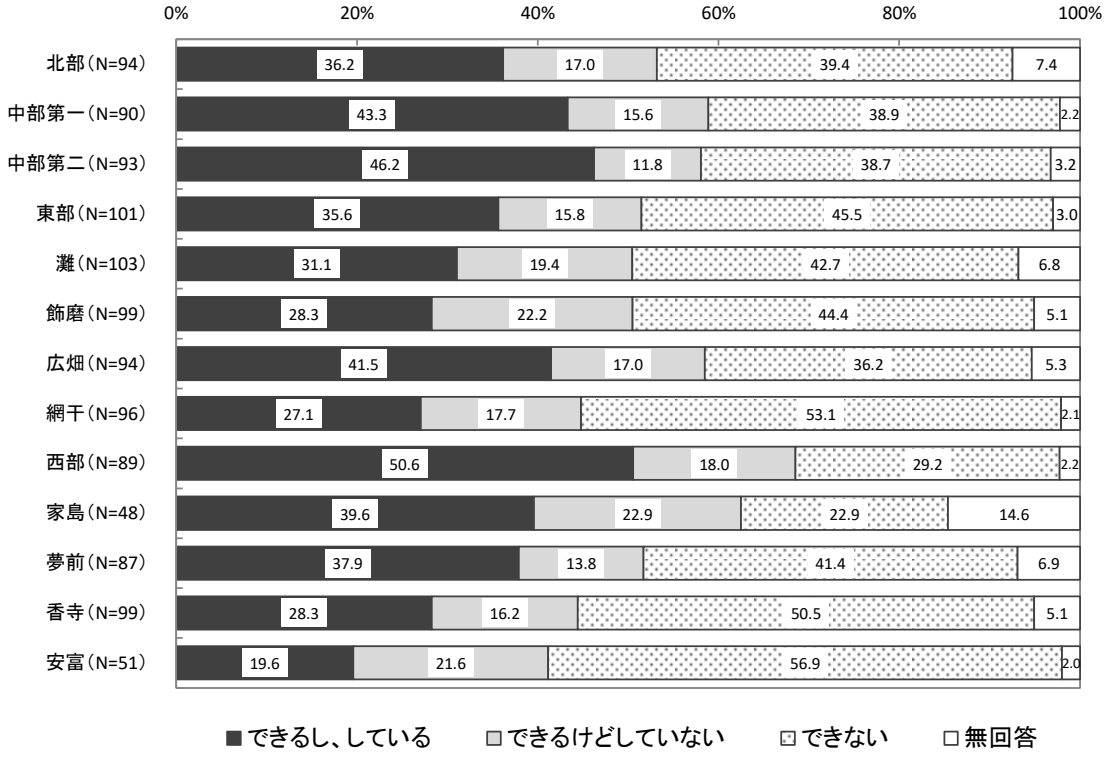
【要支援者】



【問４（２）　一般高齢者／日常生活圏域別】

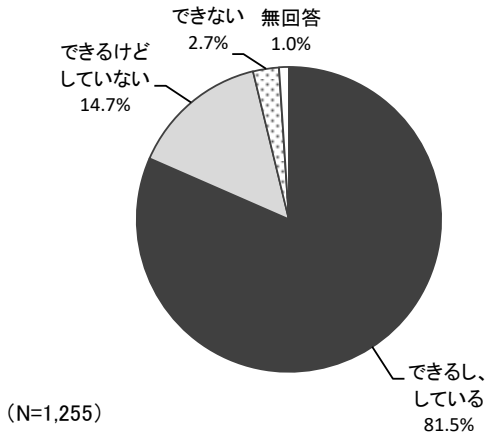


【問４（２）　要支援者／日常生活圏域別】

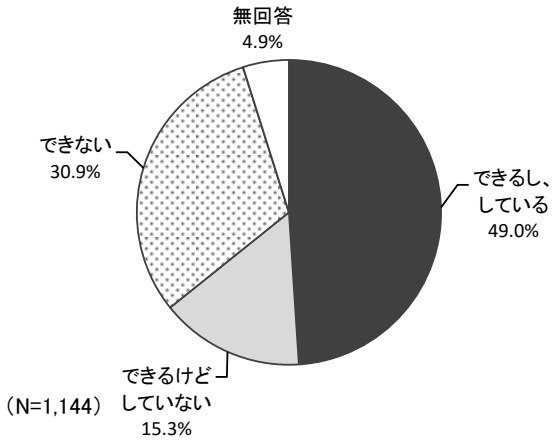


問４（３）自分で食品・日用品の買物をしていますか

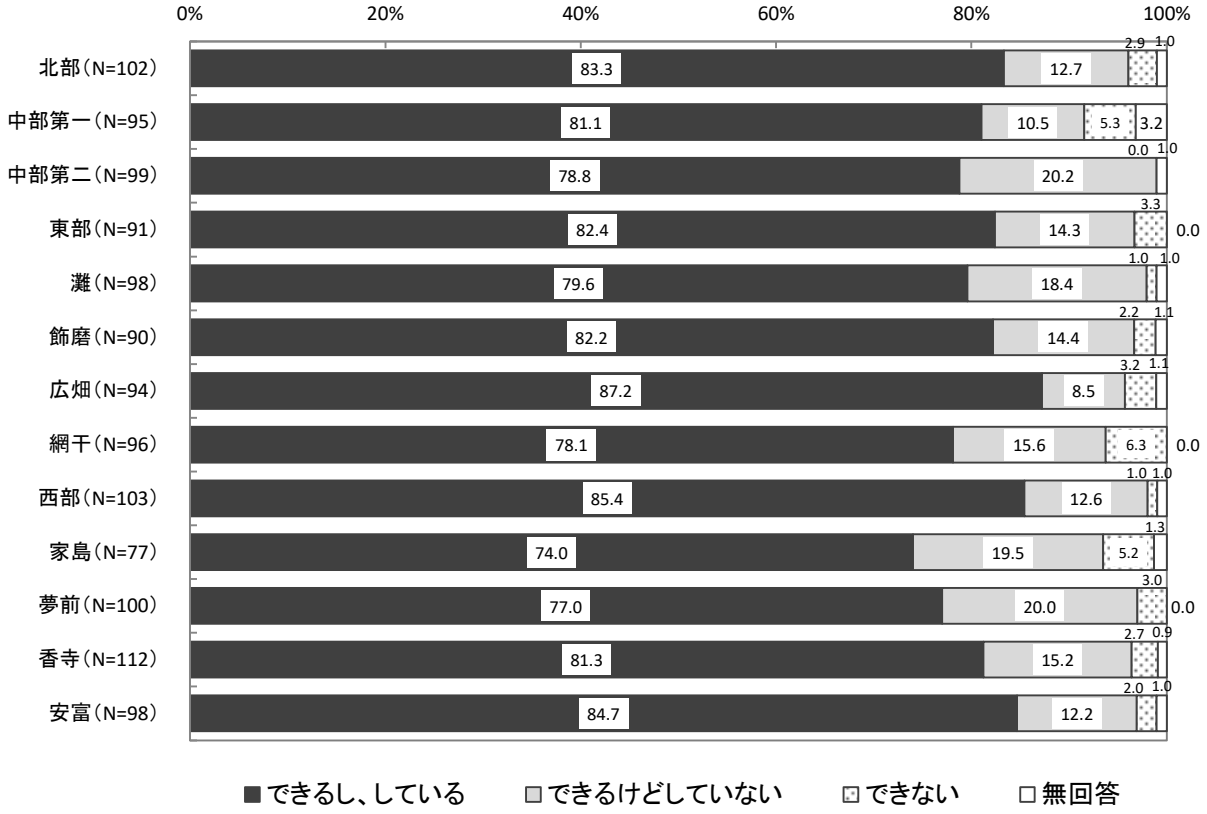
【一般高齢者】



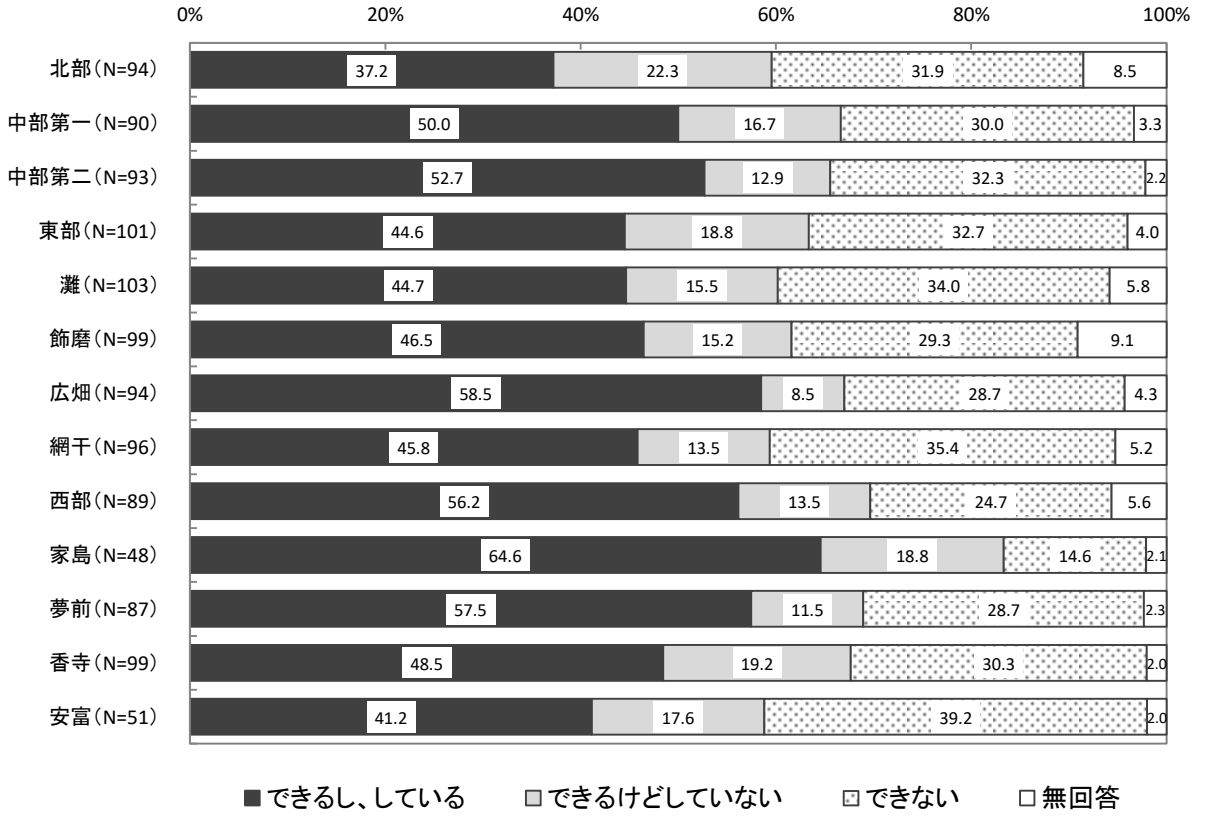
【要支援者】



【問４（３）　一般高齢者／日常生活圏域別】

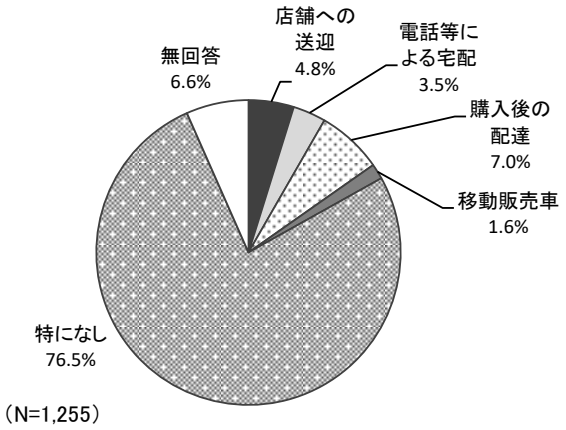


【問４（３）　要支援者／日常生活圏域別】



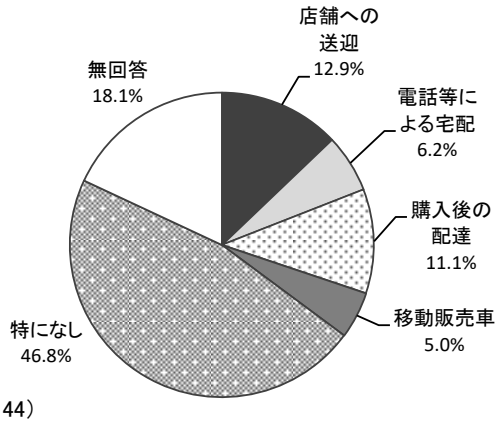
問４（４）食品・日用品の買い物について利用したいサービスはありますか

【一般高齢者】



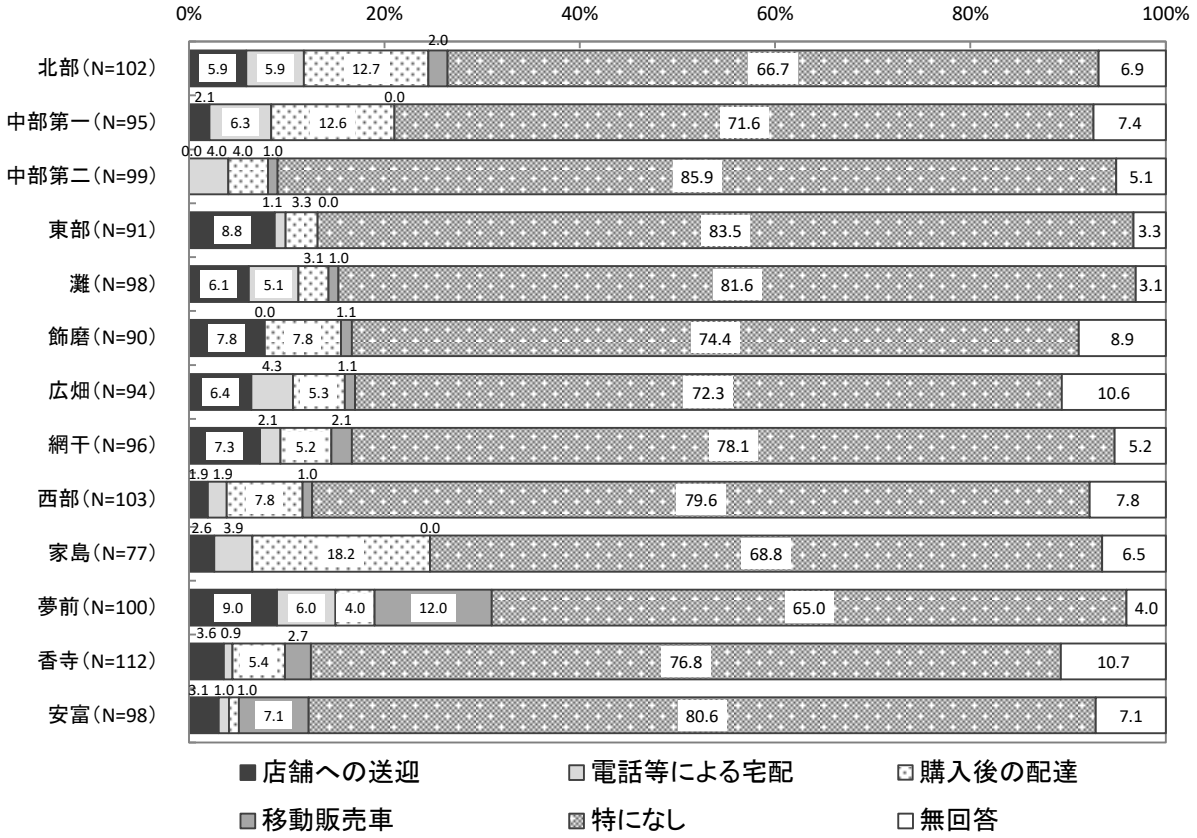
（N=1,255）

【要支援者】

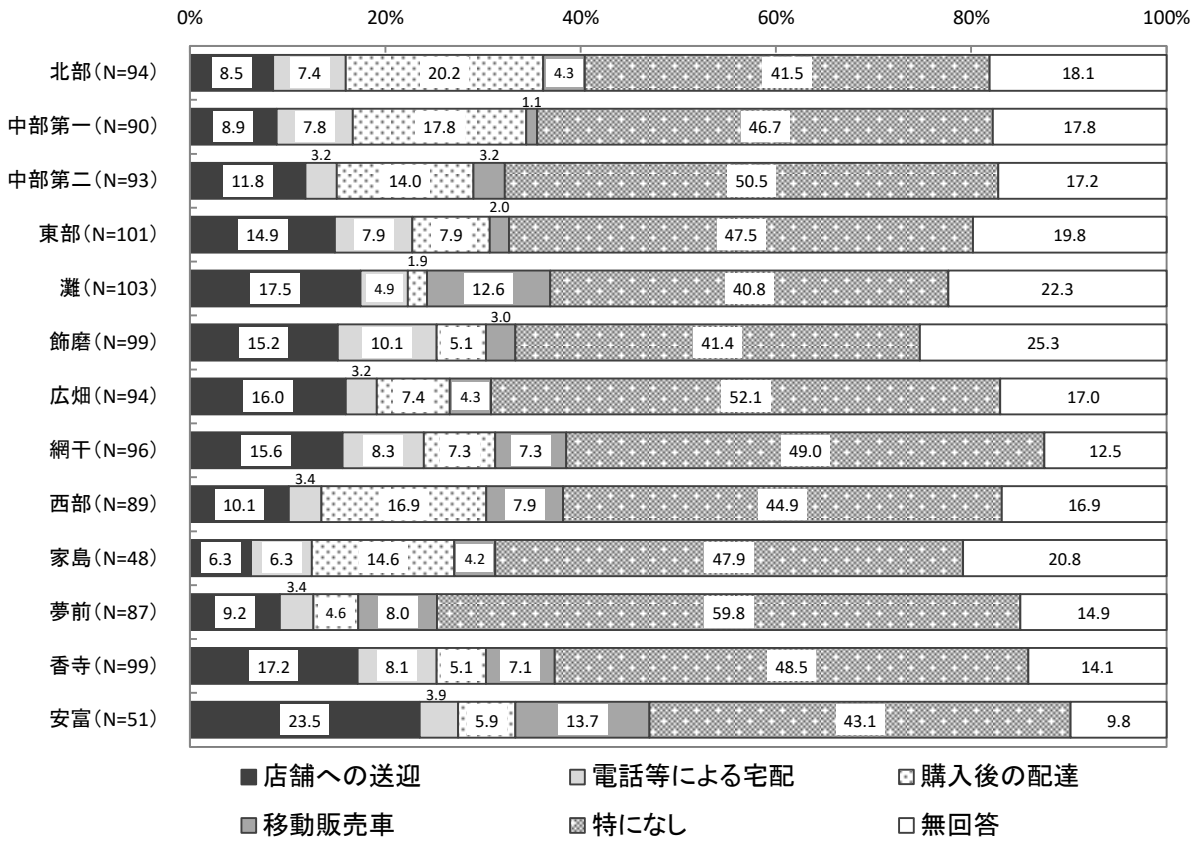


（N=1,144）

【問４（４）　一般高齢者／日常生活圏域別】

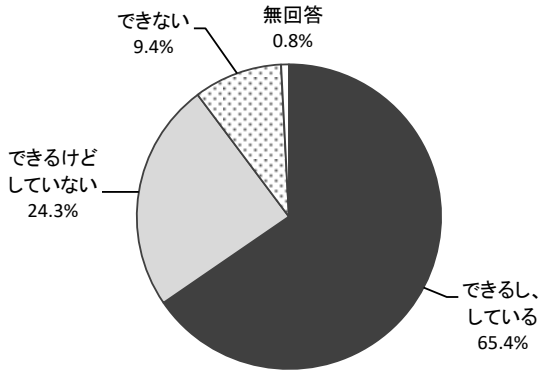


【問４（４）　要支援者／日常生活圏域別】



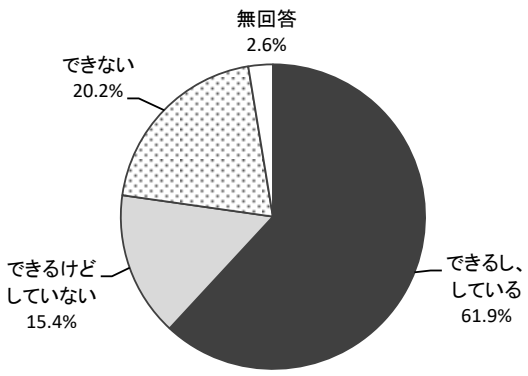
問４（５）自分で食事の用意をしていますか

【一般高齢者】



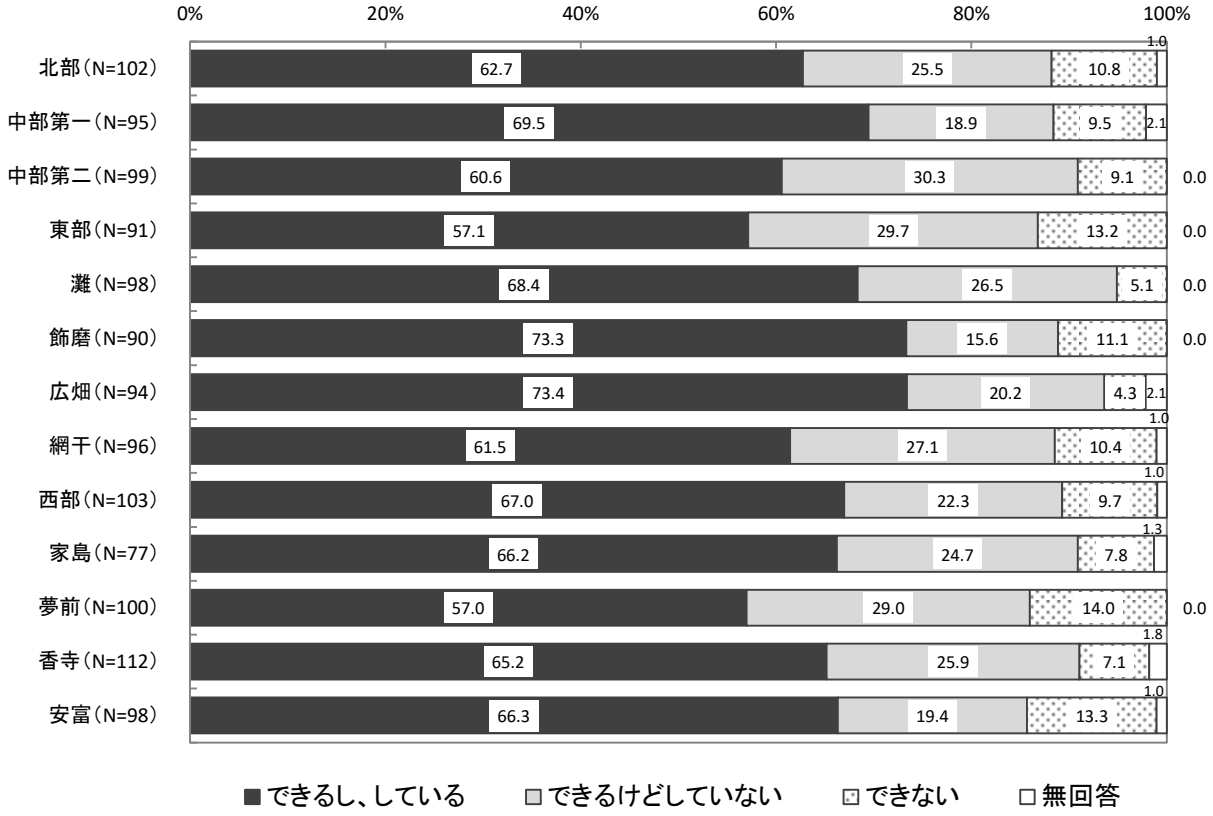
（N=1,255）

【要支援者】

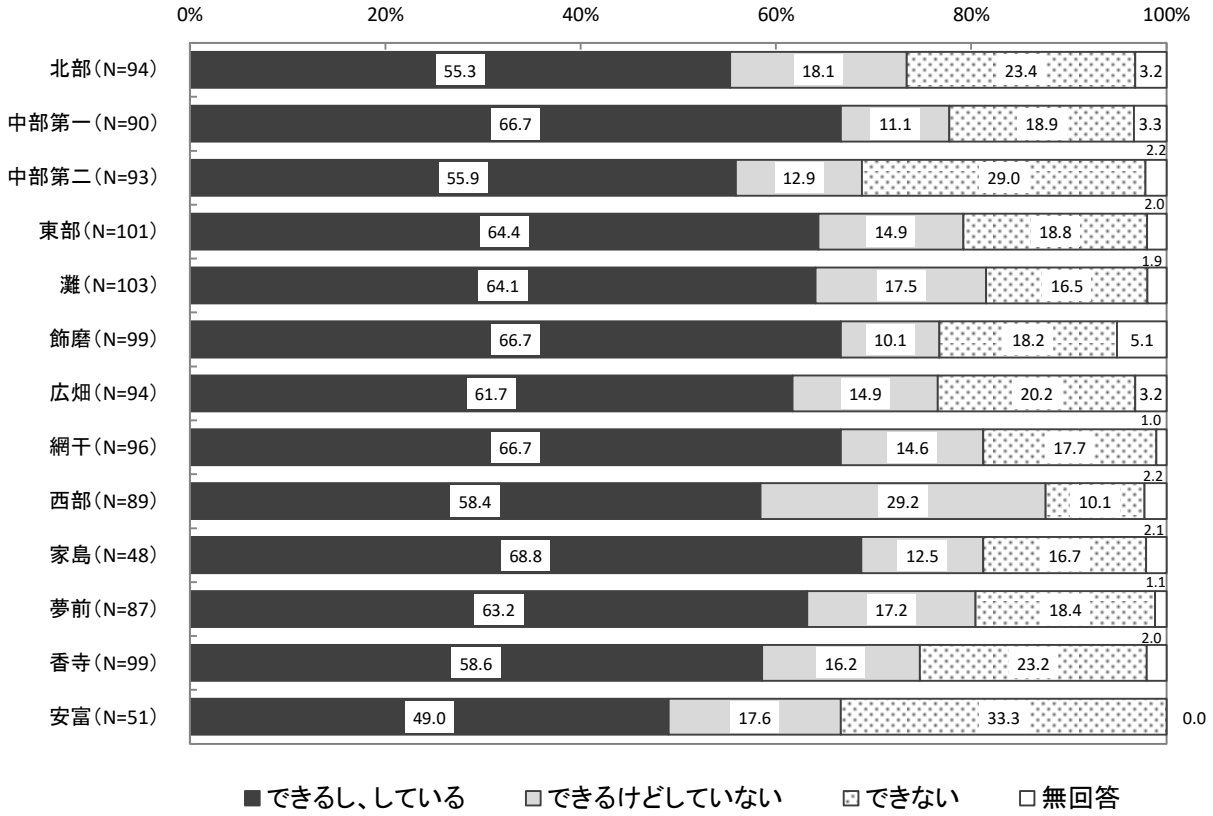


（N=1,144）

【問４（５）　一般高齢者／日常生活圏域別】

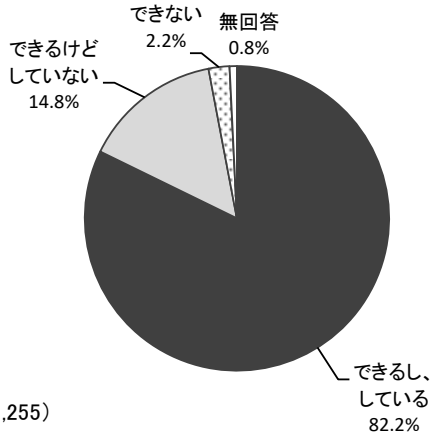


【問４（５）　要支援者／日常生活圏域別】



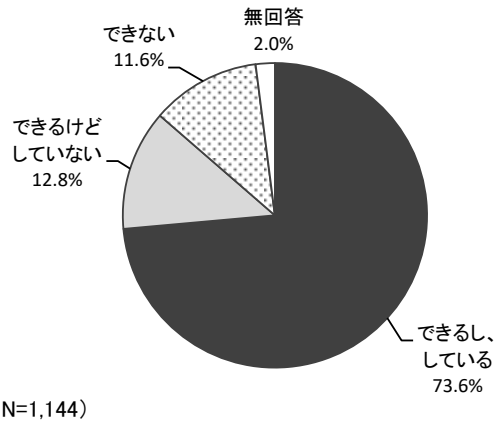
問４（６）自分で請求書の支払いをしていますか

【一般高齢者】



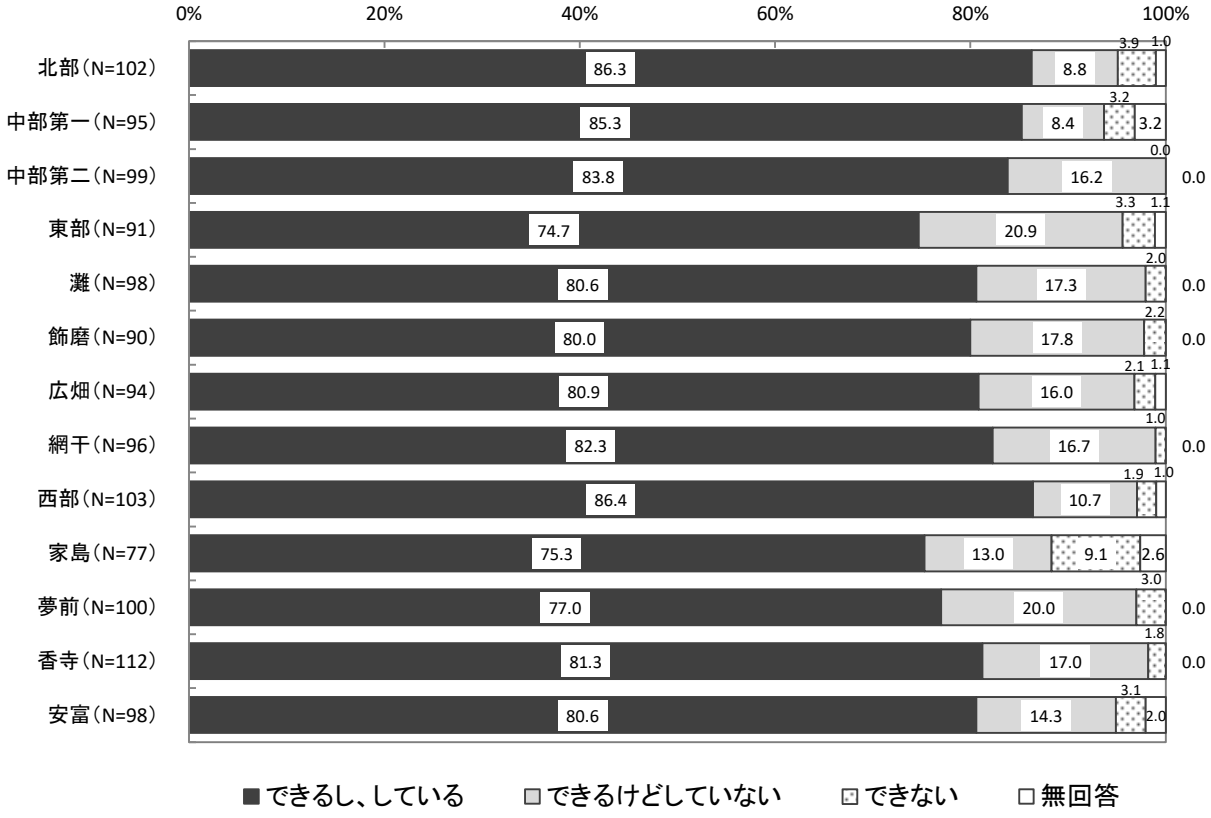
（N=1,255）

【要支援者】

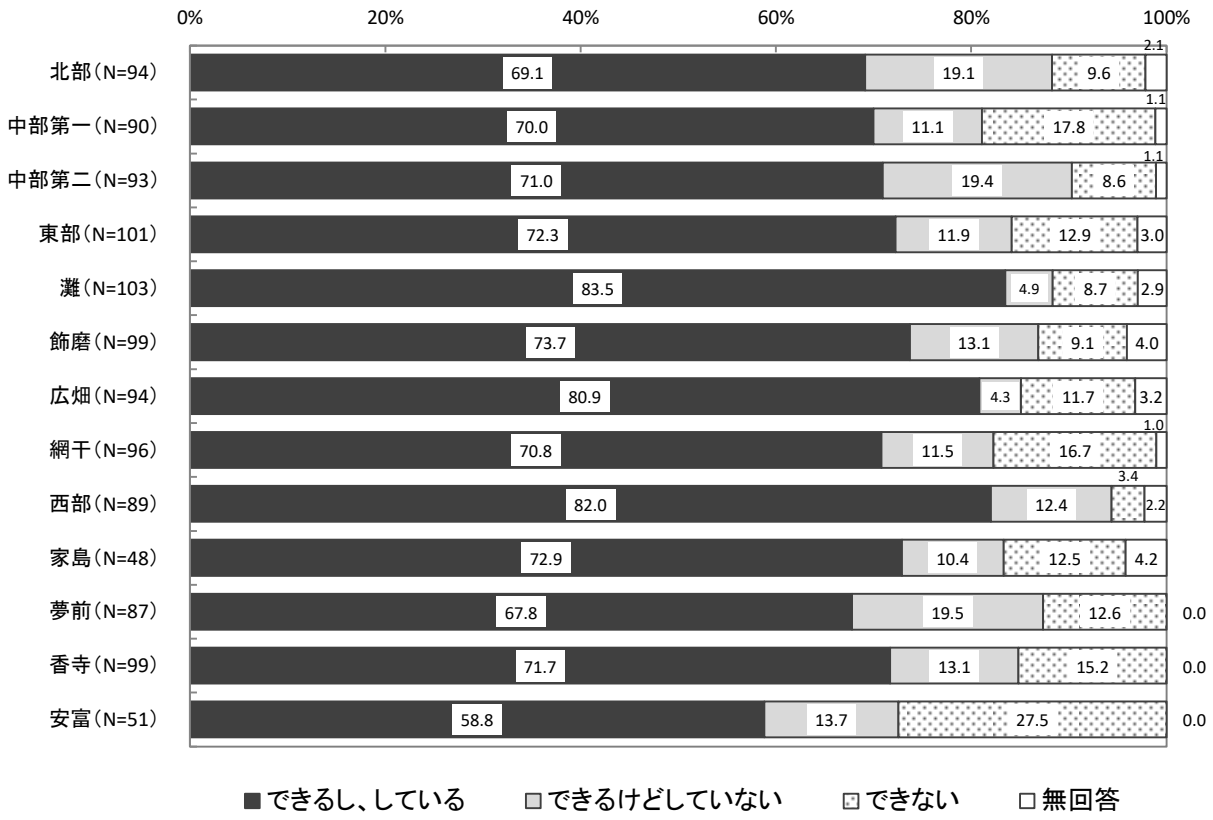


（N=1,144）

【問４（６）　一般高齢者／日常生活圏域別】

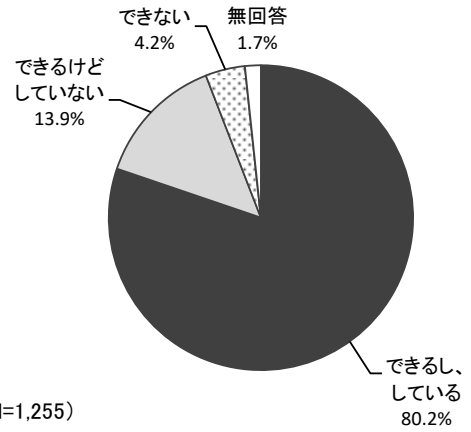


【問４（６）　要支援者／日常生活圏域別】



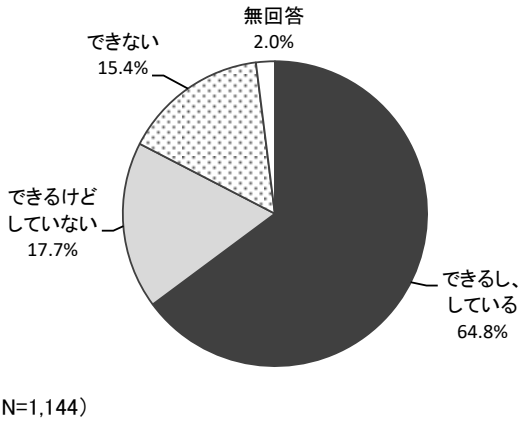
問４（７）自分で預貯金の出し入れをしていますか

【一般高齢者】



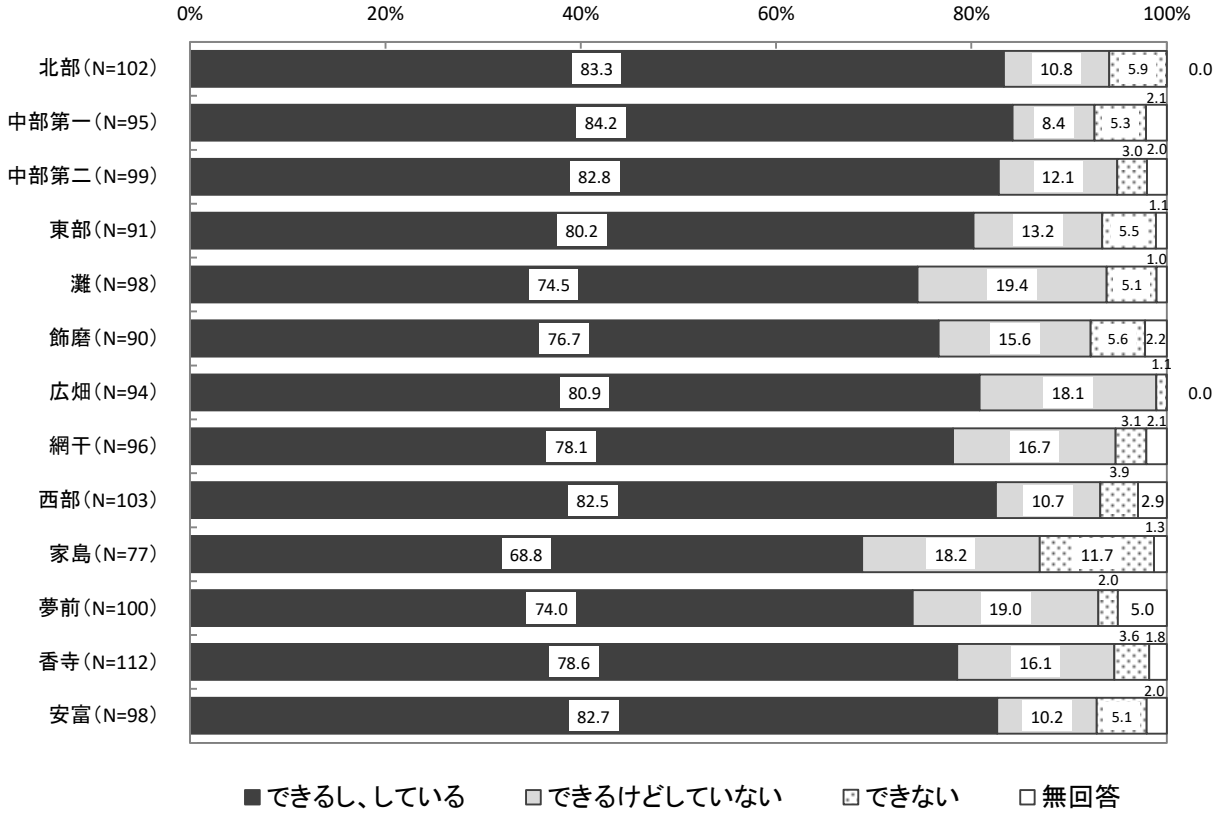
（N=1,255）

【要支援者】

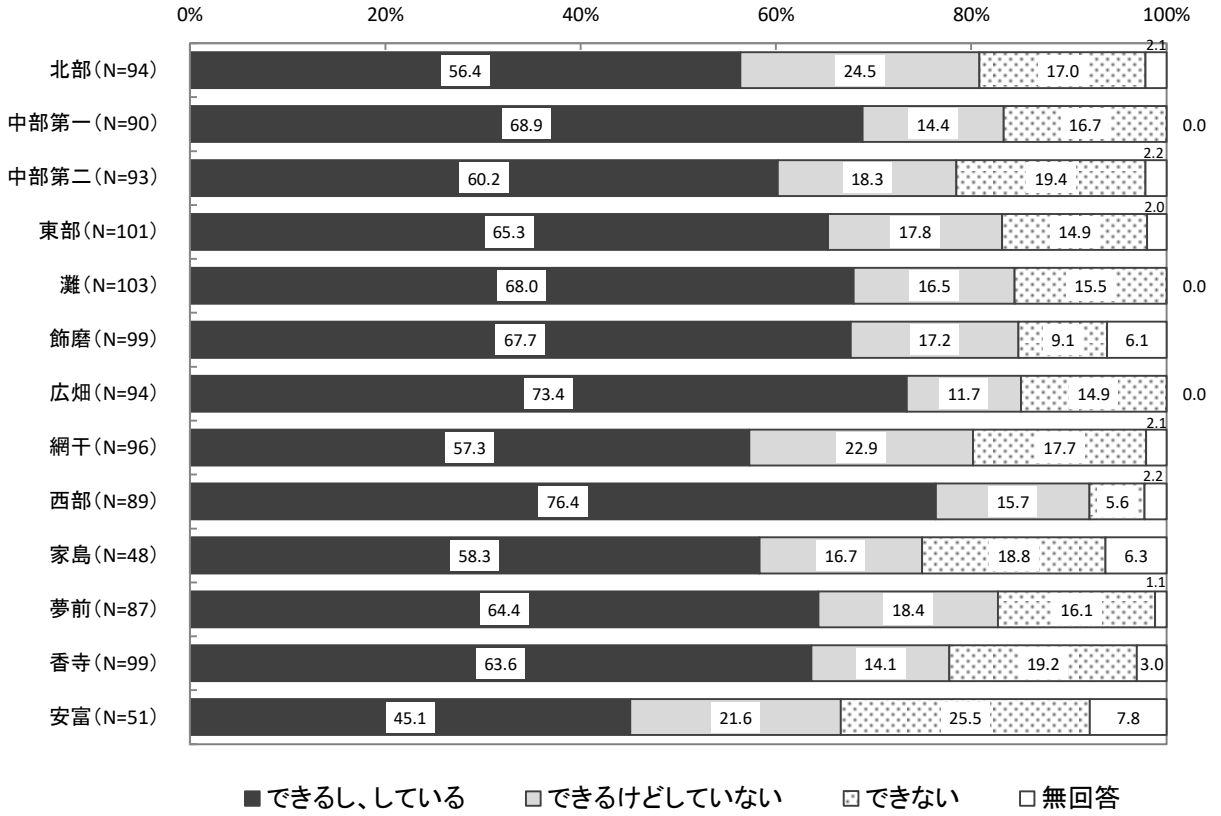


（N=1,144）

【問４（７）　一般高齢者／日常生活圏域別】



【問４（７）　要支援者／日常生活圏域別】

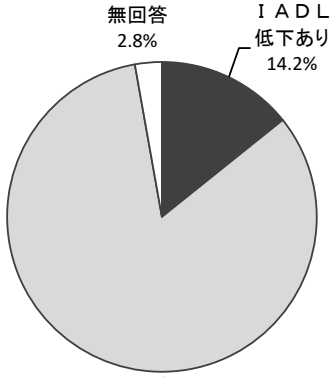


問４　手段的自立度（ＩＡＤＬ）の判定

※手段的自立度（ＩＡＤＬ）の判定方法

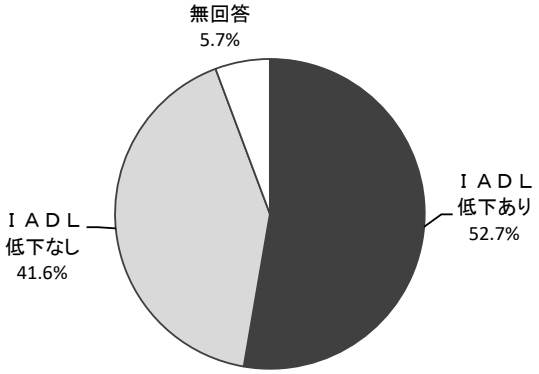
問４（２）・（３）・（５）・（６）・（７）で、「できるし、している」またはた「できるけどしていない」が回答された場合を１点として、５満点で評価し、４点以下の場合、『ＩＡＤＬ低下あり』として集計。

【一般高齢者】



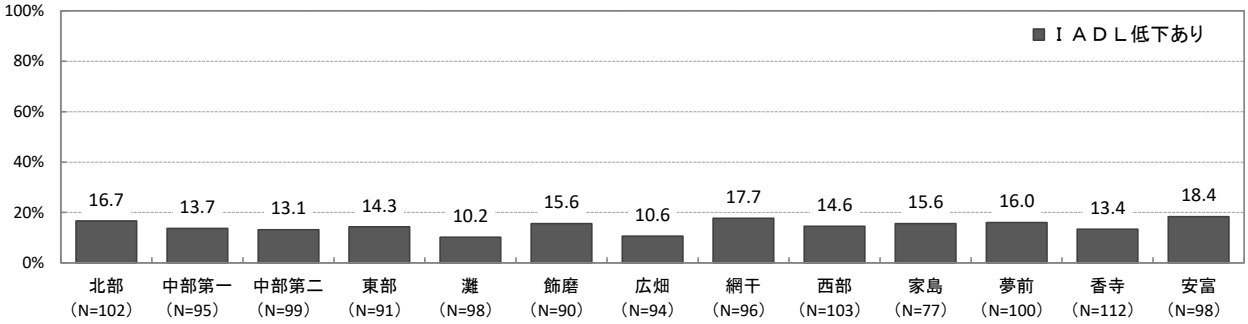
（N=1,255）

【要支援者】

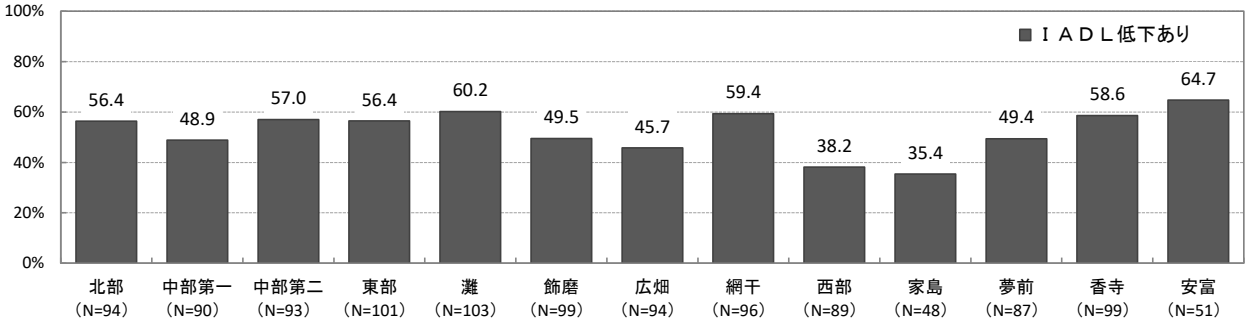


（N=1,144）

【問４　ＩＡＤＬの判定　一般高齢者／日常生活圏域別】

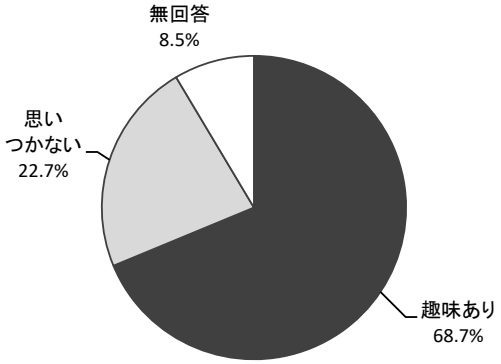


【問４　ＩＡＤＬの判定　要支援者／日常生活圏域別】



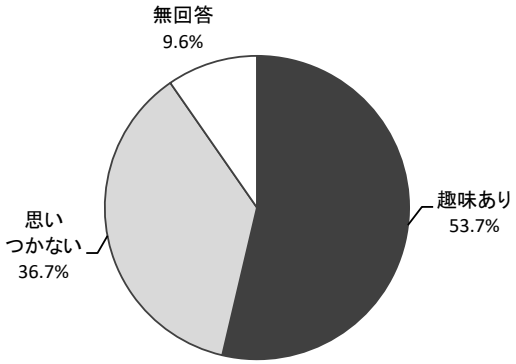
問４（８）趣味はありますか

【一般高齢者】



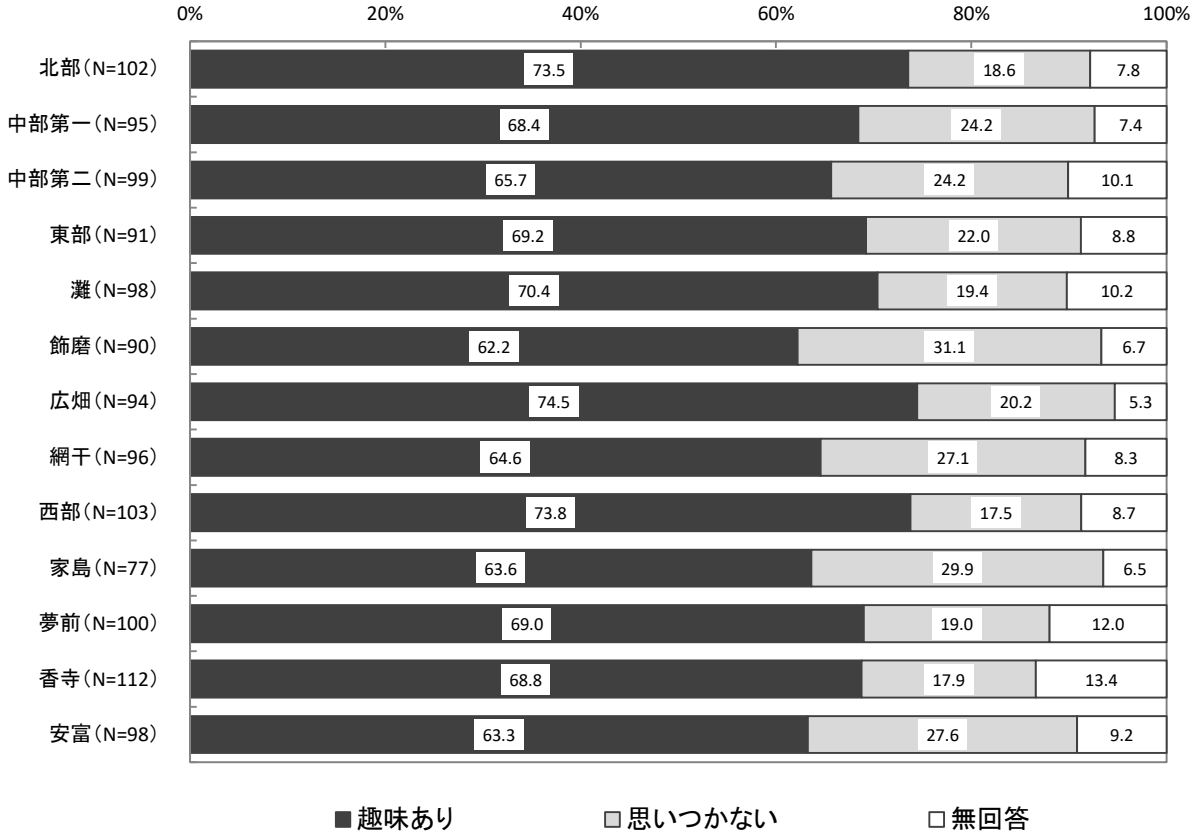
（N=1,255）

【要支援者】

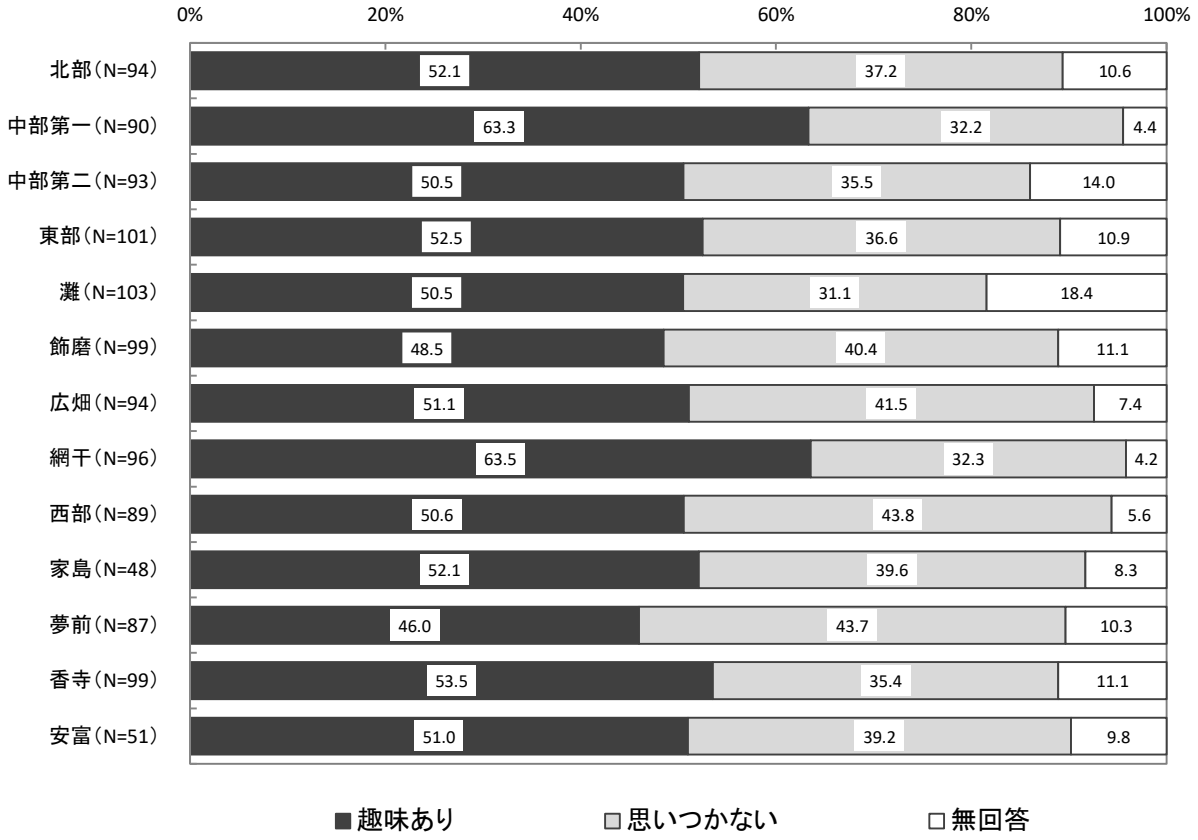


（N=1,144）

【問４（８）　一般高齢者／日常生活圏域別】

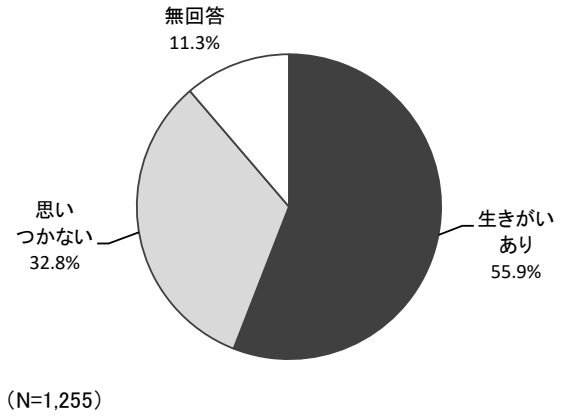


【問４（８）　要支援者／日常生活圏域別】

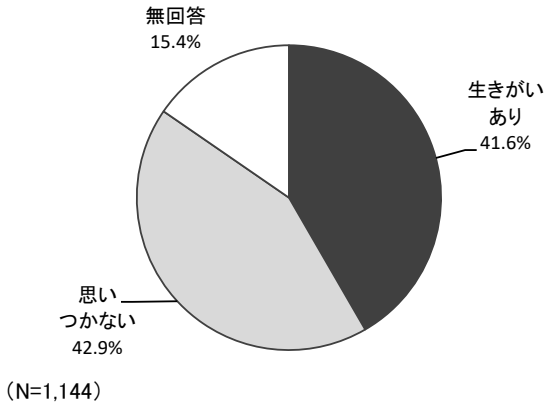


問４（９）生きがいはありますか

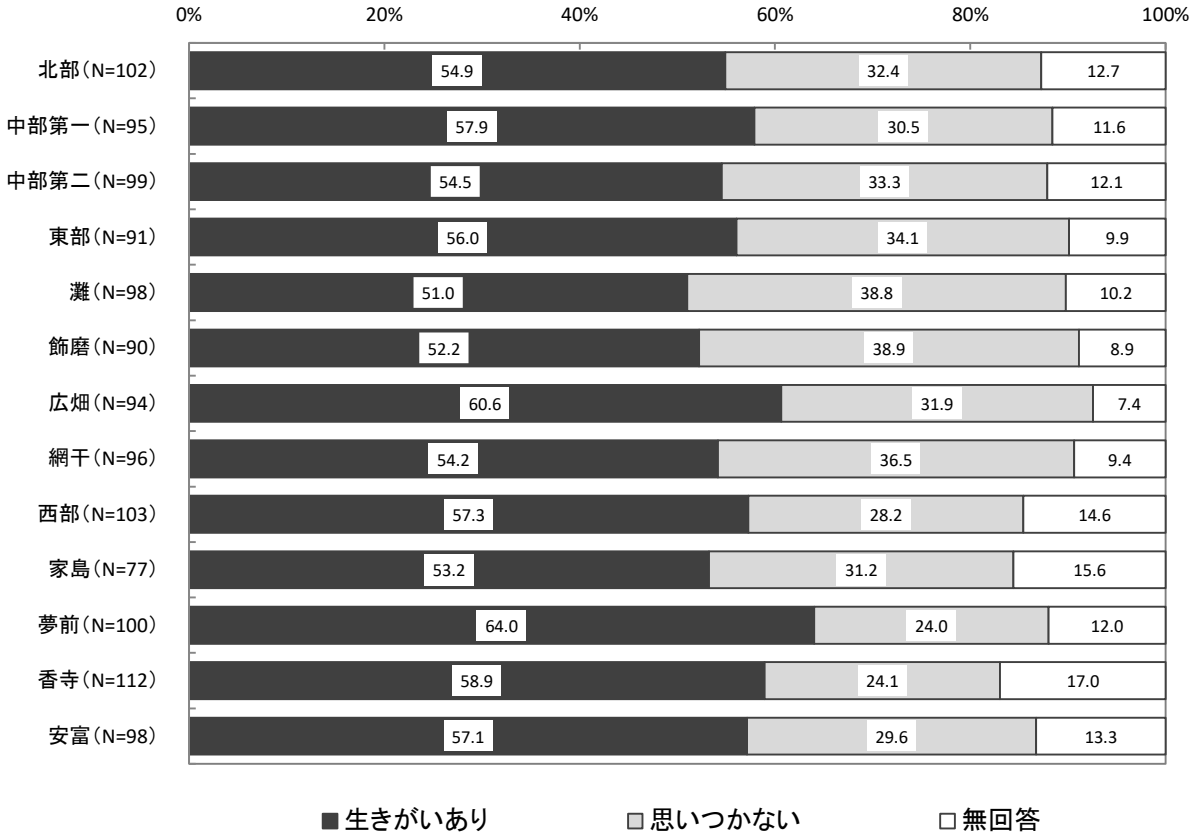
【一般高齢者】



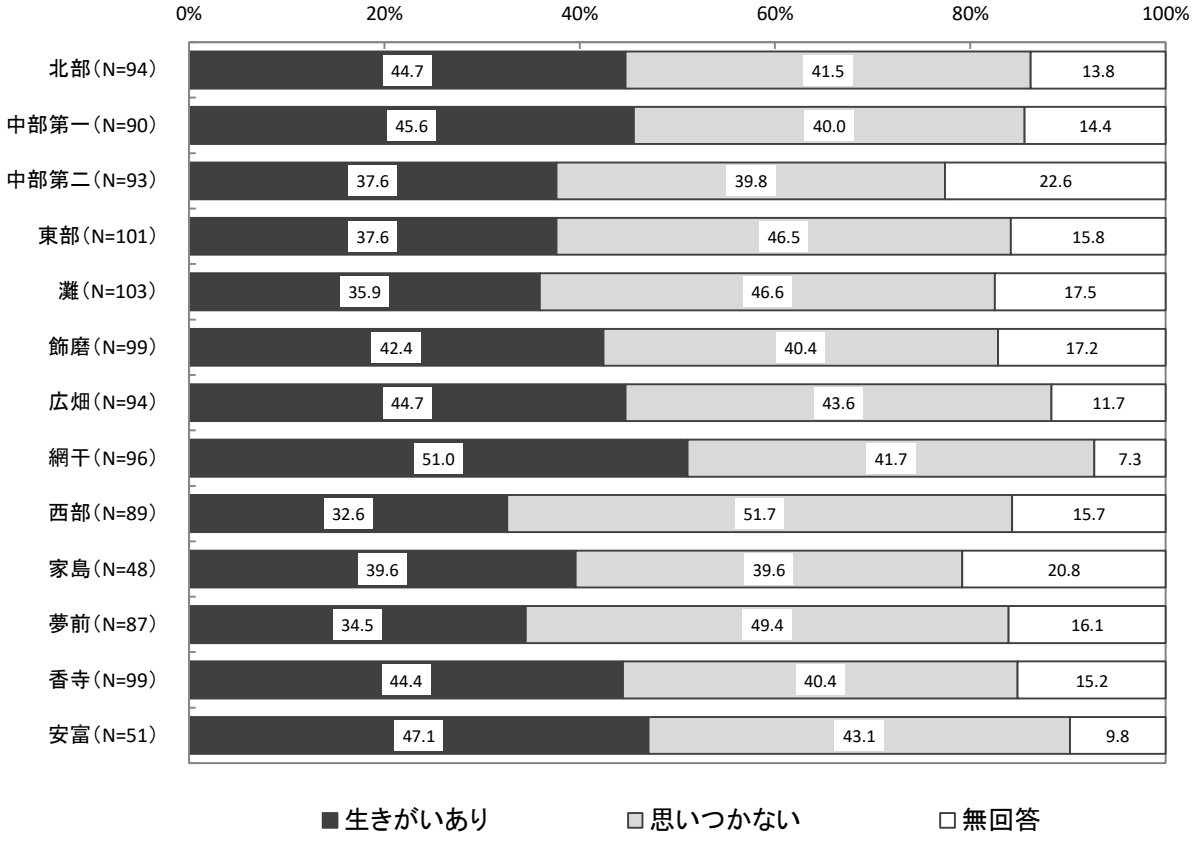
【要支援者】



【問４（９）　一般高齢者／日常生活圏域別】



【問４（９）　要支援者／日常生活圏域別】



6　地域での活動について

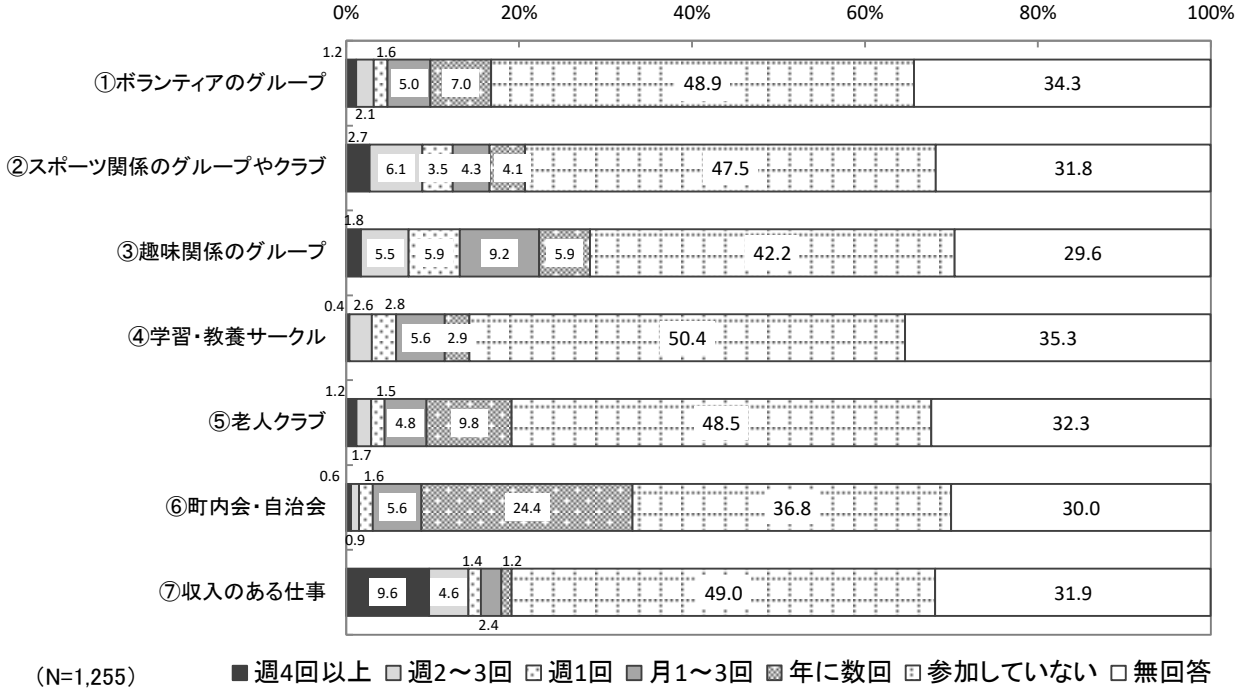
月１回以上参加している人が最も多い会・グループ等は、一般高齢者、要支援者ともに、趣味関係のグループとなっている。

地域住民の有志によるグループ活動に対して参加意向がある割合は、一般高齢者では約６割、要支援者では４割あまりあるが、世話役としての参加意向はこの約半数で、一般高齢者では約３割、要支援者では約２割となっている

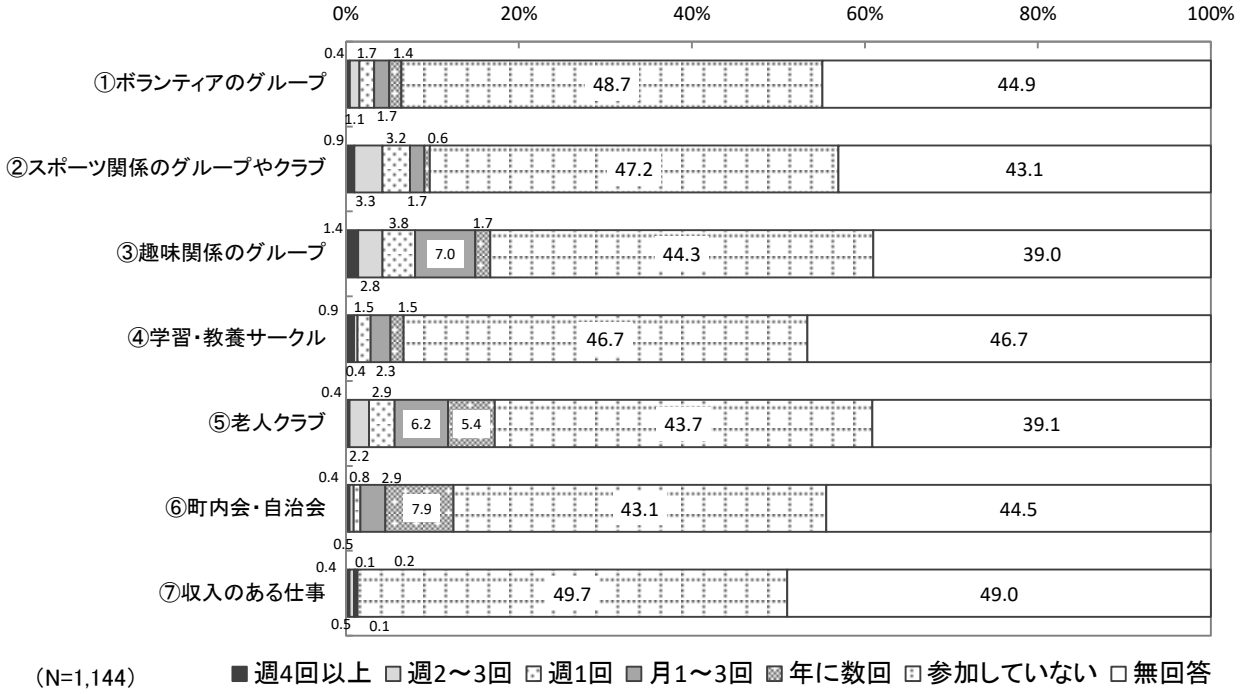
『いきいき百歳体操』への今後の参加意向は、一般高齢者では４割あまり、要支援者では３割あまりで、すでに参加している人を合わせると、一般高齢者、要支援者ともに約半数が参加に対して前向きな回答をしている。ただ、世話役としての参加意向は、地域住民の有志によるグループ活動への世話役としての参加意向と同様に、すでに参加している人を含めても一般高齢者で約３割、要支援者で約２割となっている。

問５（１）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

【問５（１）　一般高齢者】

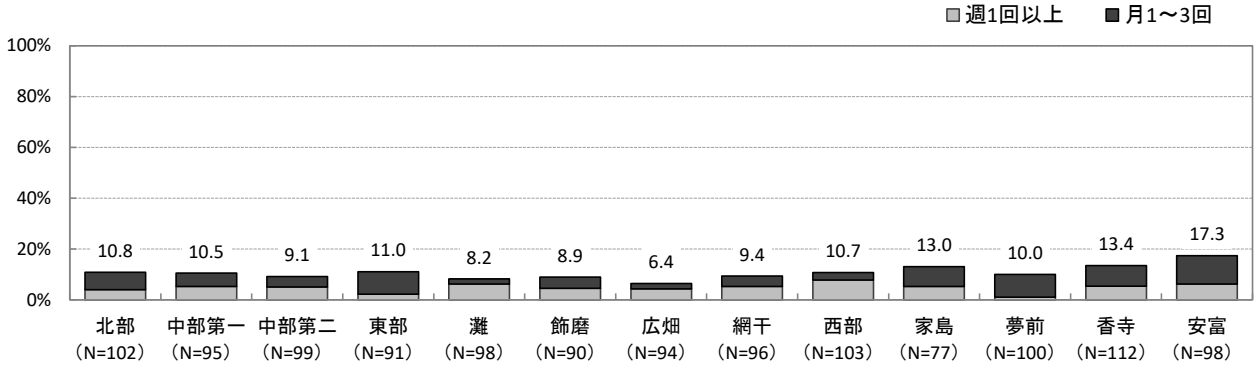


【問５（１）　要支援者】

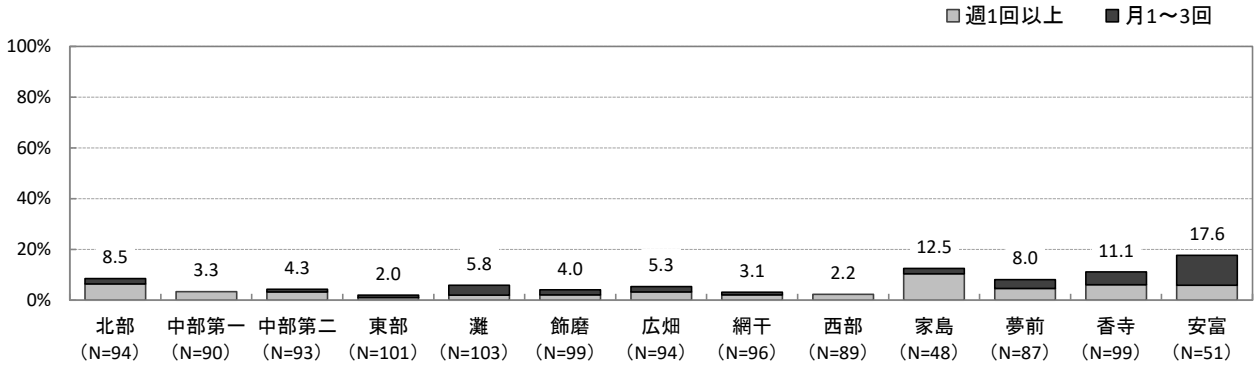


問５（１）①ボランティアのグループ

【一般高齢者／日常生活圏域別】

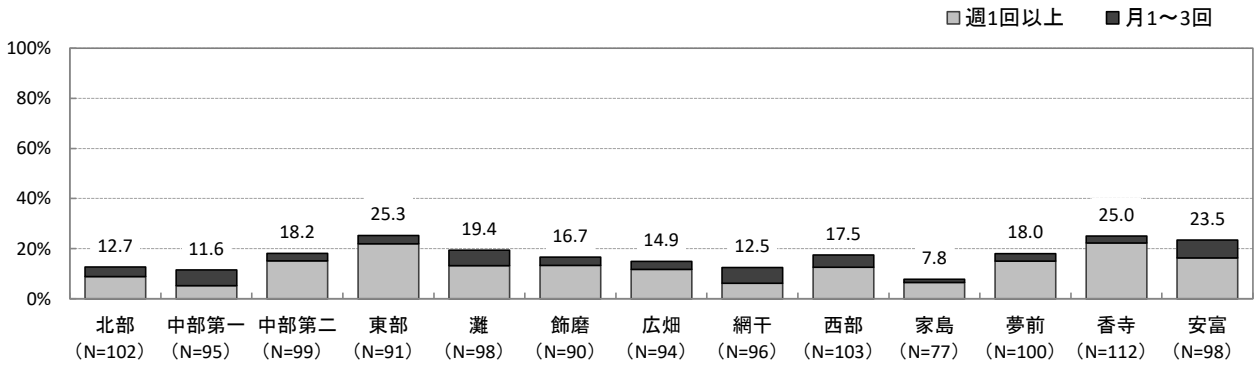


【要支援者／日常生活圏域別】

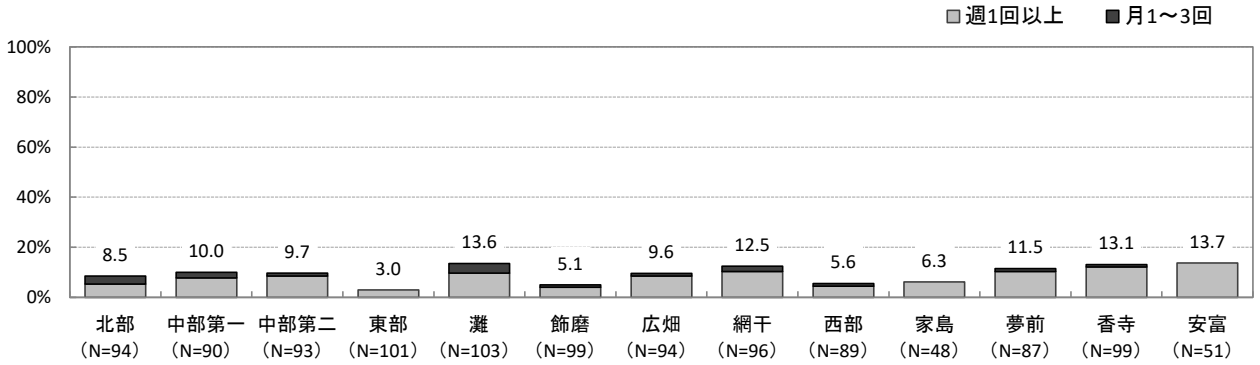


問５（１）②スポーツ関係のグループやクラブ

【一般高齢者／日常生活圏域別】

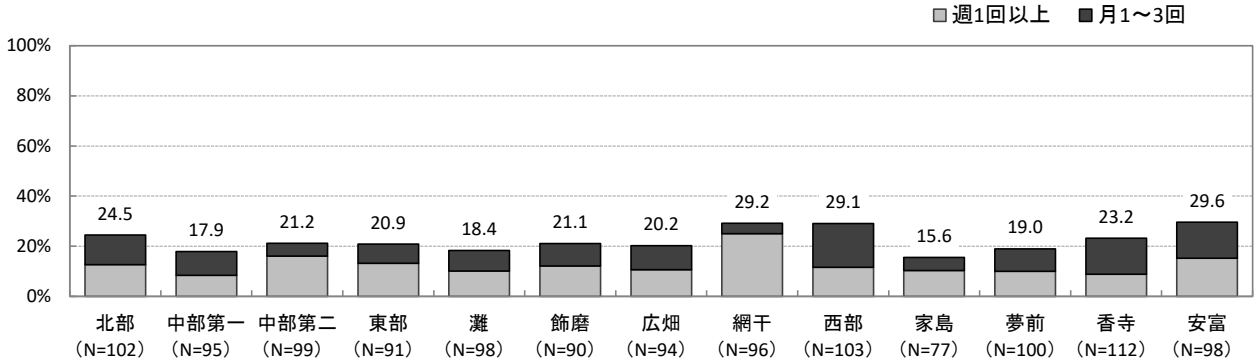


【要支援者／日常生活圏域別】

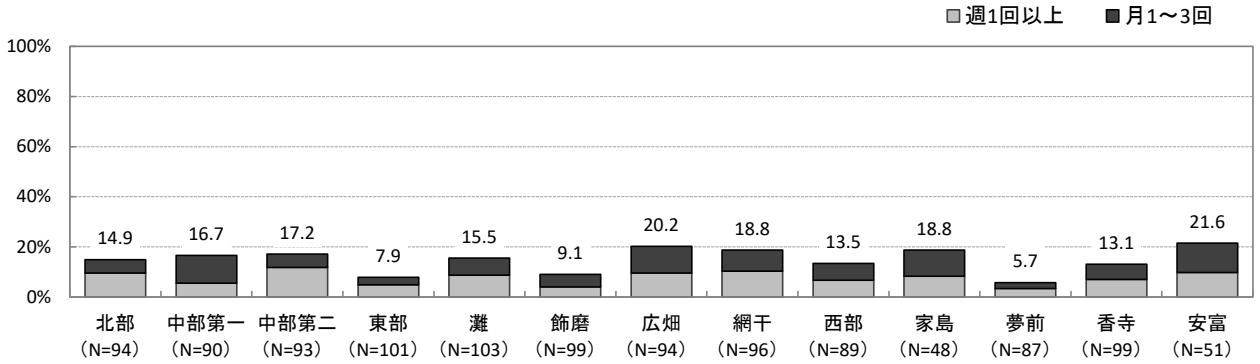


問５（１）③趣味関係のグループ

【一般高齢者／日常生活圏域別】

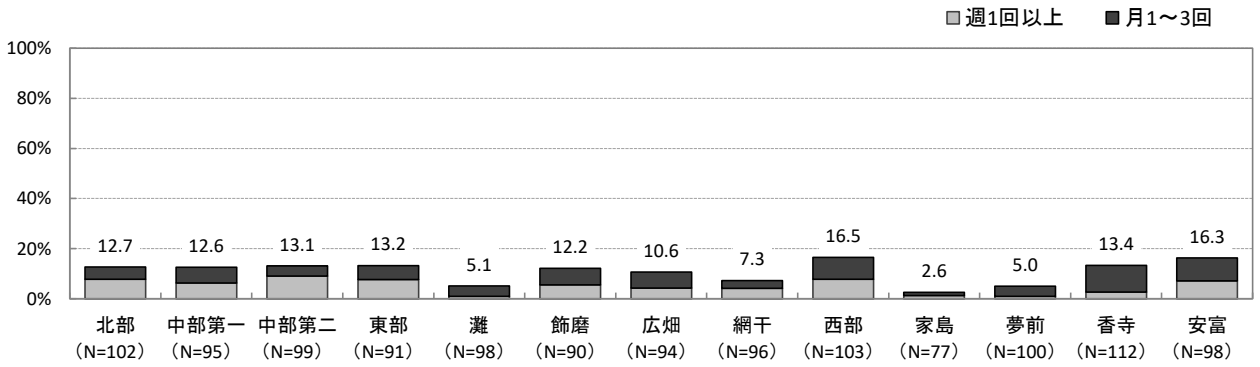


【要支援者／日常生活圏域別】

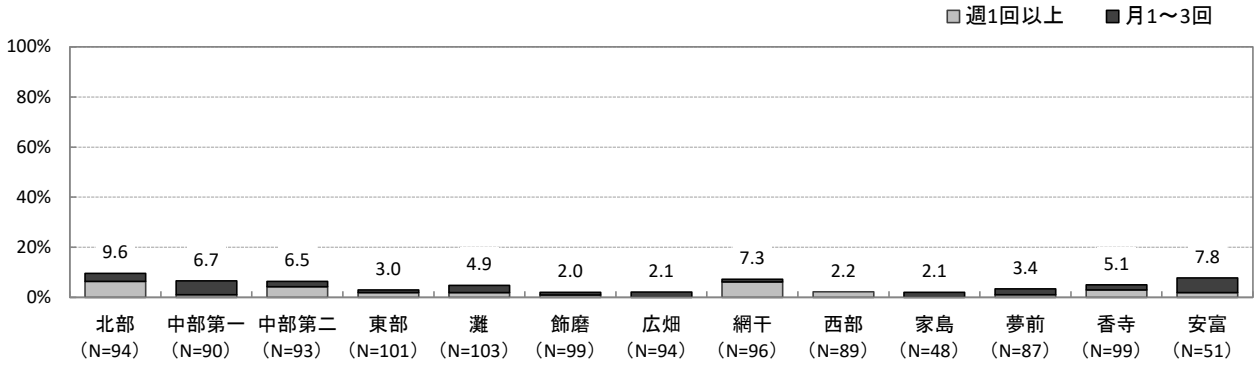


問５（１）④学習・教養サークル

【一般高齢者／日常生活圏域別】

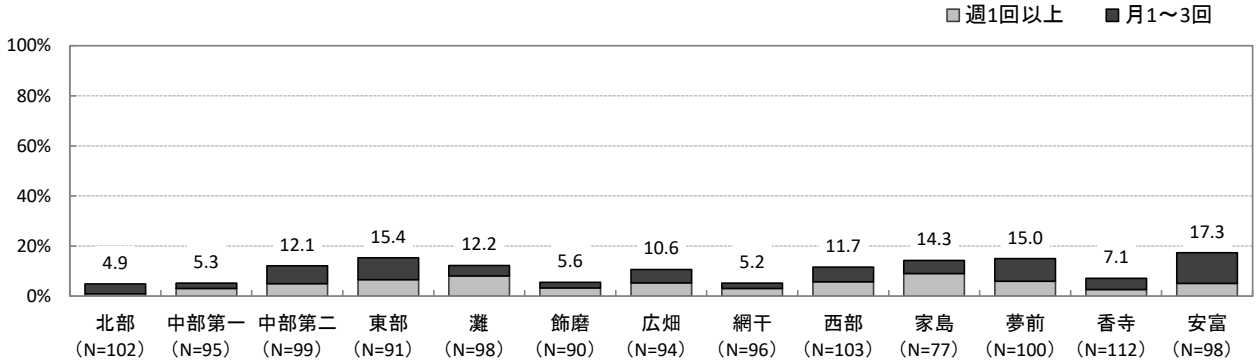


【要支援者／日常生活圏域別】

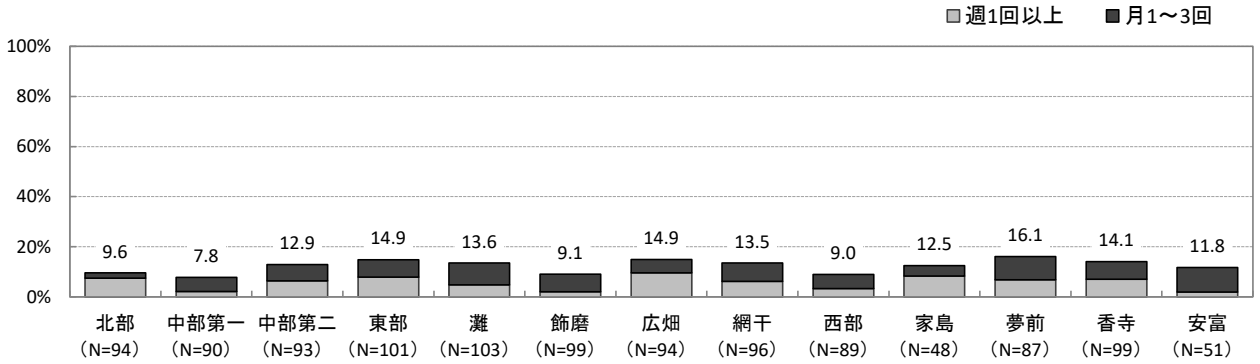


問５（１）⑤老人クラブ

【一般高齢者／日常生活圏域別】

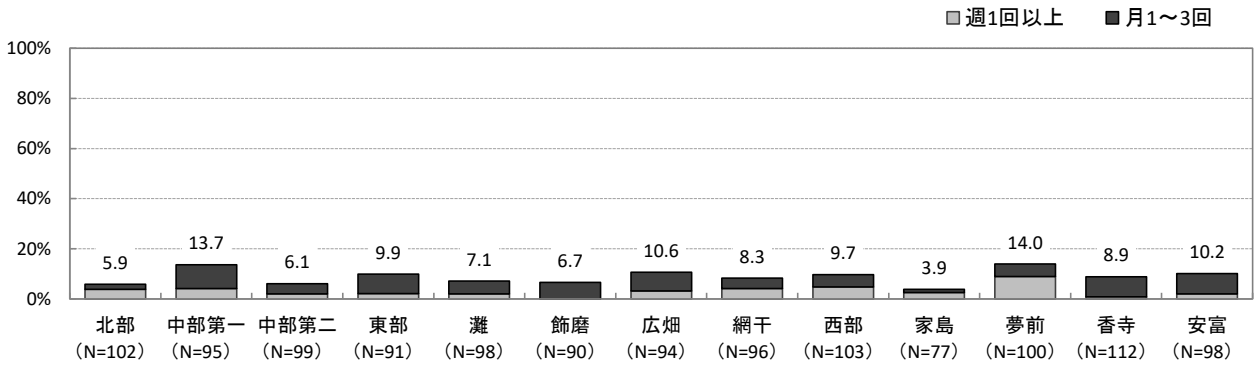


【要支援者／日常生活圏域別】

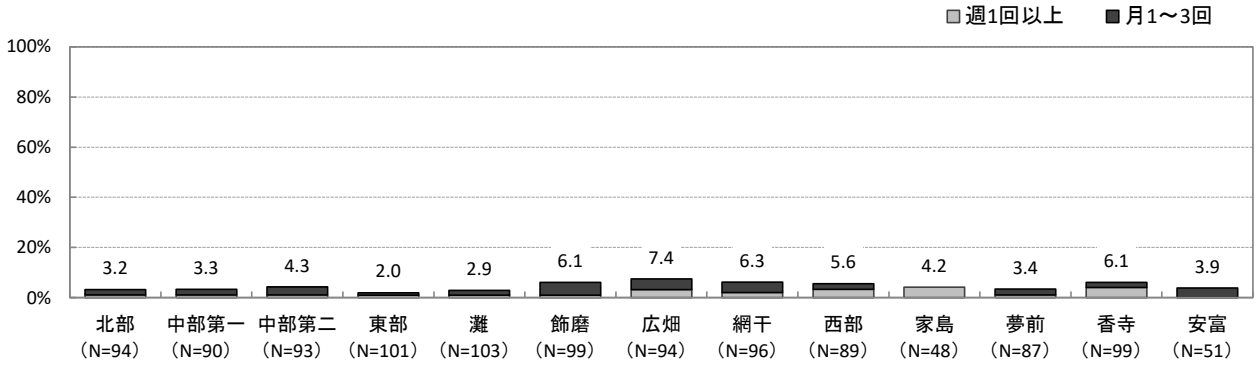


問５（１）⑥町内会・自治会

【一般高齢者／日常生活圏域別】

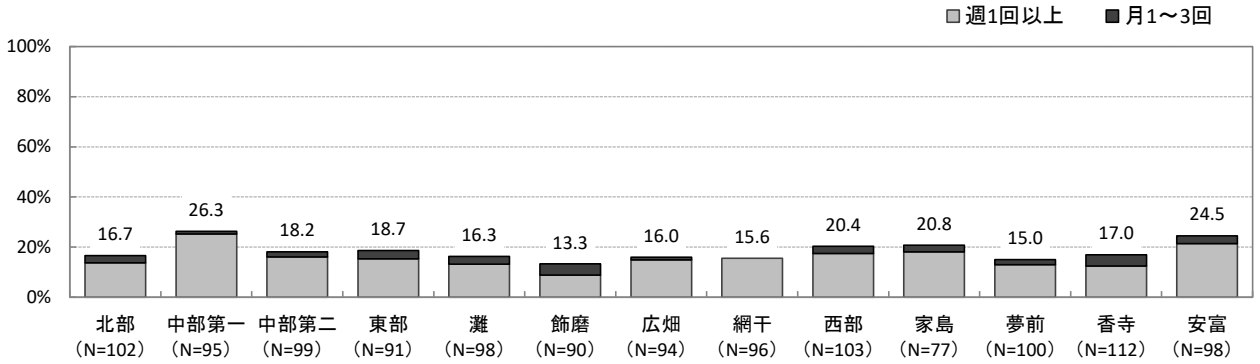


【要支援者／日常生活圏域別】

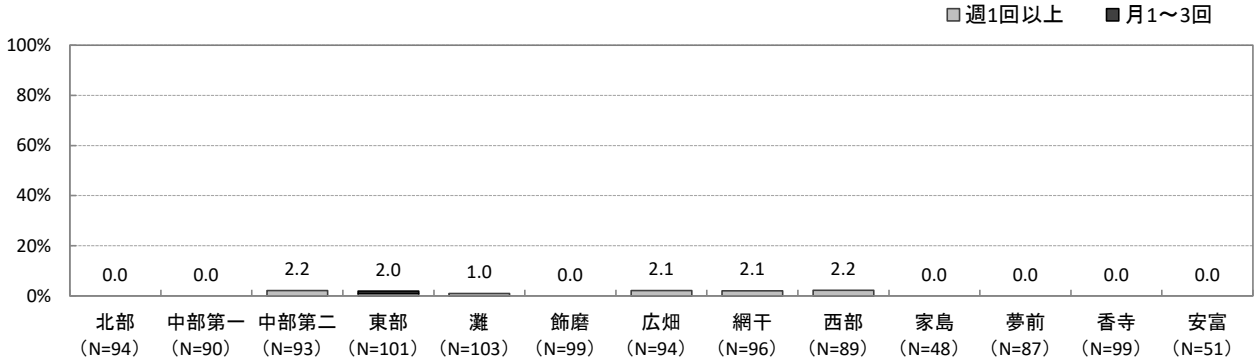


問５（１）⑦収入のある仕事

【一般高齢者／日常生活圏域別】

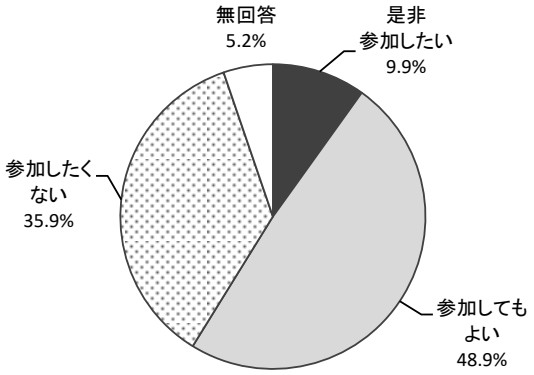


【要支援者／日常生活圏域別】



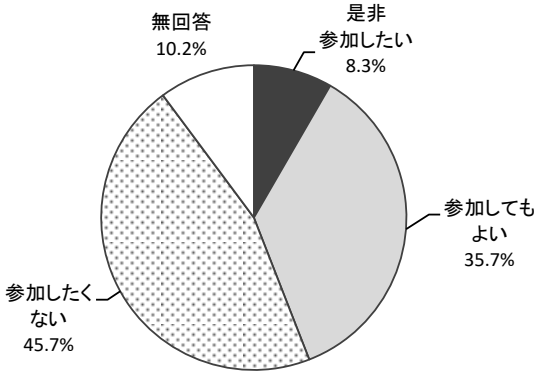
問５（２）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

【一般高齢者】



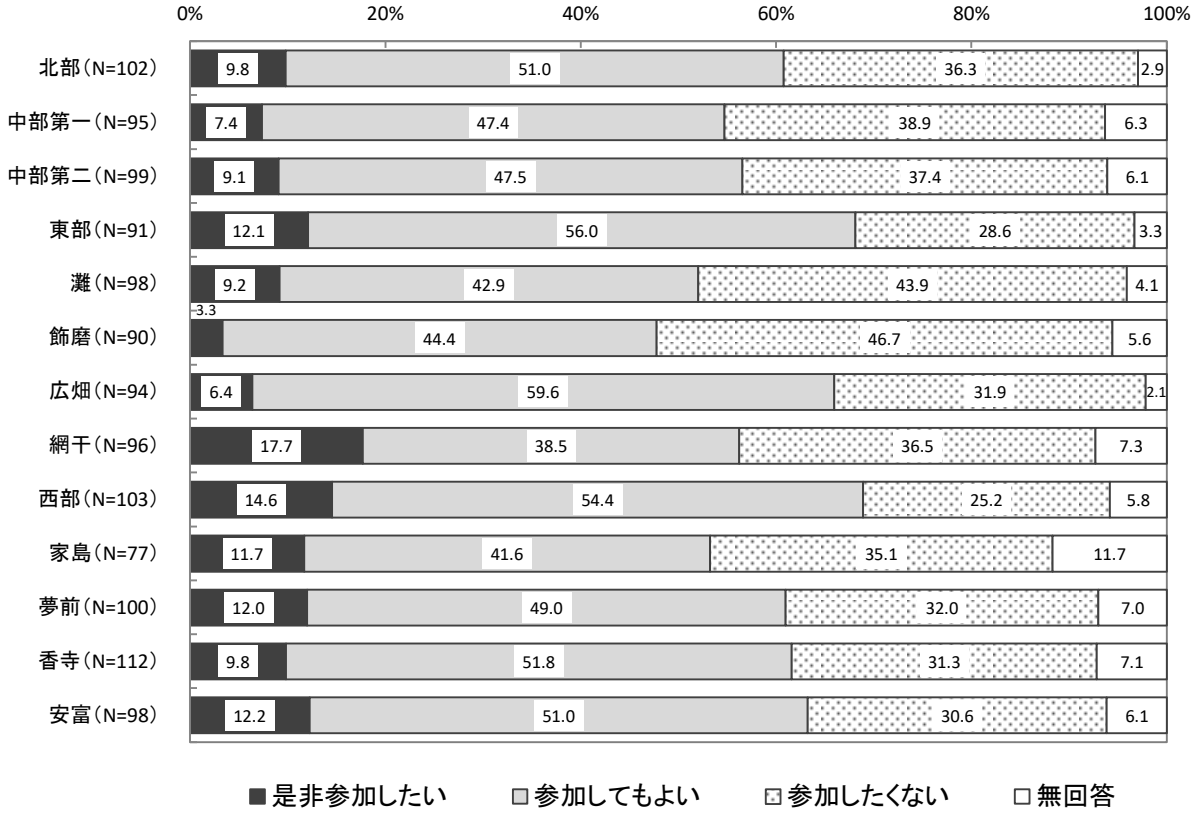
（N=1,255）

【要支援者】

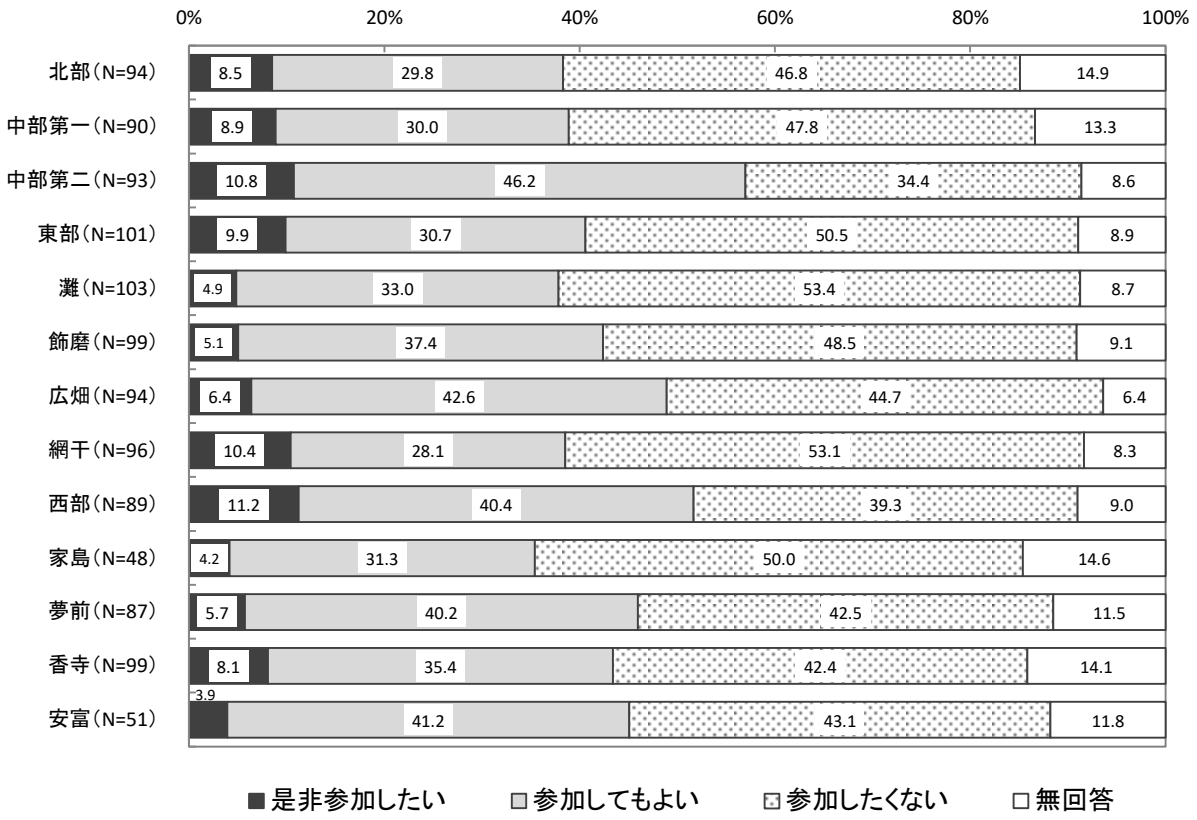


（N=1,144）

【問５（２）　一般高齢者／日常生活圏域別】

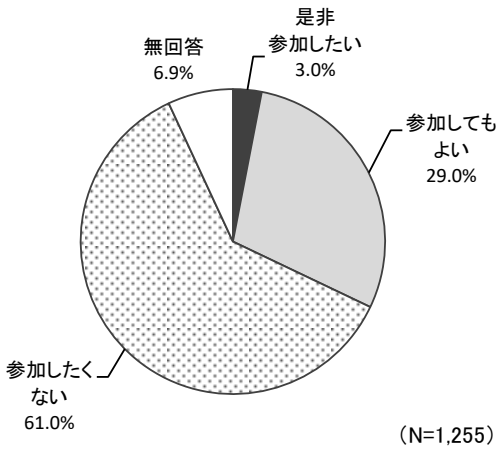


【問５（２）　要支援者／日常生活圏域別】

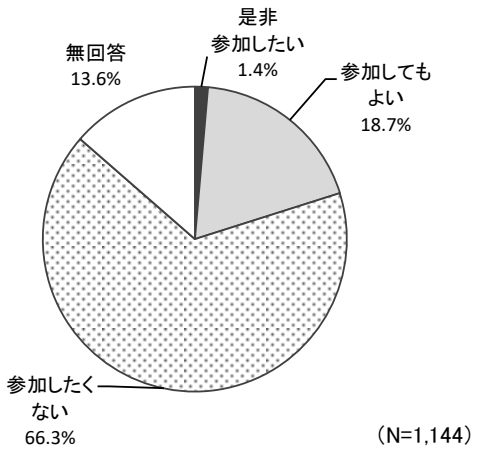


問５（３）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

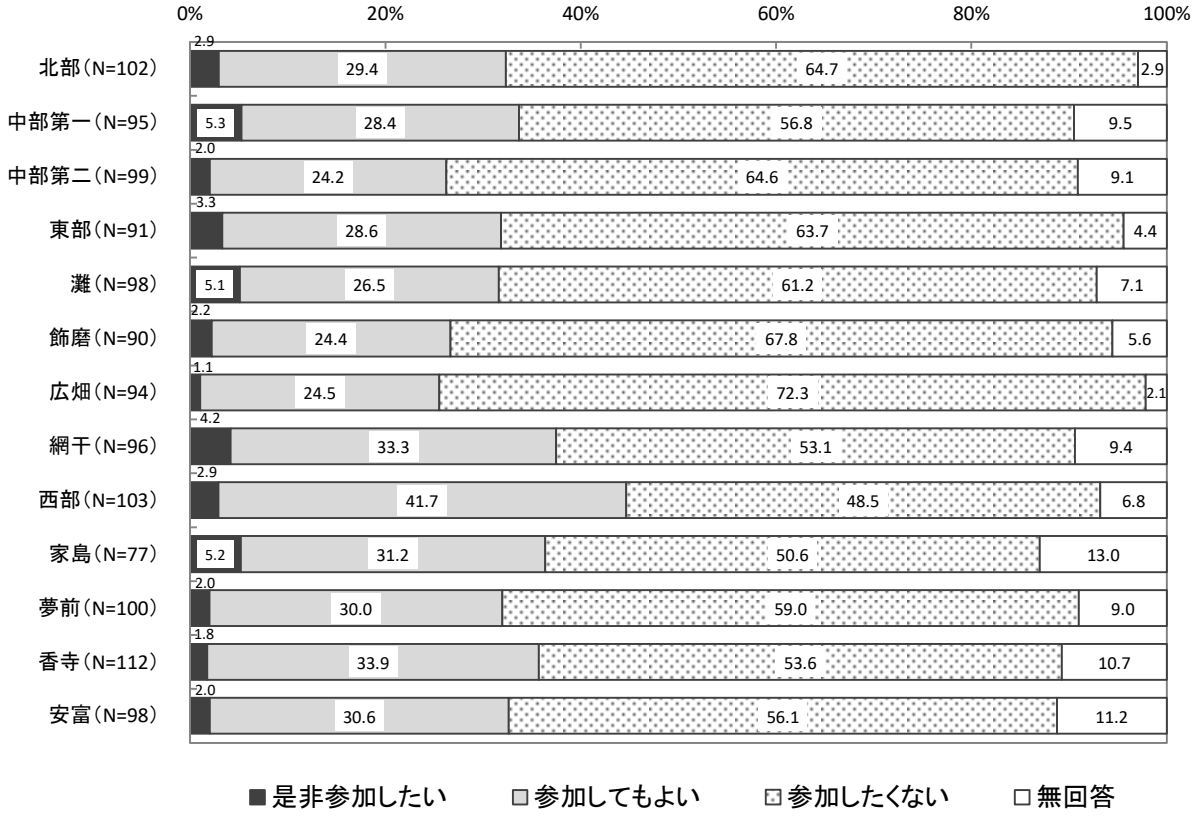
【一般高齢者】



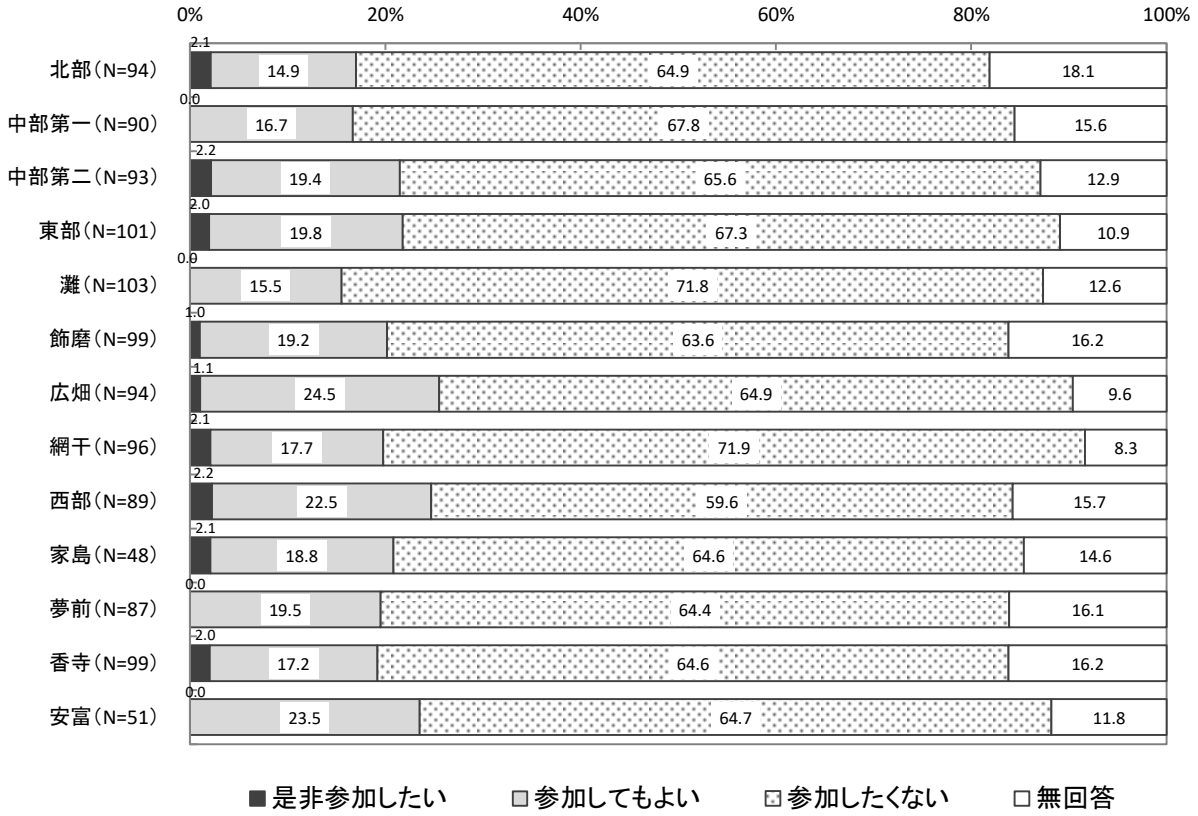
【要支援者】



【問５（３）　一般高齢者／日常生活圏域別】

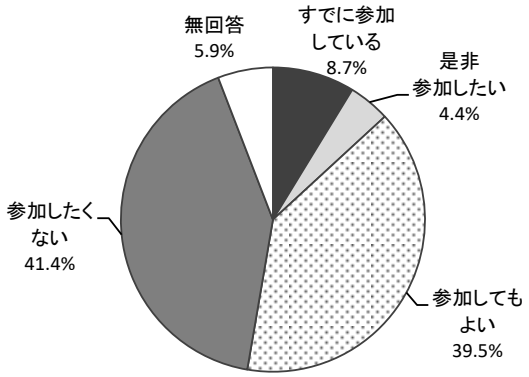


【問５（３）　要支援者／日常生活圏域別】



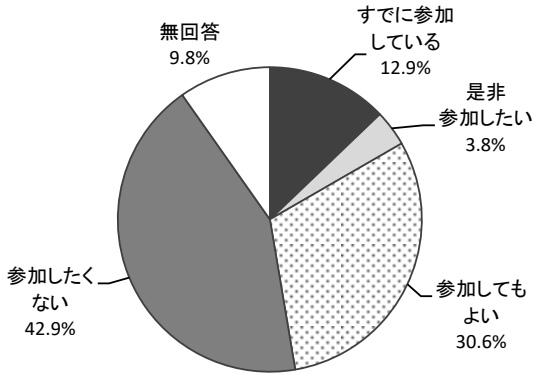
問５（４）「住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らす」ことを目指して地域活動として行う、『いきいき百歳体操』に参加者として参加してみたいと思いますか

【一般高齢者】



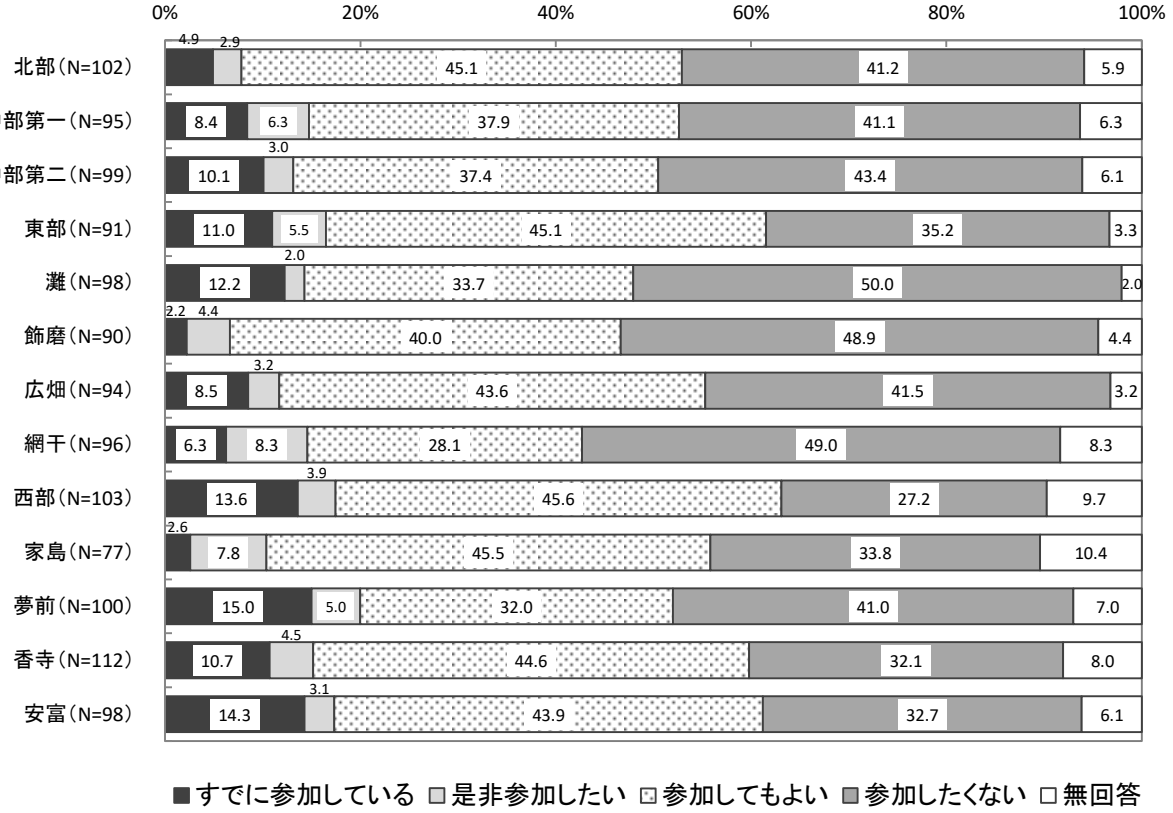
（N=1,255）

【要支援者】

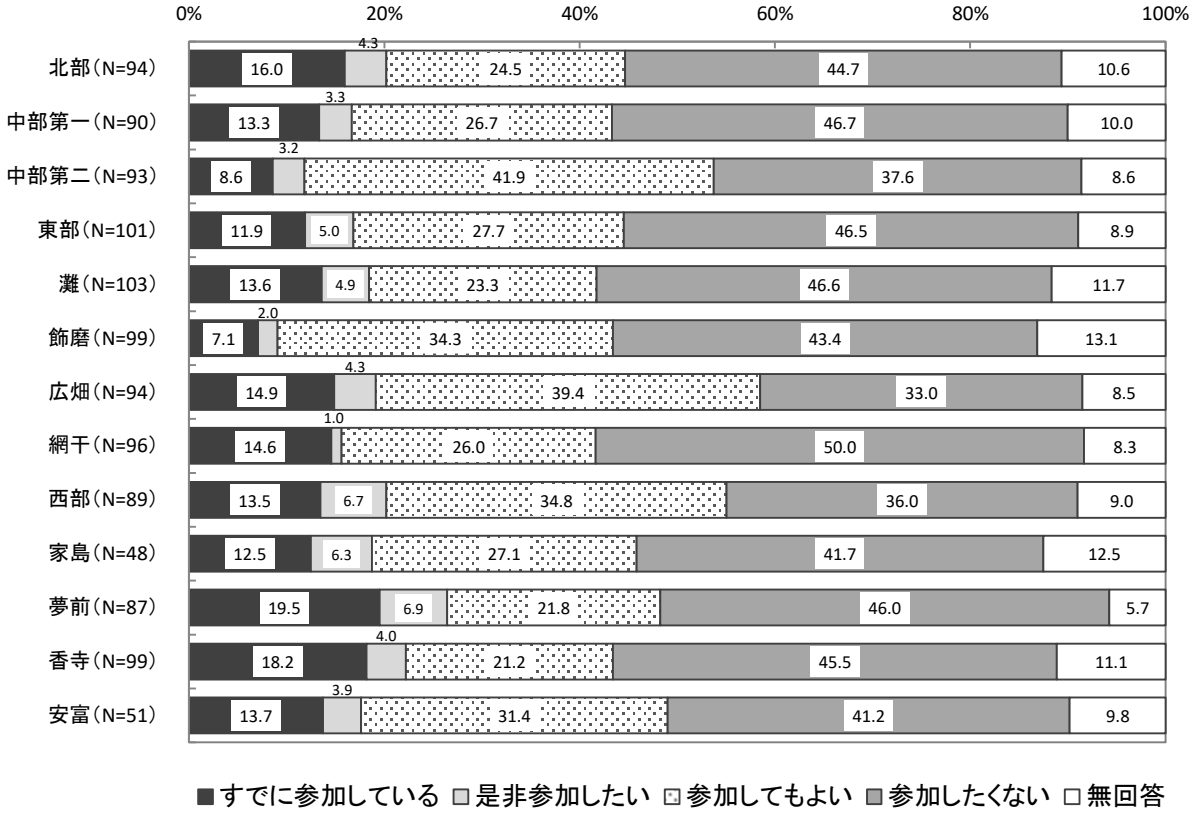


（N=1,144）

【問５（４）　一般高齢者／日常生活圏域別】

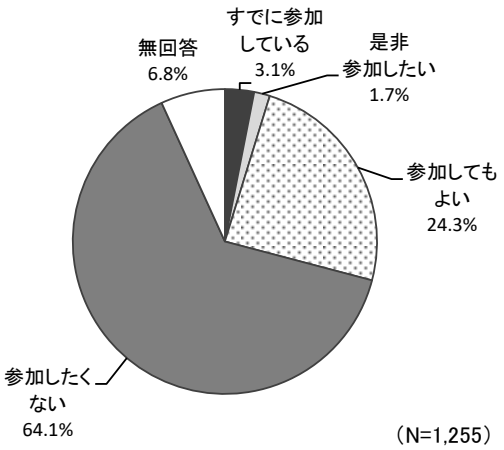


【問５（４）　要支援者／日常生活圏域別】

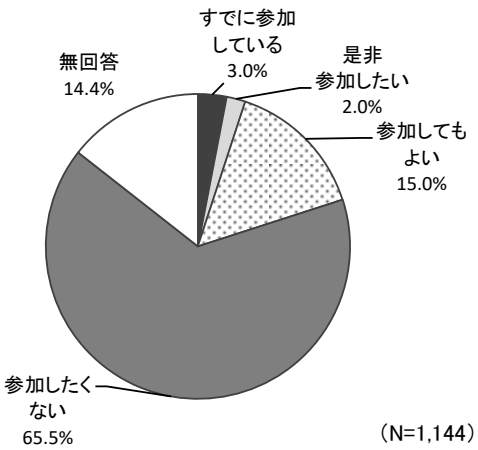


問５（５）「住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らす」ことを目指して地域活動として行う、『いきいき百歳体操』に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

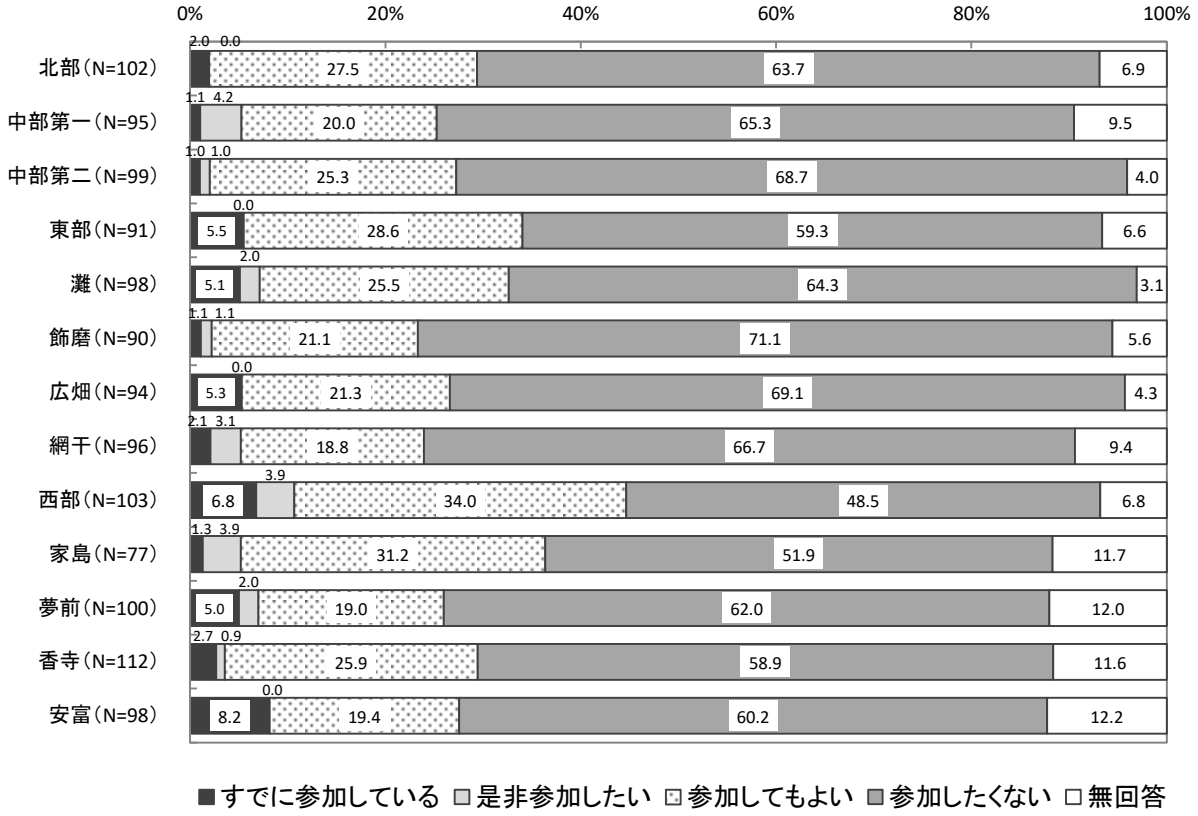
【一般高齢者】



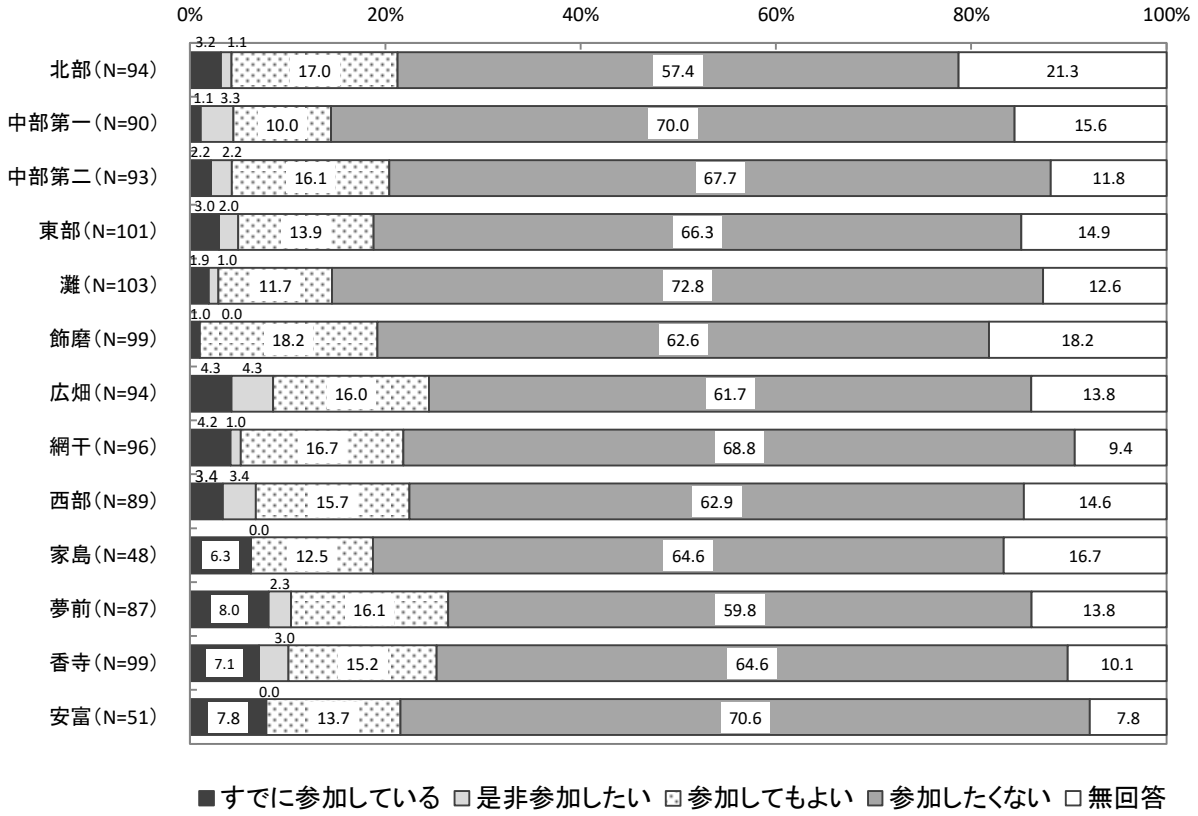
【要支援者】



【問５（５）　一般高齢者／日常生活圏域別】



【問５（５）　要支援者／日常生活圏域別】



7　たすけあいについて

心配事や愚痴を聞いてくれたり、逆に聞いてあげたりする相手は、一般高齢者では「配偶者」、要支援者では「別居の子ども」の割合が多いが、一般高齢者、要支援者ともに「友人」が一定の割合に上っている。

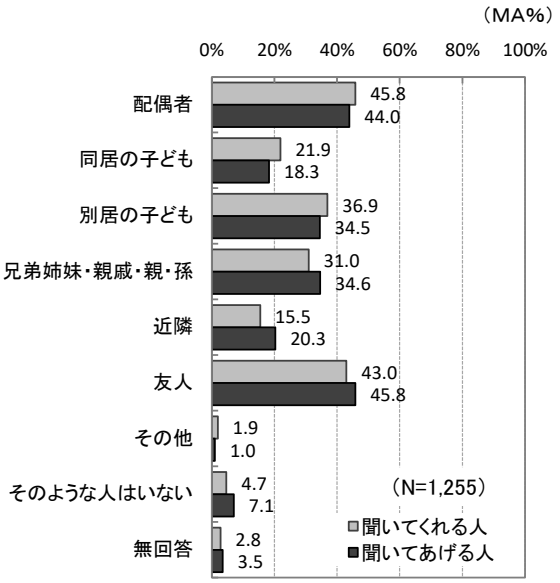
看病や世話をしてくれる相手は、一般高齢者では「配偶者」が多いが、要支援者では「別居の子ども」が多く、また「そのような人がいない」が約１割あり、問１（4）で要支援者が病状の急変など緊急時の対応に不安を感じている背景がうかがえる。

家族や友人・知人以外の相談相手は、一般高齢者では「そのような人はいない」との回答が多いが、要支援者ではケアマネジャーや地域包括支援センター・役所・役場が相談相手として多く挙げられている。

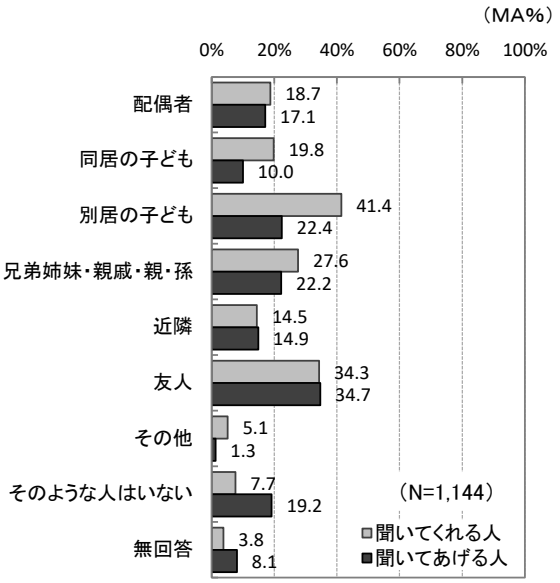
問６（１）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

問６（２）反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

【一般高齢者】



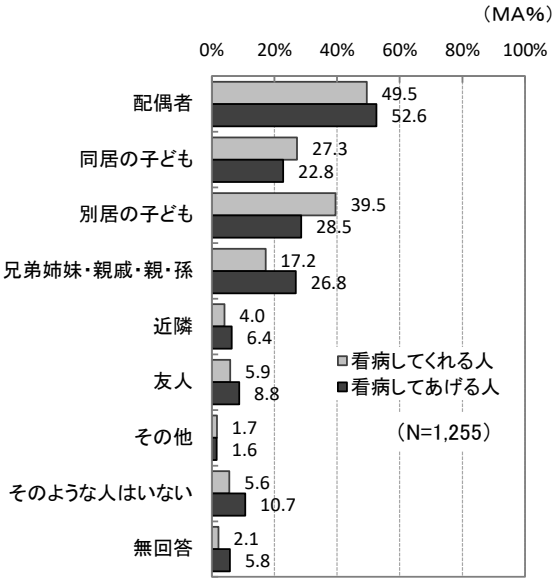
【要支援者】



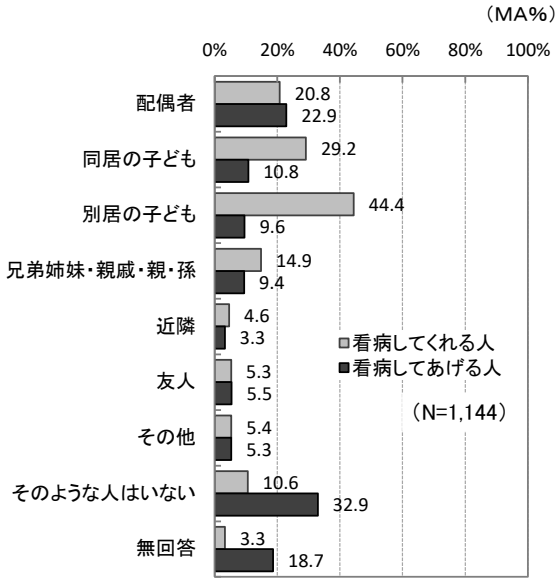
問６（３）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

問６（４）反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

【一般高齢者】

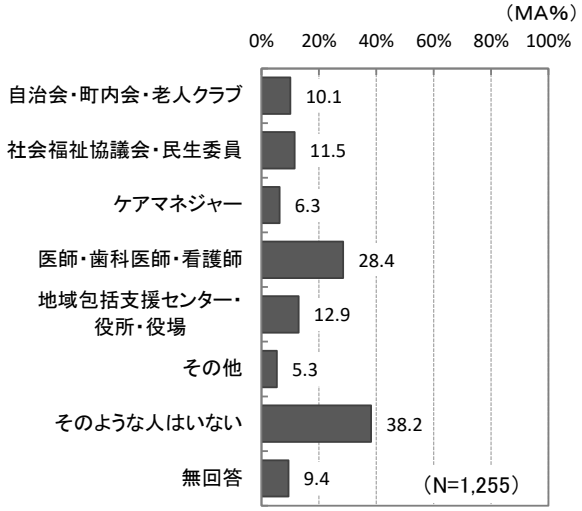


【要支援者】

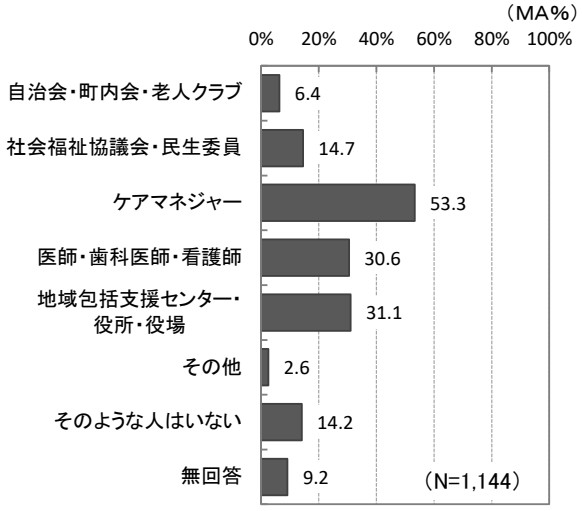


問６（５）家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

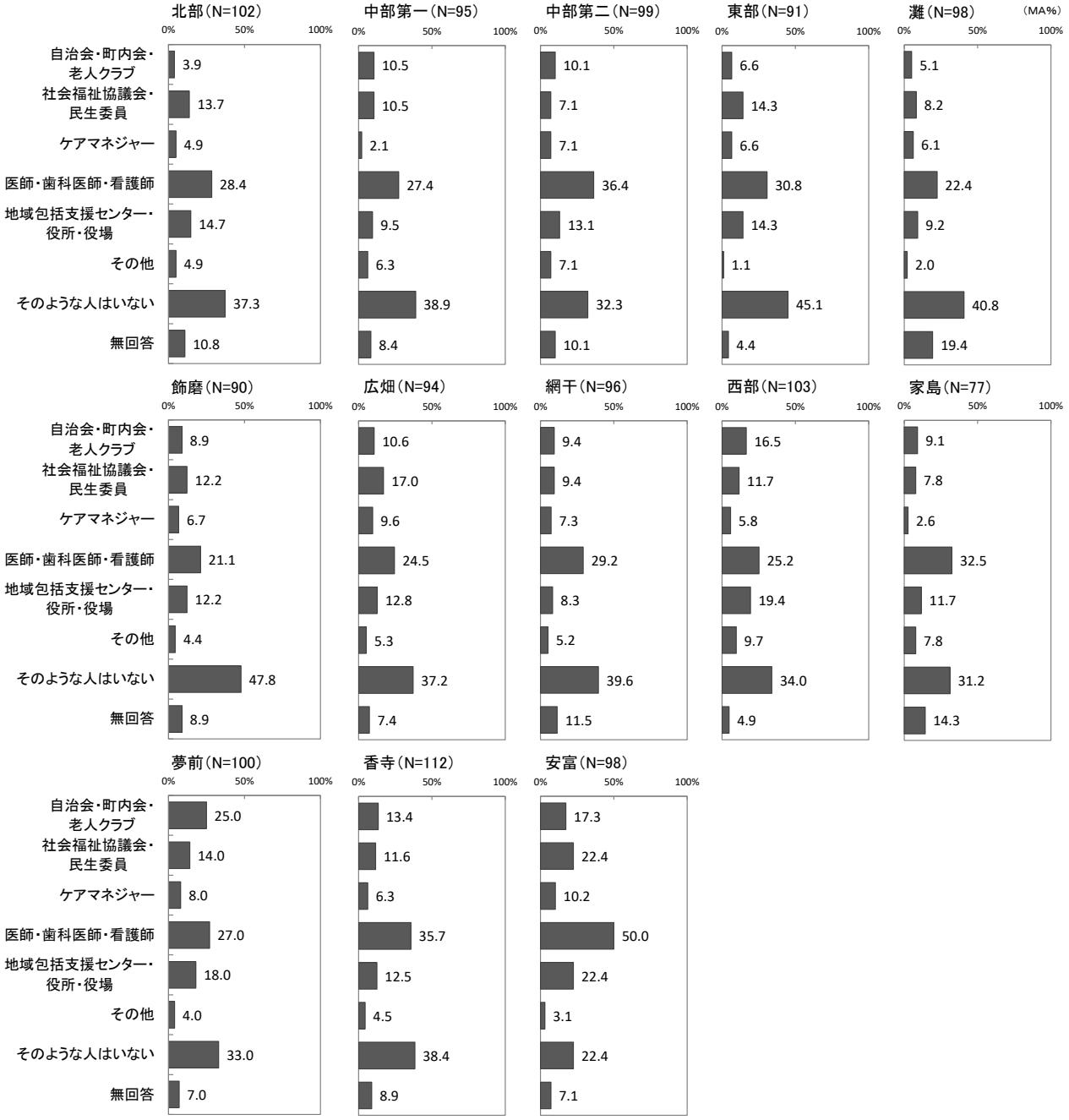
【一般高齢者】



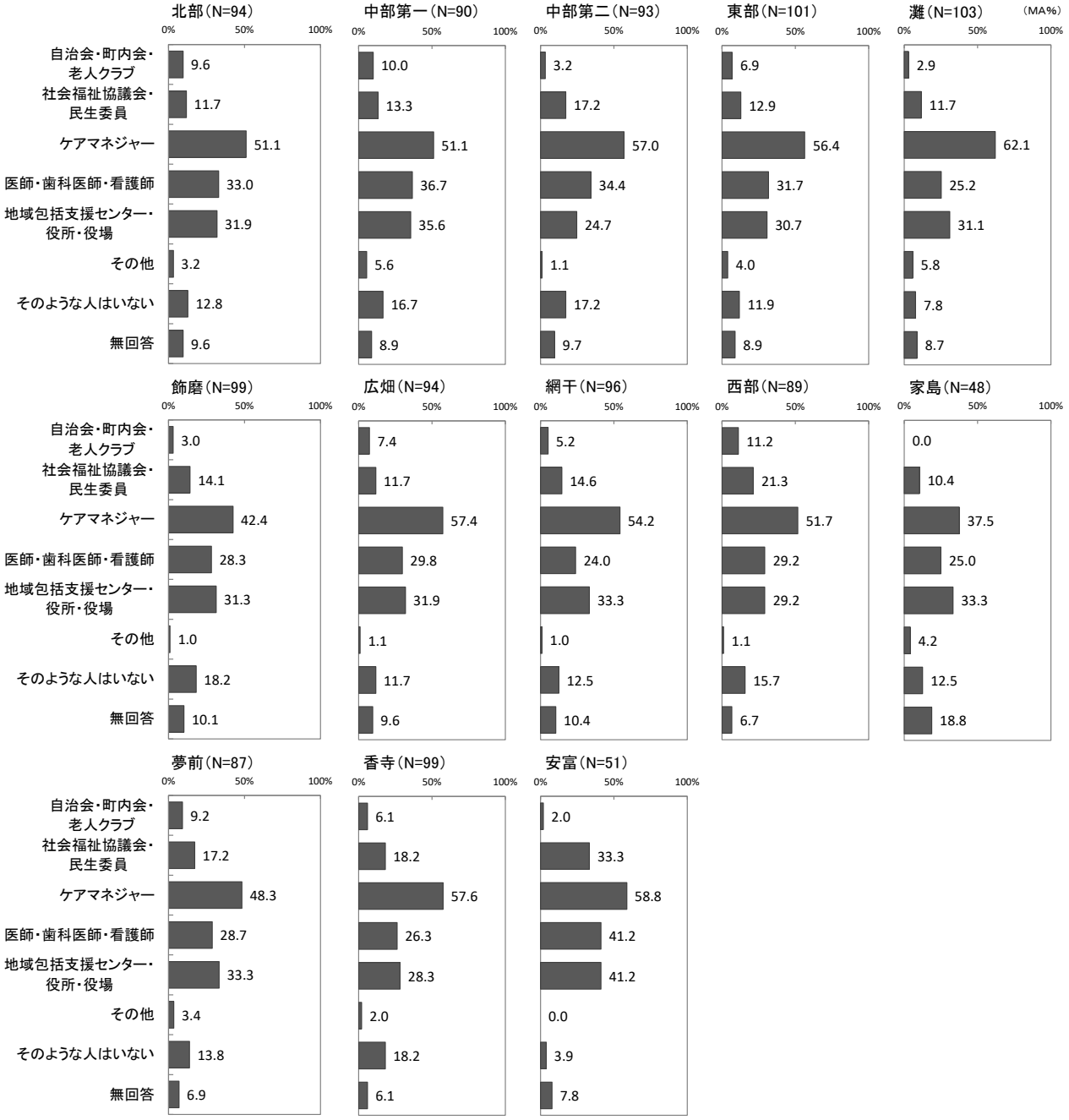
【要支援者】



【問６（５）　一般高齢者／日常生活圏域別】



【問６（５）　要支援者／日常生活圏域別】



8　健康について

健康状態をよいと感じている割合は、一般高齢者では約 8 割を占めるが、要支援者では約 5 割にとどまっている。

幸せの程度を主観的に点数化してもらい、その平均点を算出すると、一般高齢者では 6.87 点、要支援者では一般高齢者よりやや低く 6.53 点となっている。

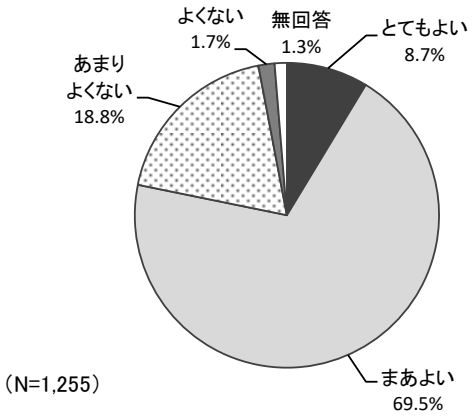
うつ傾向がある割合は、要支援者では約 6 割を占めており、一般高齢者でも約 4 割ある。

喫煙者の割合は、一般高齢者では約 1 割、要支援者では非常に少なく約 3%だが 1 割近い圏域もある。

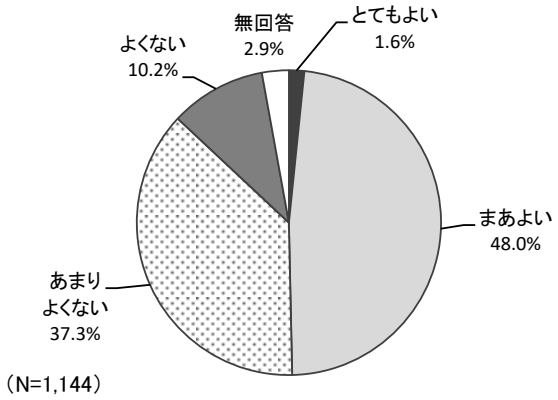
かかりつけ医を決めている割合は、要支援者では約 9 割を占めている。一般高齢者は要支援者よりやや少なく 8 割あまりとなっている。

問７（１）現在のあなたの健康状態はいかがですか

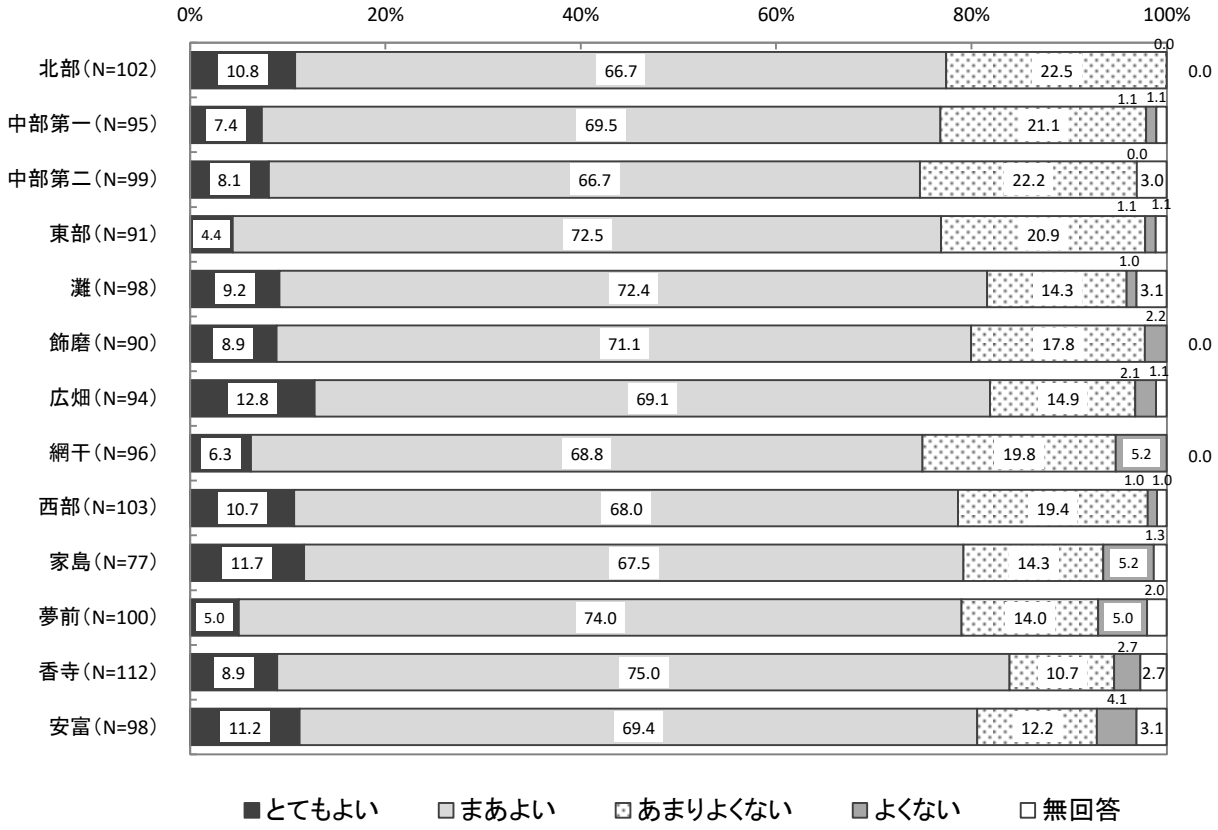
【一般高齢者】



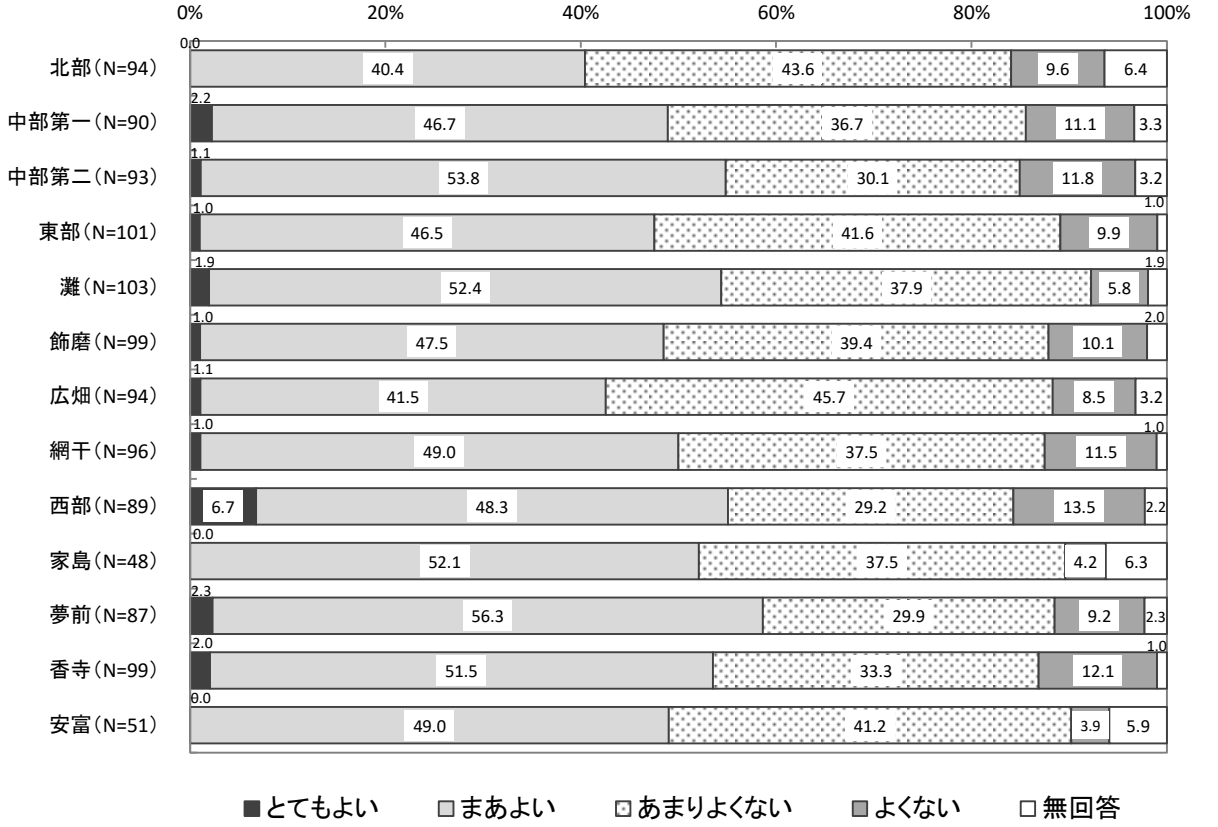
【要支援者】



【問７（１）　一般高齢者／日常生活圏域別】

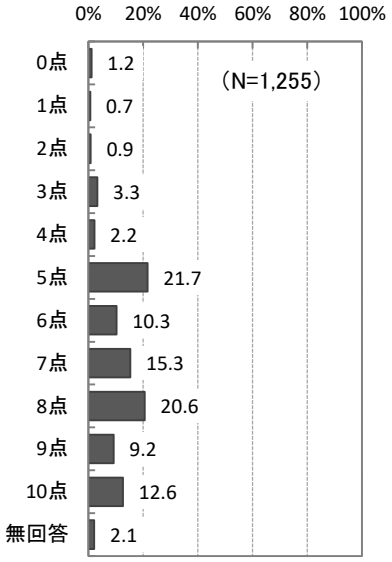


【問７（１）　要支援者／日常生活圏域別】

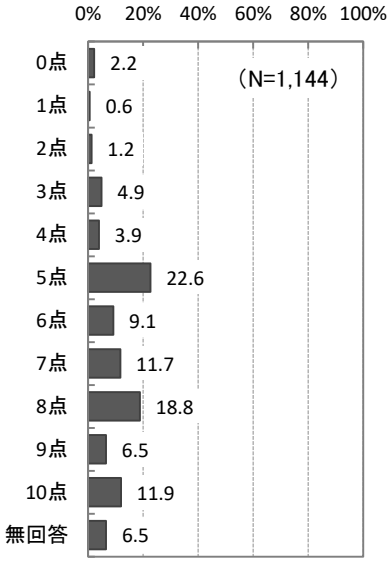


問７（２）あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください）

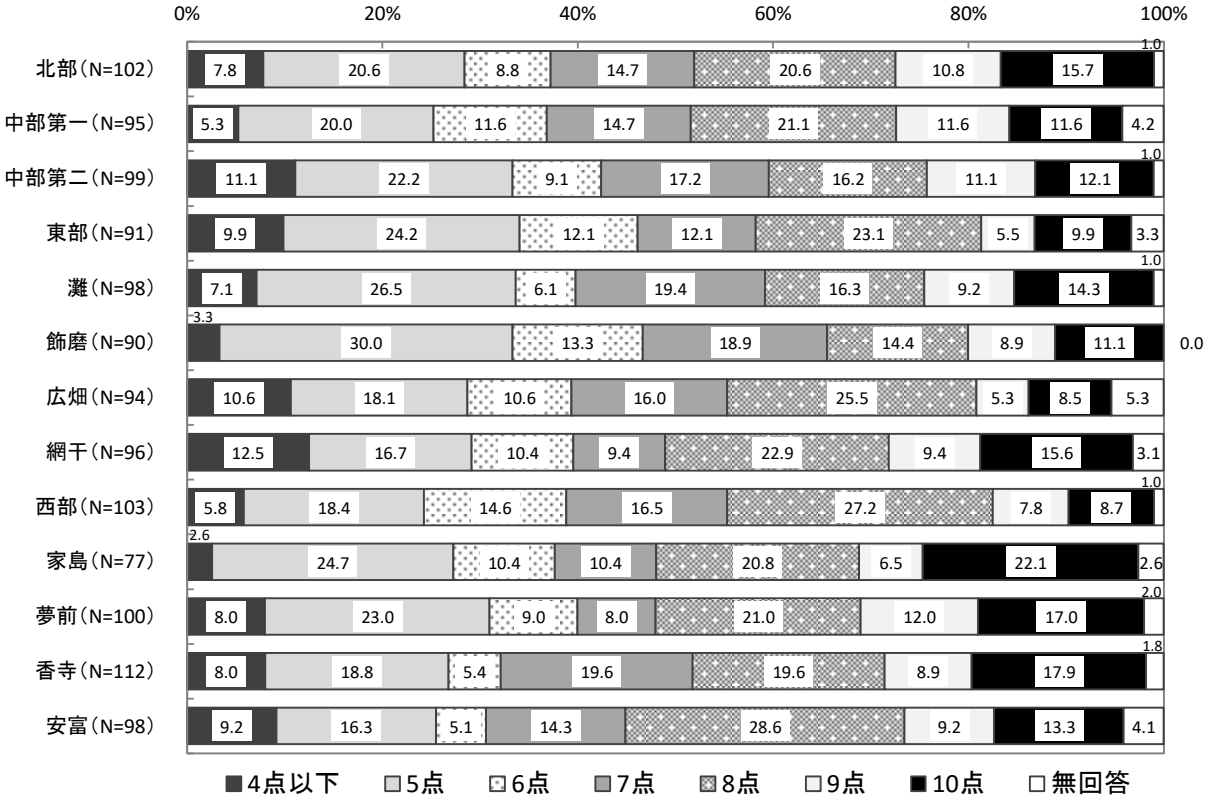
【一般高齢者】



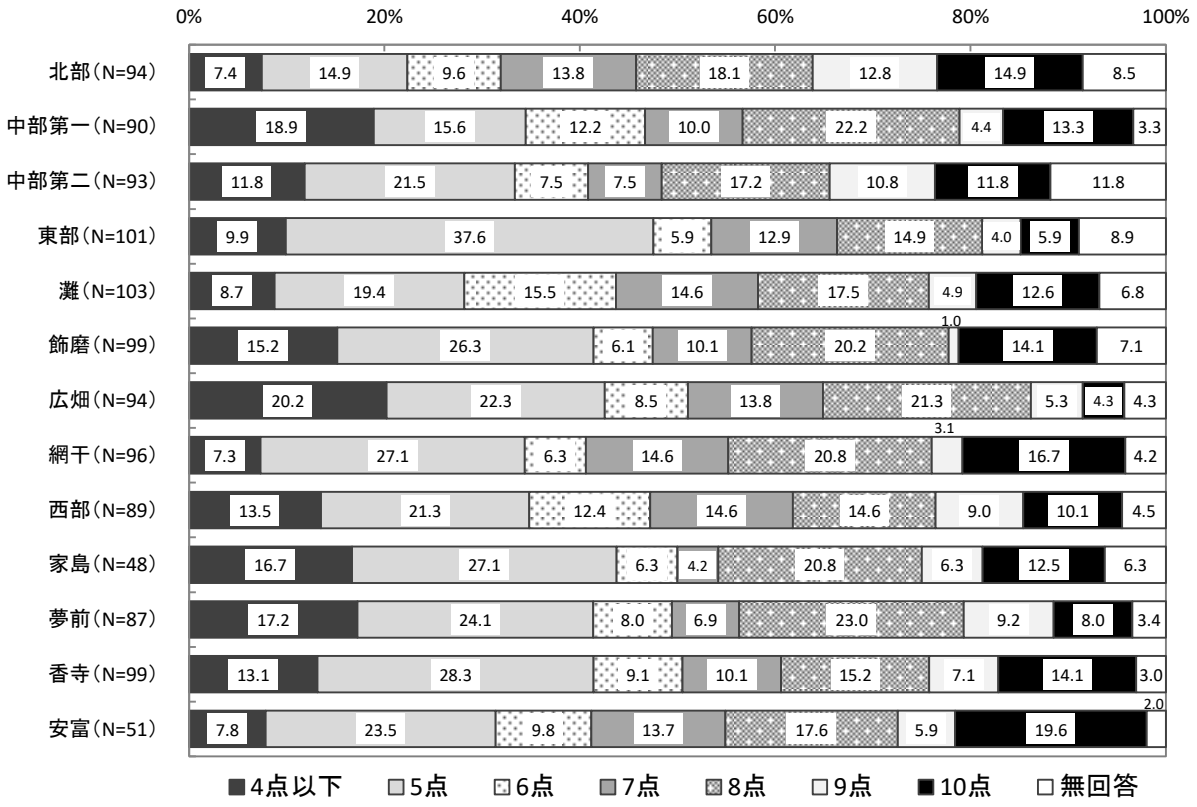
【要支援者】



【問７（２）　一般高齢者／日常生活圏域別】

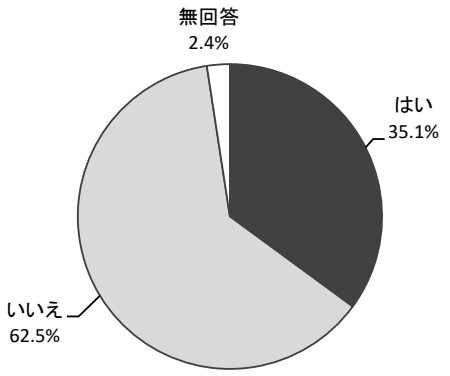


【問７（２）　要支援者／日常生活圏域別】



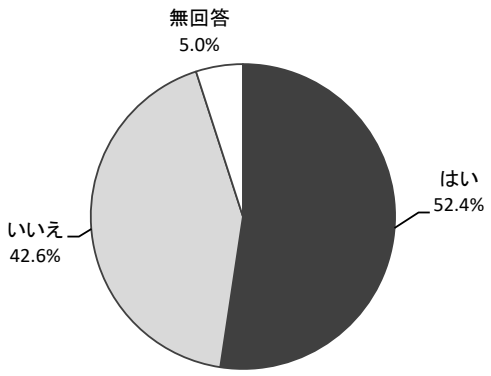
問７（３）この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

【一般高齢者】



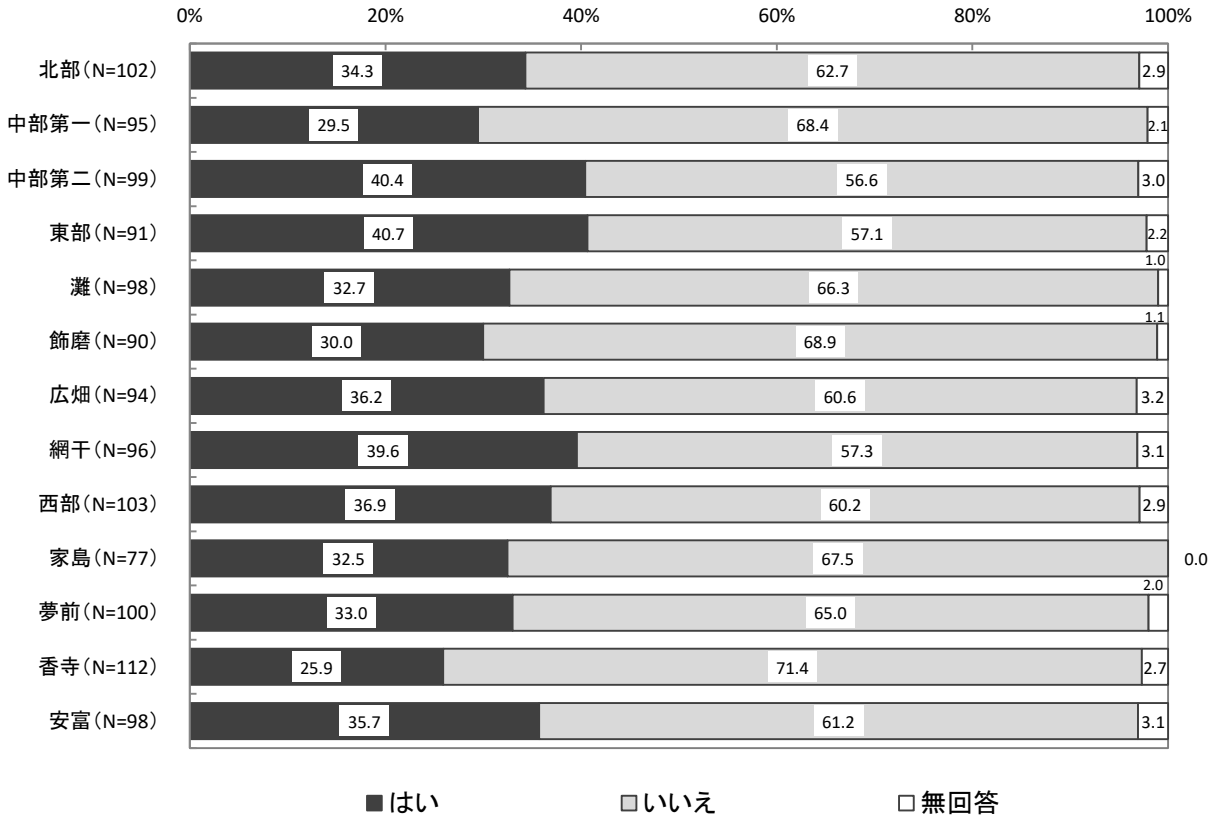
（N=1,255）

【要支援者】

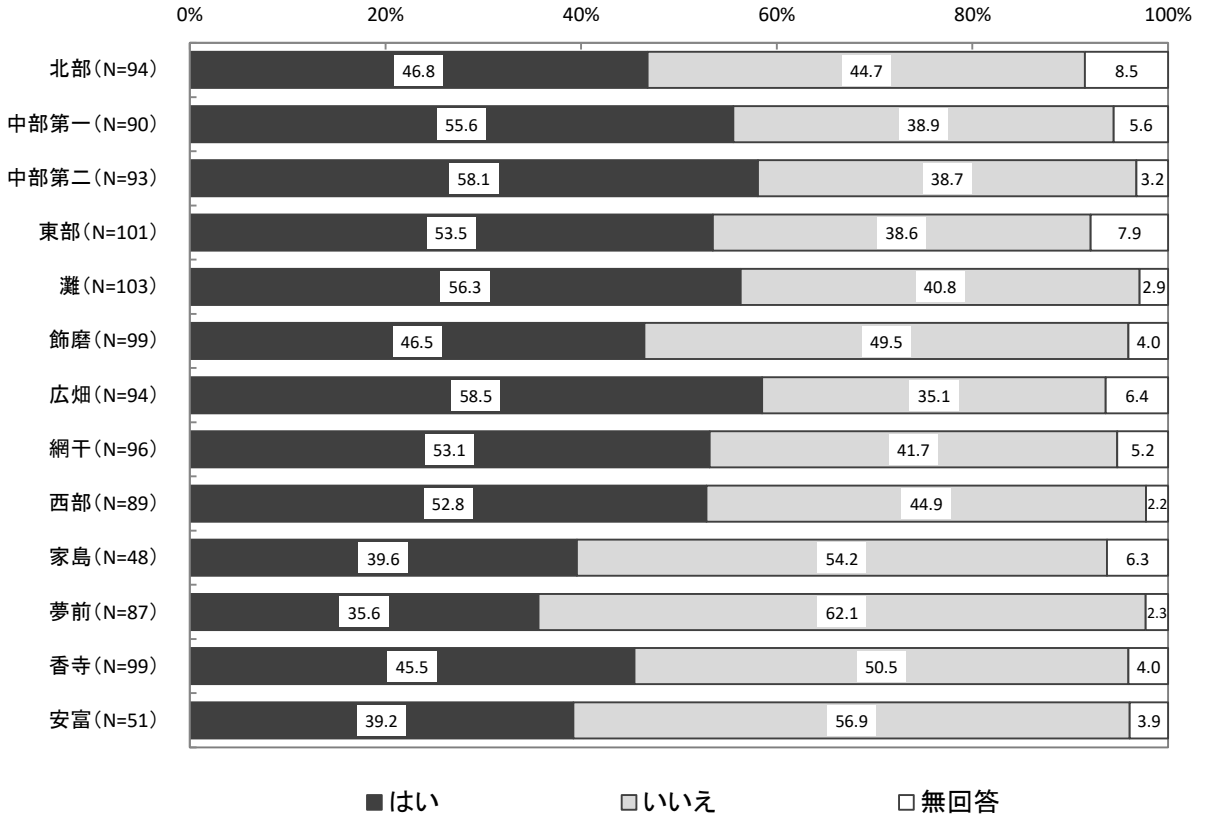


（N=1,144）

【問７（３）　一般高齢者／日常生活圏域別】

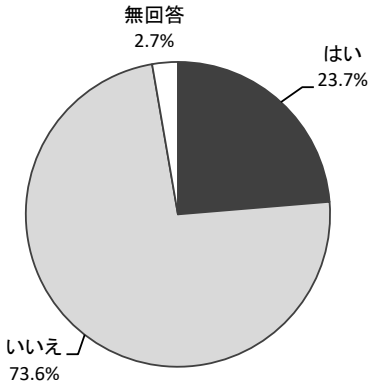


【問７（３）　要支援者／日常生活圏域別】



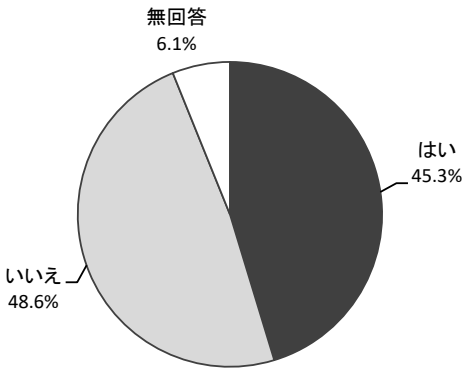
問７（４）この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

【一般高齢者】



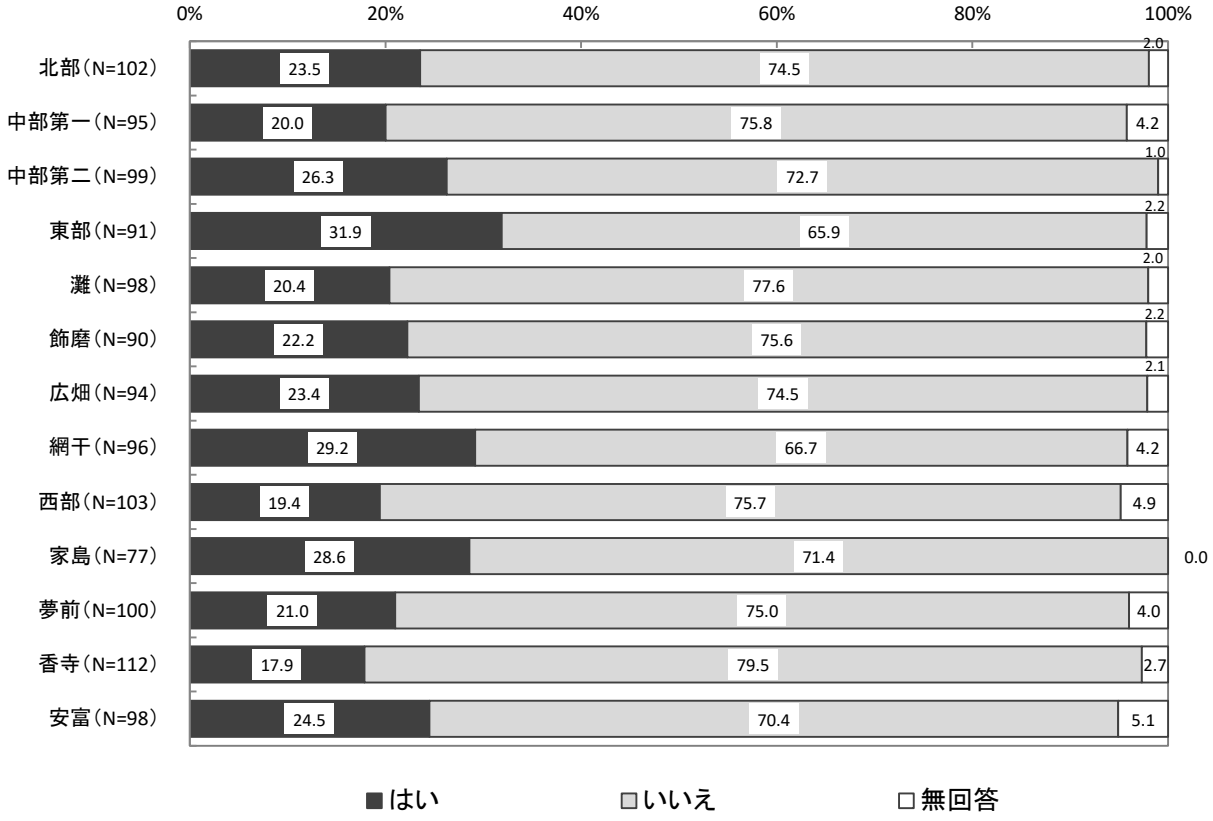
（N=1,255）

【要支援者】

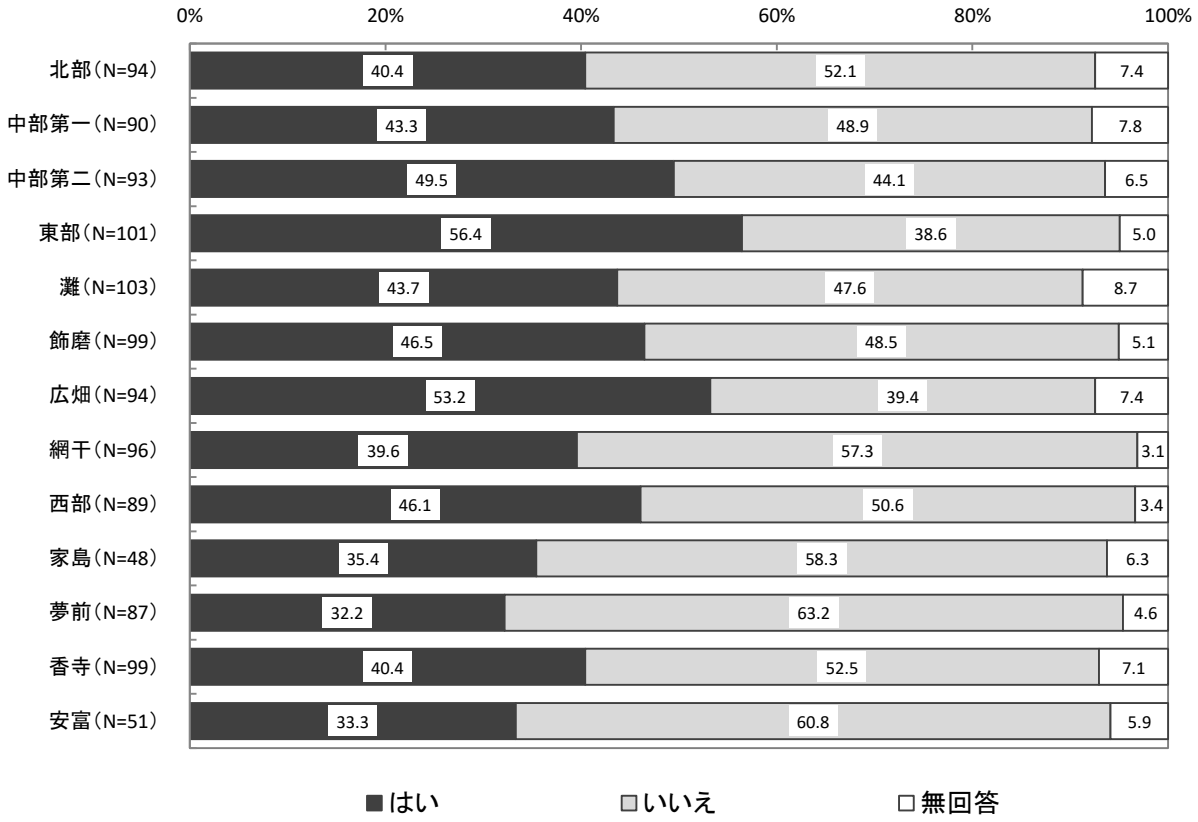


（N=1,144）

【問７（４）　一般高齢者／日常生活圏域別】



【問７（４）　要支援者／日常生活圏域別】

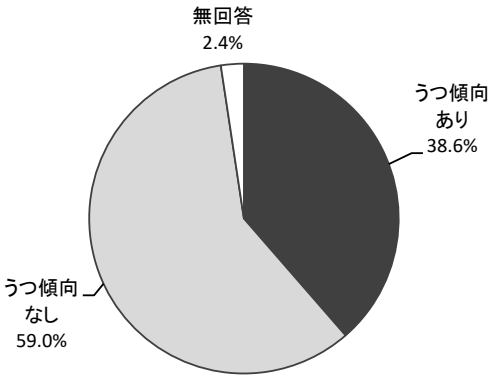


問７　うつ傾向の判定

※うつ傾向の判定方法

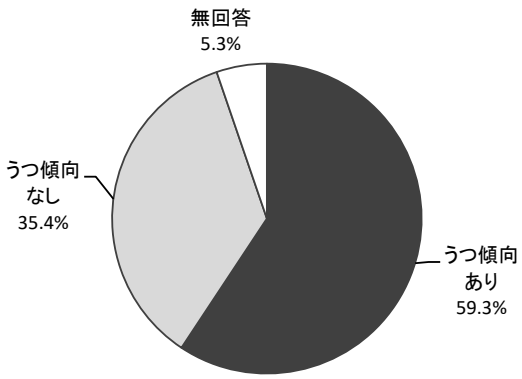
問７（３）・（４）で、いずれか１つでも「はい」が回答された場合、『うつ傾向あり』として集計。

【一般高齢者】



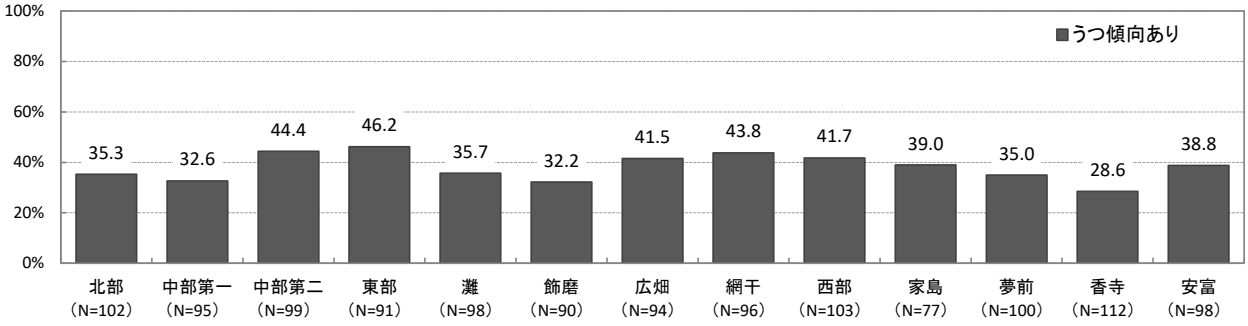
（N=1,255）

【要支援者】

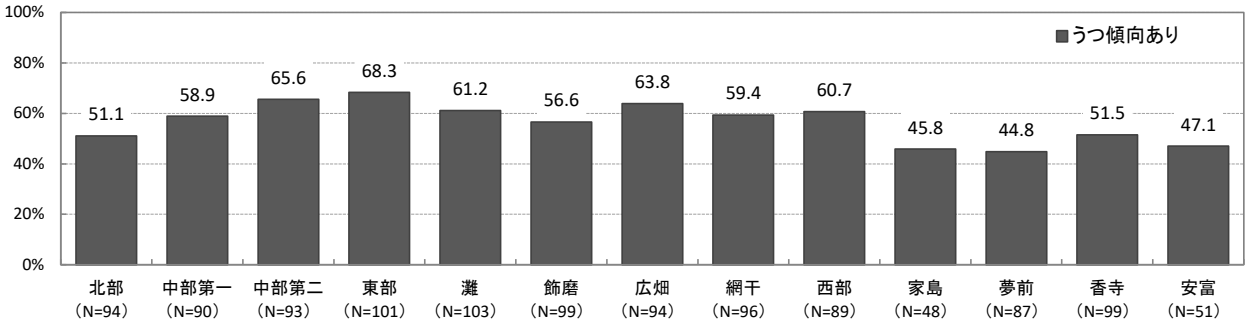


（N=1,144）

【問７　うつ傾向の判定　一般高齢者／日常生活圏域別】

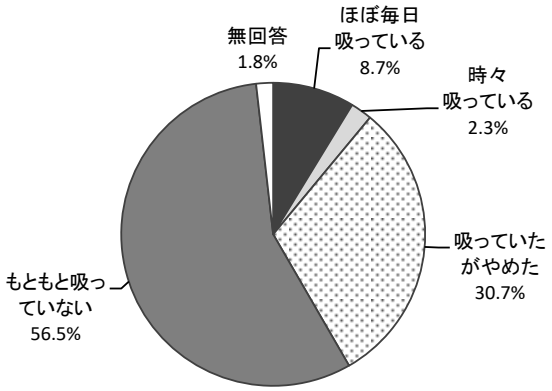


【問７　うつ傾向の判定　要支援者／日常生活圏域別】



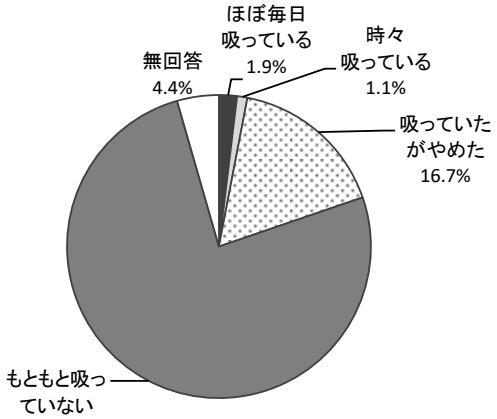
問７（５）タバコは吸っていますか

【一般高齢者】



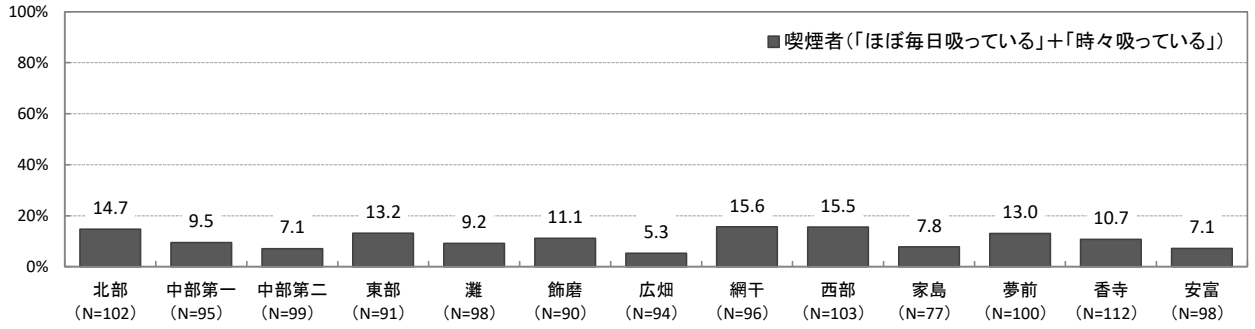
（N=1,255）

【要支援者】

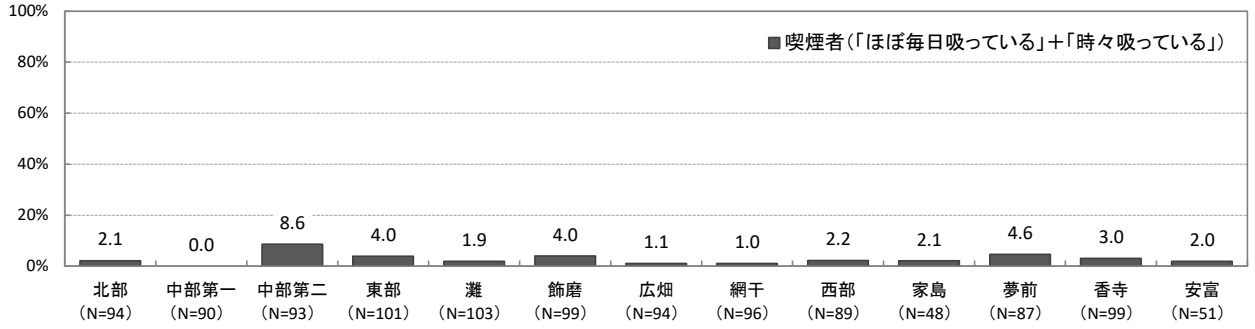


（N=1,144）

【問７（５）　一般高齢者／日常生活圏域別】

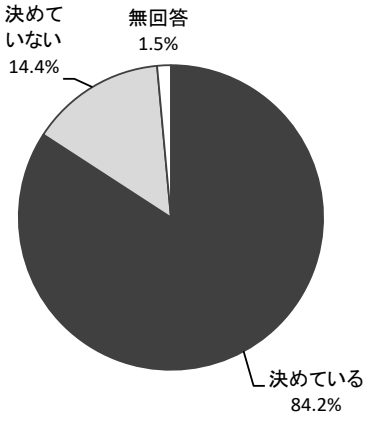


【問７（５）　要支援者／日常生活圏域別】



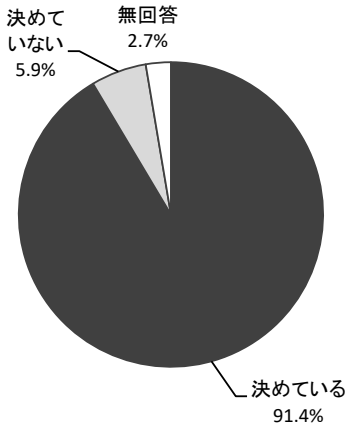
問７（６）体調が悪いときにまず診てもらったり、日頃から健康について相談したりできる「かかりつけ医」を決めていますか

【一般高齢者】



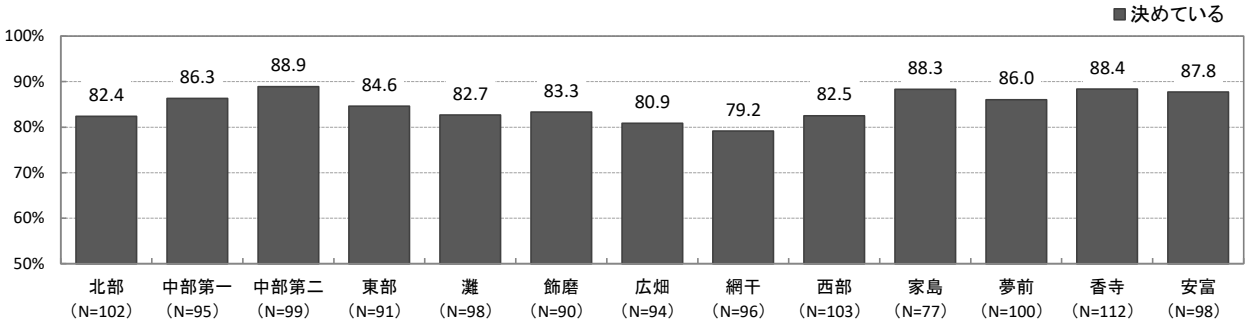
（N=1,255）

【要支援者】

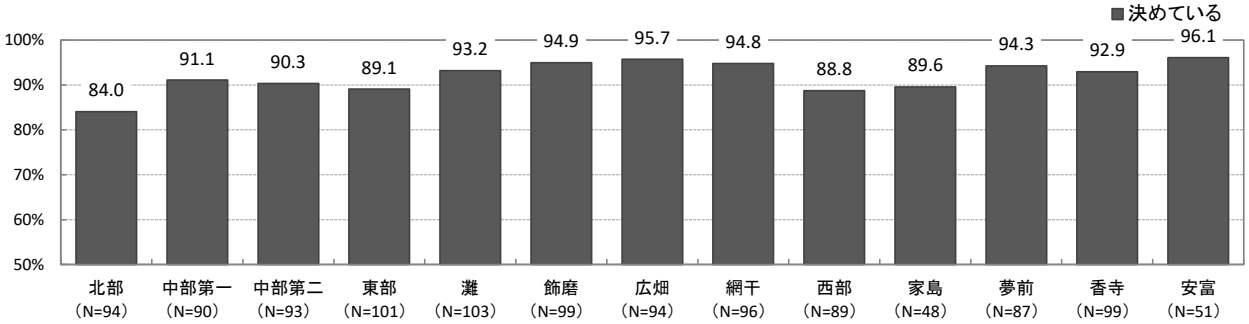


（N=1,144）

【問７（６）　一般高齢者／日常生活圏域別】

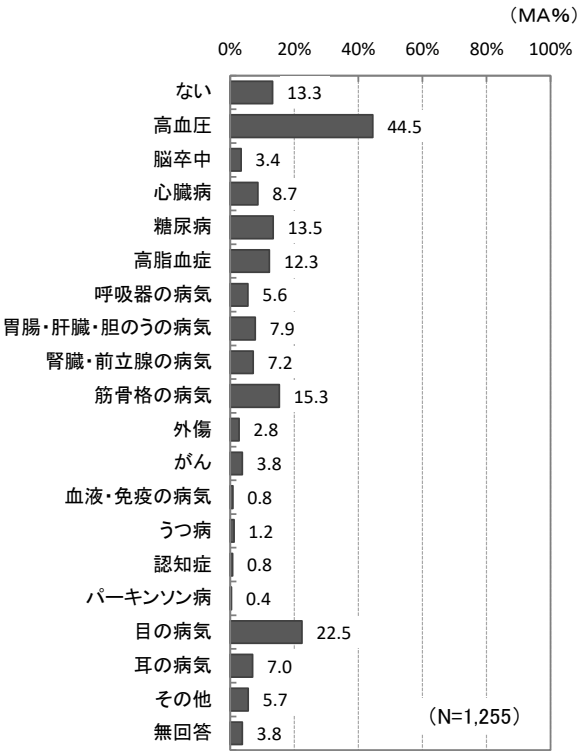


【問７（６）　要支援者／日常生活圏域別】

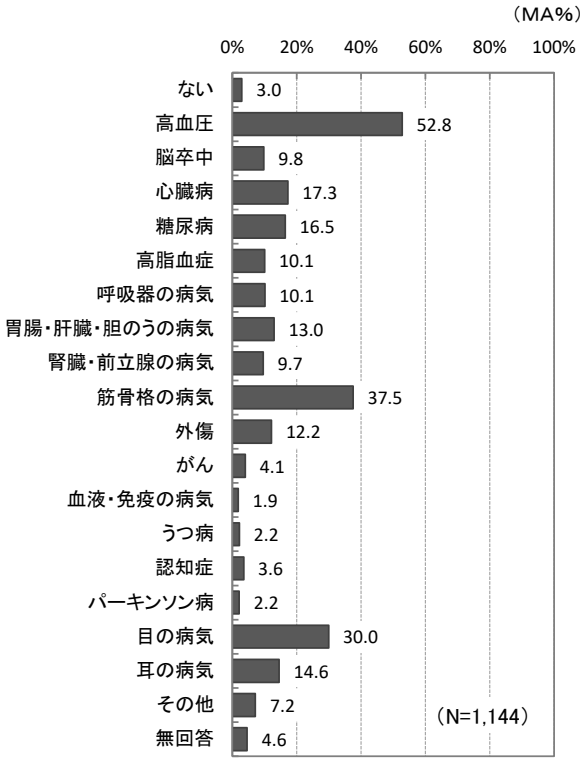


問７（７）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

【一般高齢者】



【要支援者】



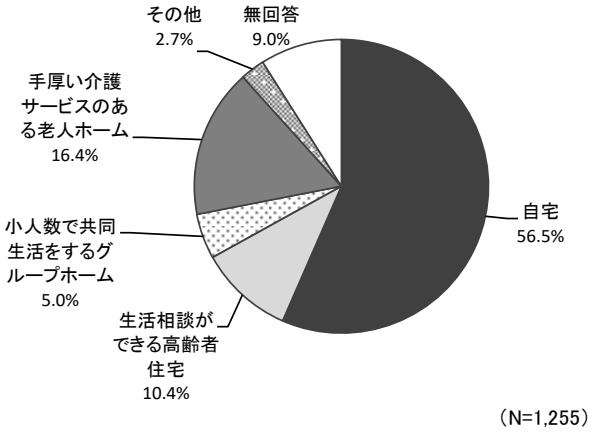
9　将来について

今後、介護・介助が必要となった場合に住みたい場所として、一般高齢者は6割近くが自宅を、約3割が施設を希望している。要支援者は一般高齢者と比べて自宅の割合がやや少なく約5割、施設の割合がやや多く約4割となっている。

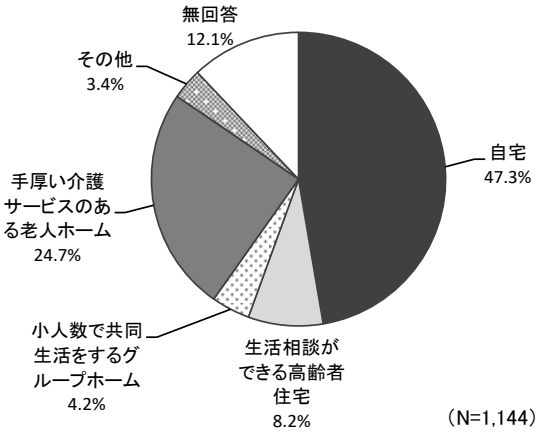
施設入所に対しては、一般高齢者・要支援者ともに経済的な不安が大きいとの回答が多い。

問８（１）今後、介護・介助が必要となった場合、どのような場所で暮らしたいですか

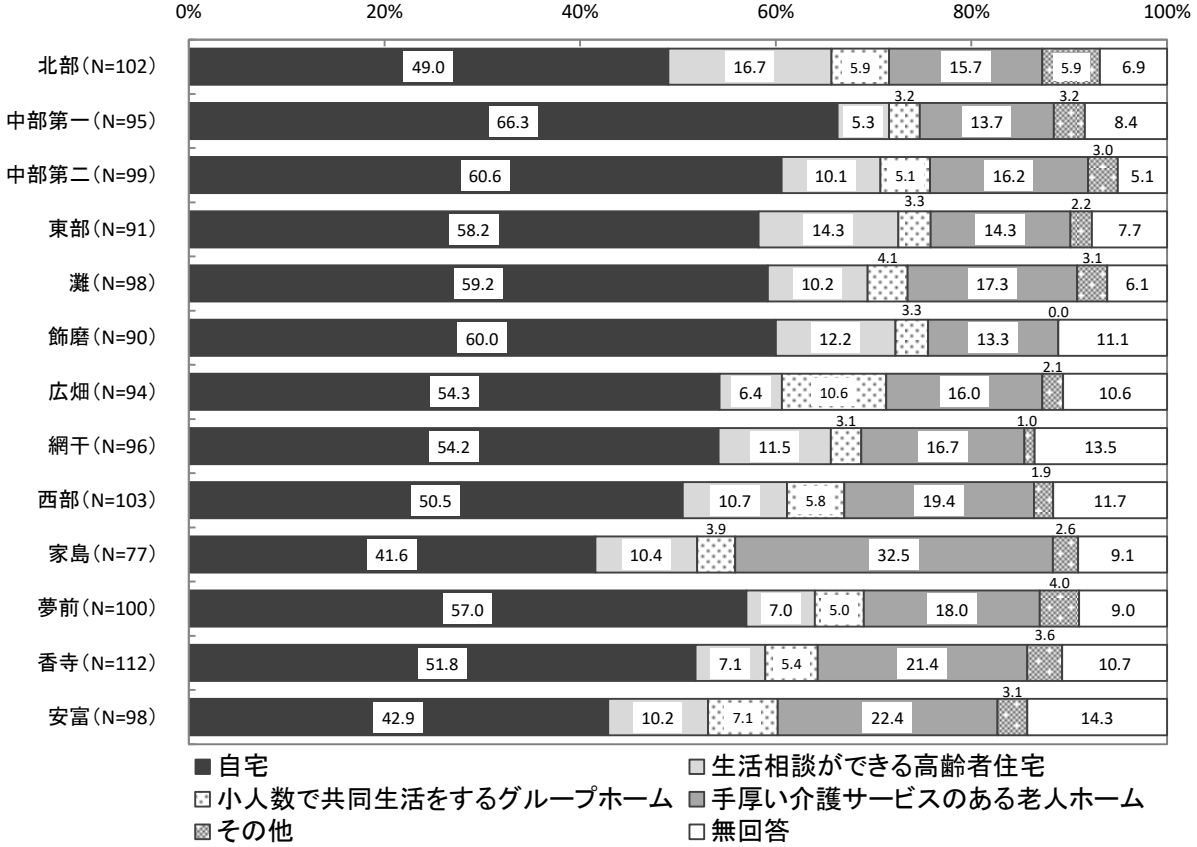
【一般高齢者】



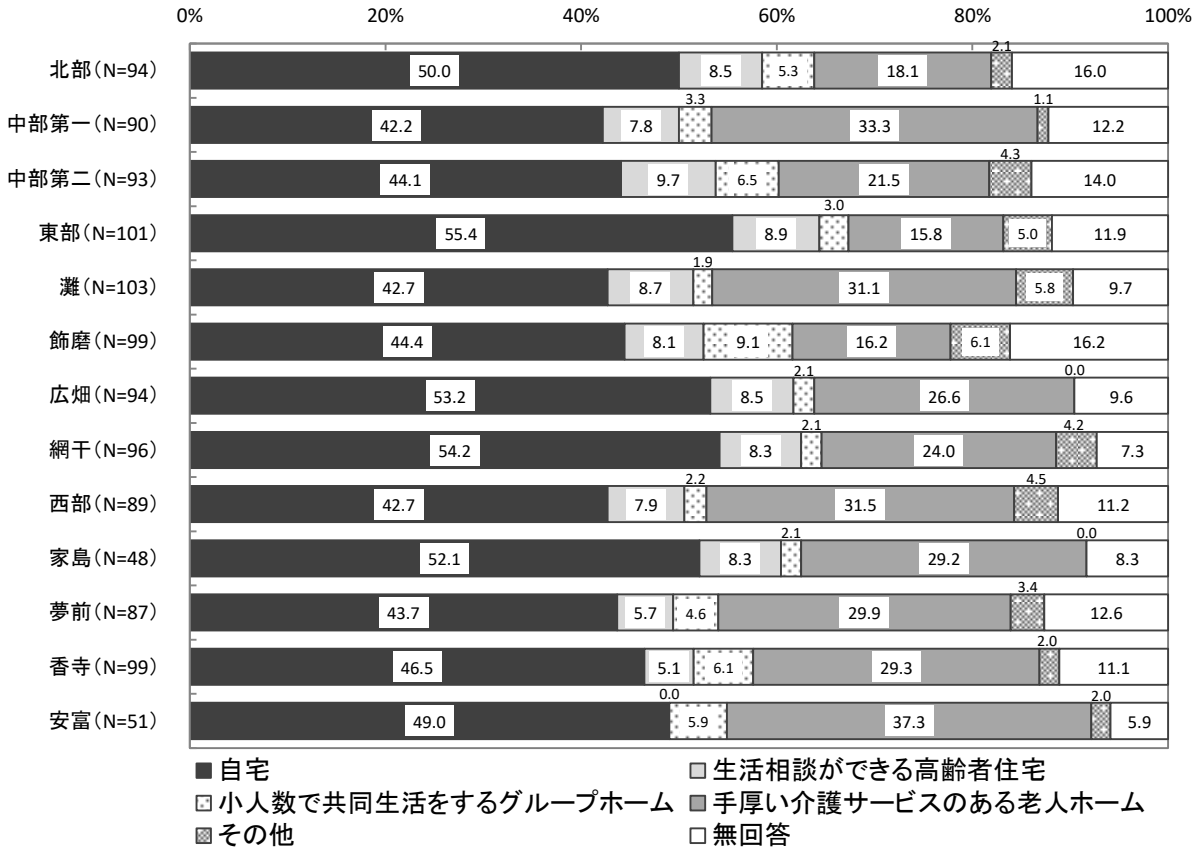
【要支援者】



【問８（１）　一般高齢者／日常生活圏域別】



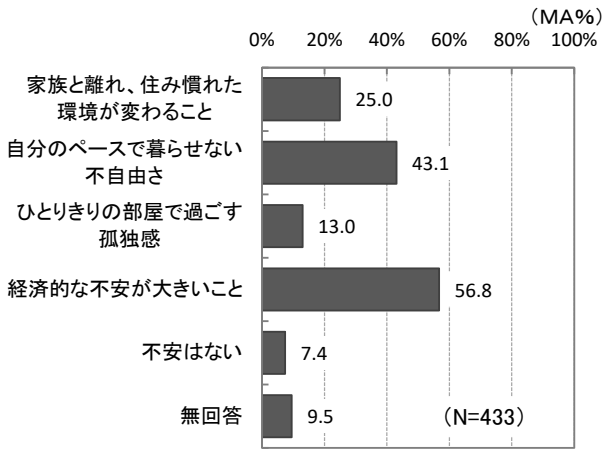
【問８（１）　要支援者／日常生活圏域別】



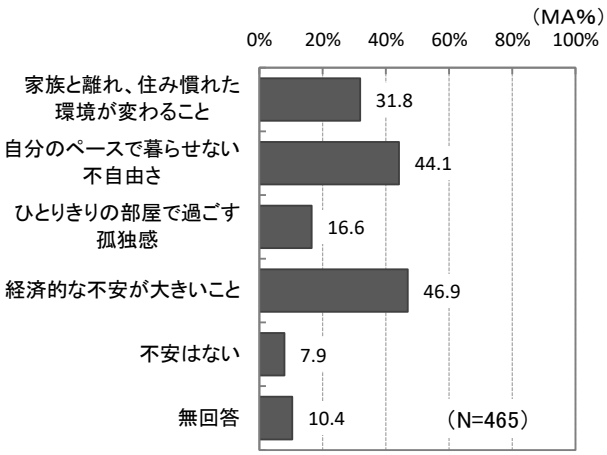
≪問８（１）において「自宅」以外の方のみ≫

問８（１）①施設に入所することに対して、どのような不安を感じていますか（いくつでも）

【一般高齢者】



【要支援者】

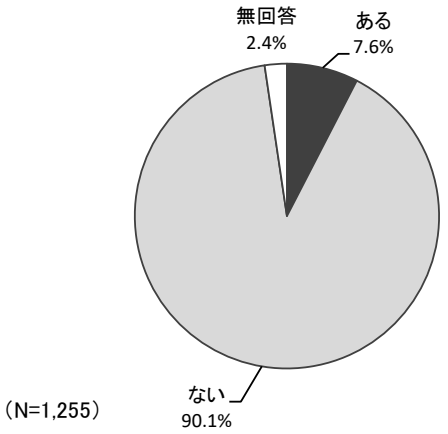


10　地域包括支援センターについて

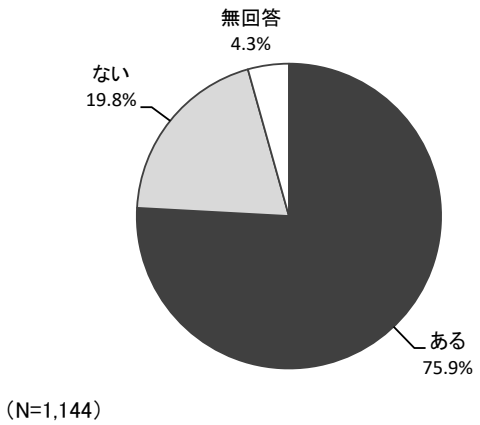
地域包括支援センターを利用したことがある割合は、一般高齢者では約１割だが、要支援者では８割近くある。
地域包括支援センターを利用した感想は、主に「話しやすさ」との理由で、一般高齢者の約８割、要支援者の約９割が満足と回答している。

問９（１）地域包括支援センターを利用したことがありますか

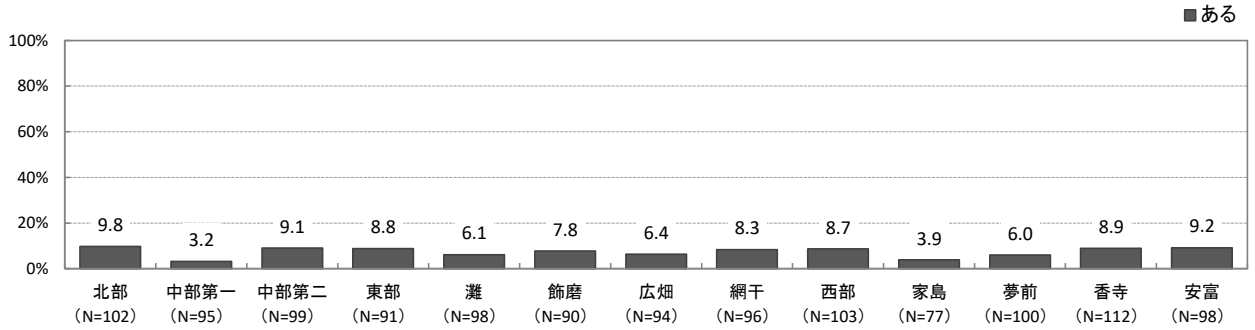
【一般高齢者】



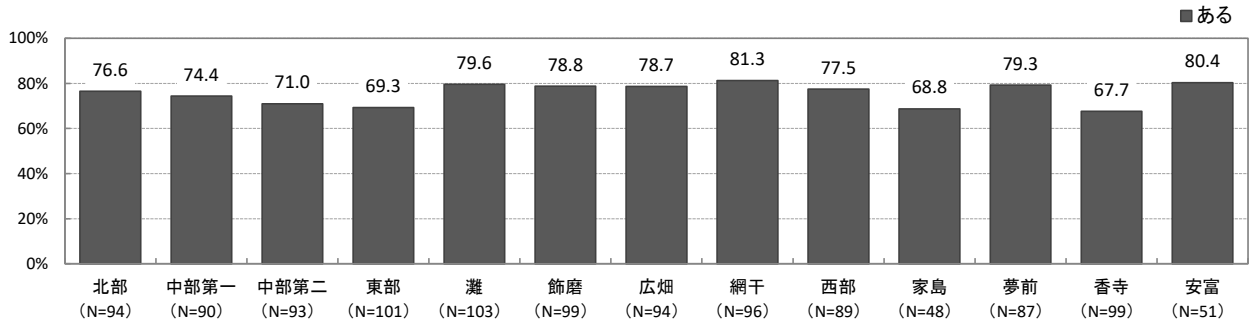
【要支援者】



【問９（１）　一般高齢者／日常生活圏域別】



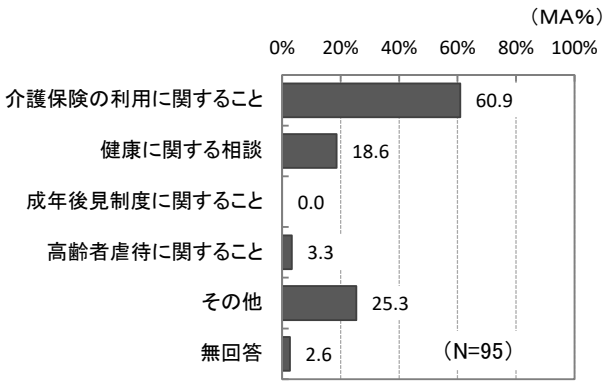
【問９（１）　要支援者／日常生活圏域別】



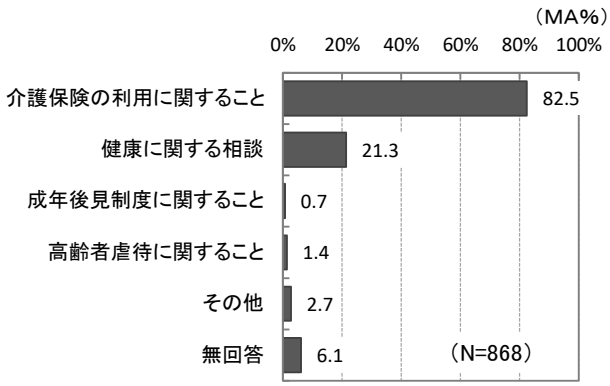
≪問９（１）において「ある」の方のみ≫

問９（１）①どのようなことで利用しましたか（いくつでも）

【一般高齢者】



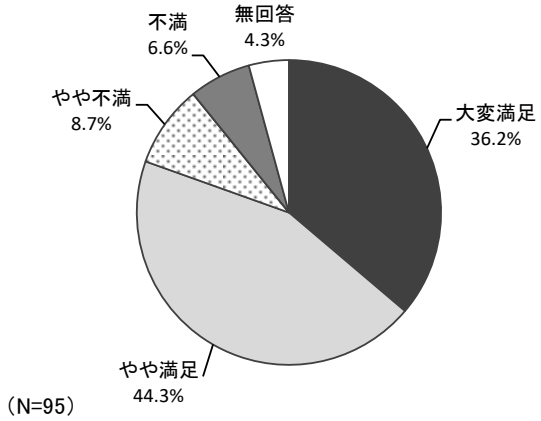
【要支援者】



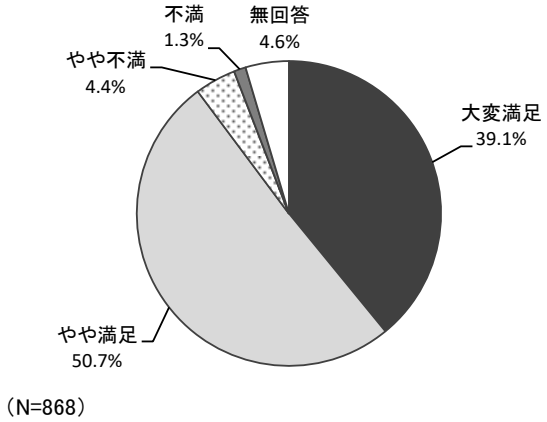
≪問９（１）において「ある」の方のみ≫

問９（１）②地域包括支援センターを利用して、どのような感想をもちましたか

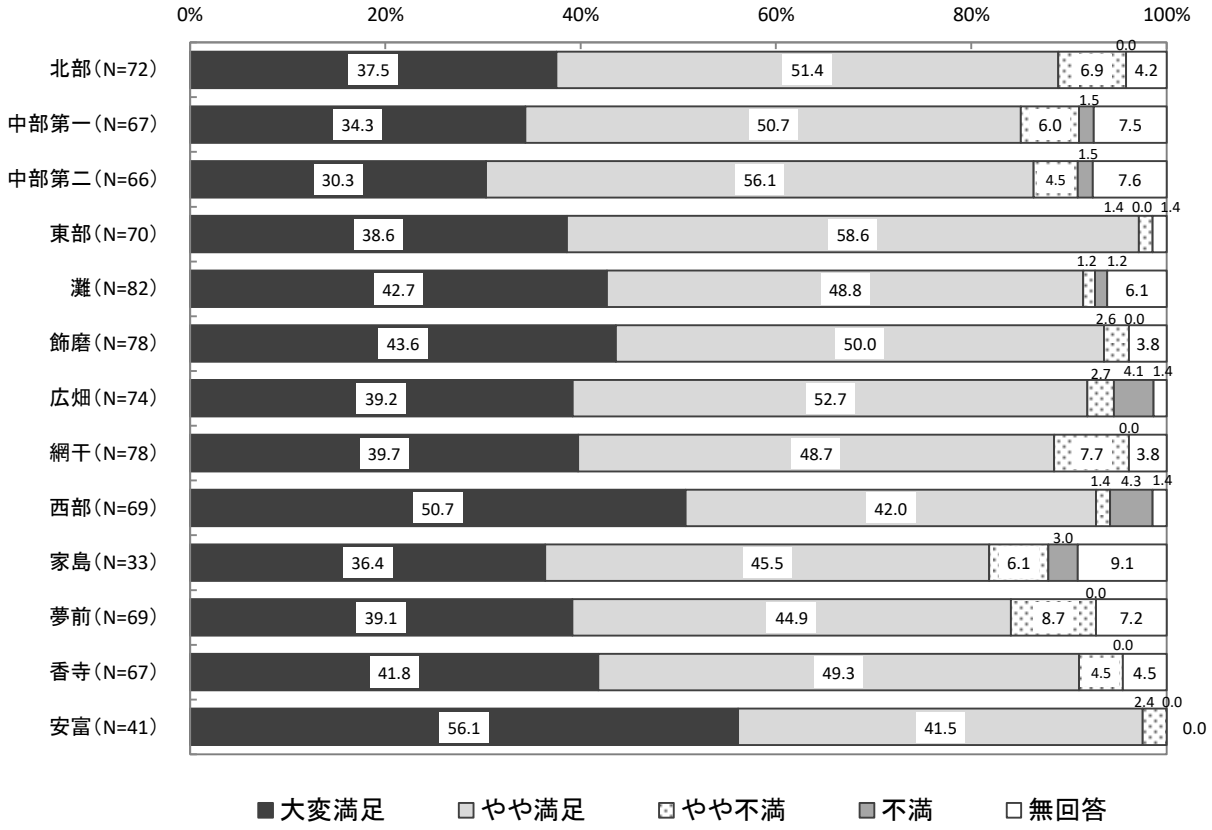
【一般高齢者】



【要支援者】



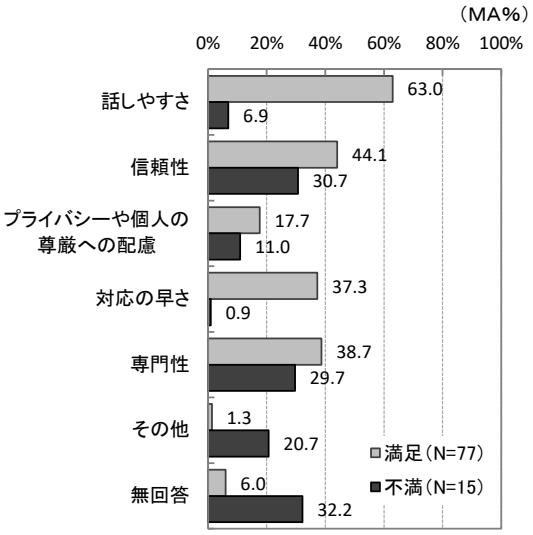
【問９（１）②　要支援者／日常生活圏域別】



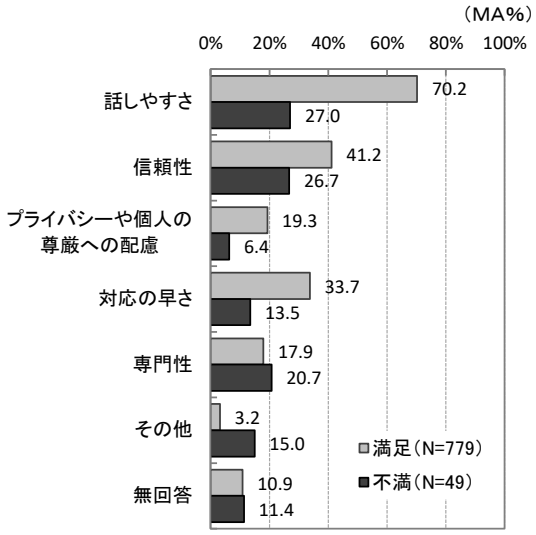
≪問９（１）において「ある」の方のみ≫

問９（１）③　②の感想を選んだ理由はなんですか（いくつでも）

【一般高齢者／利用の感想別】



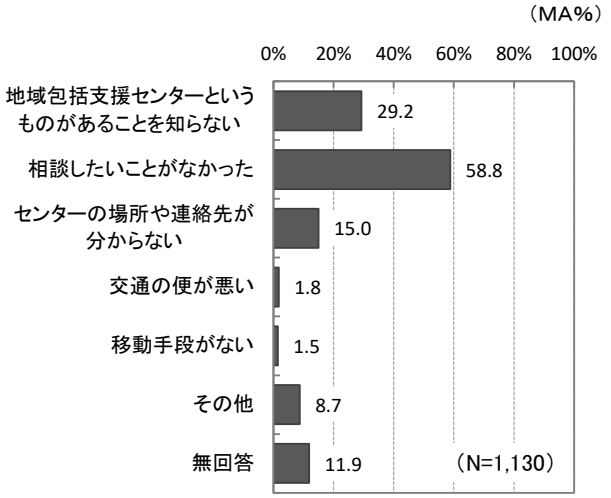
【要支援者／利用の感想別】



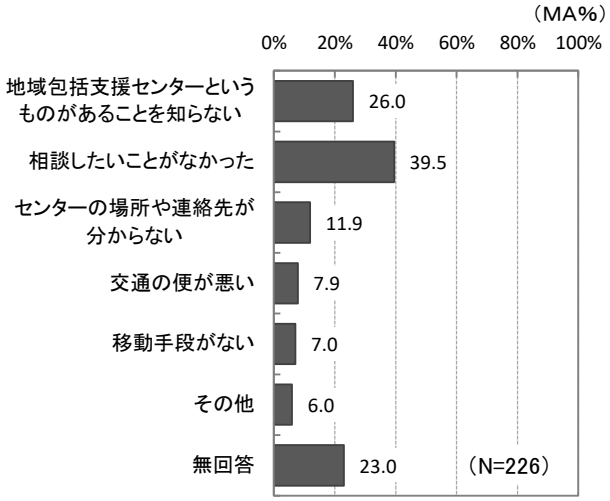
≪問９（１）において「ない」の方のみ≫

問９（１）④地域包括支援センターを利用したことがない理由はなんですか（いくつでも）

【一般高齢者】



【要支援者】



11　ボランティアについて

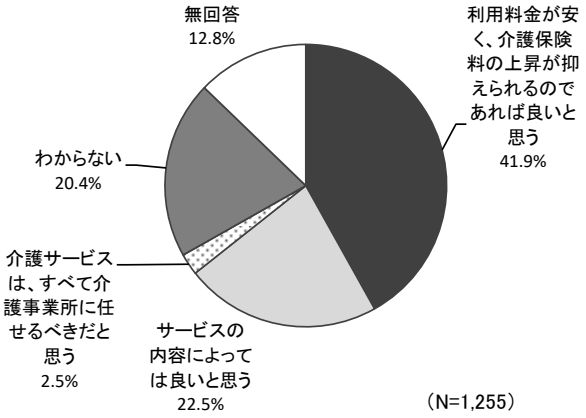
ボランティアによる高齢者の生活支援サービスの提供については、一般高齢者の 6 割あまり、要支援者の 5 割あまりが肯定的な意見となっている。

内容によっては良いと思うボランティアによるサービスは、一般高齢者、要支援者ともに「掃除」との回答が最も多い。

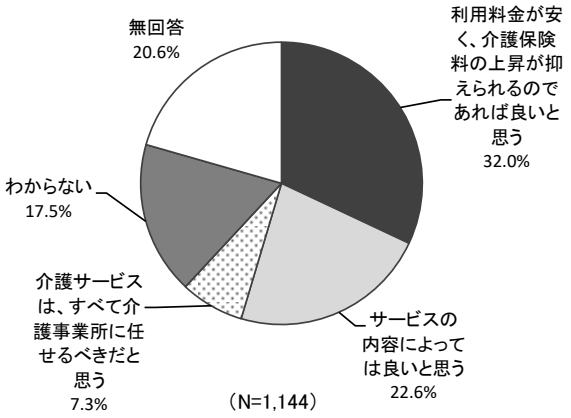
自身が高齢者の生活支援サービスの提供者となることについては、一般高齢者では 3 割近く、要支援者では約 1 割が前向きな回答をしており、その活動内容として、家事援助を挙げる回答は比較的少なく、趣味のグループや介護施設の手伝い、話し相手、見守りを挙げる回答がやや多くなっている。

問 10（1）高齢者の生活を支援するボランティアについて、あなたが介護の必要な状態となった場合を想定してください。ボランティアによるサービス提供についてどう思いますか

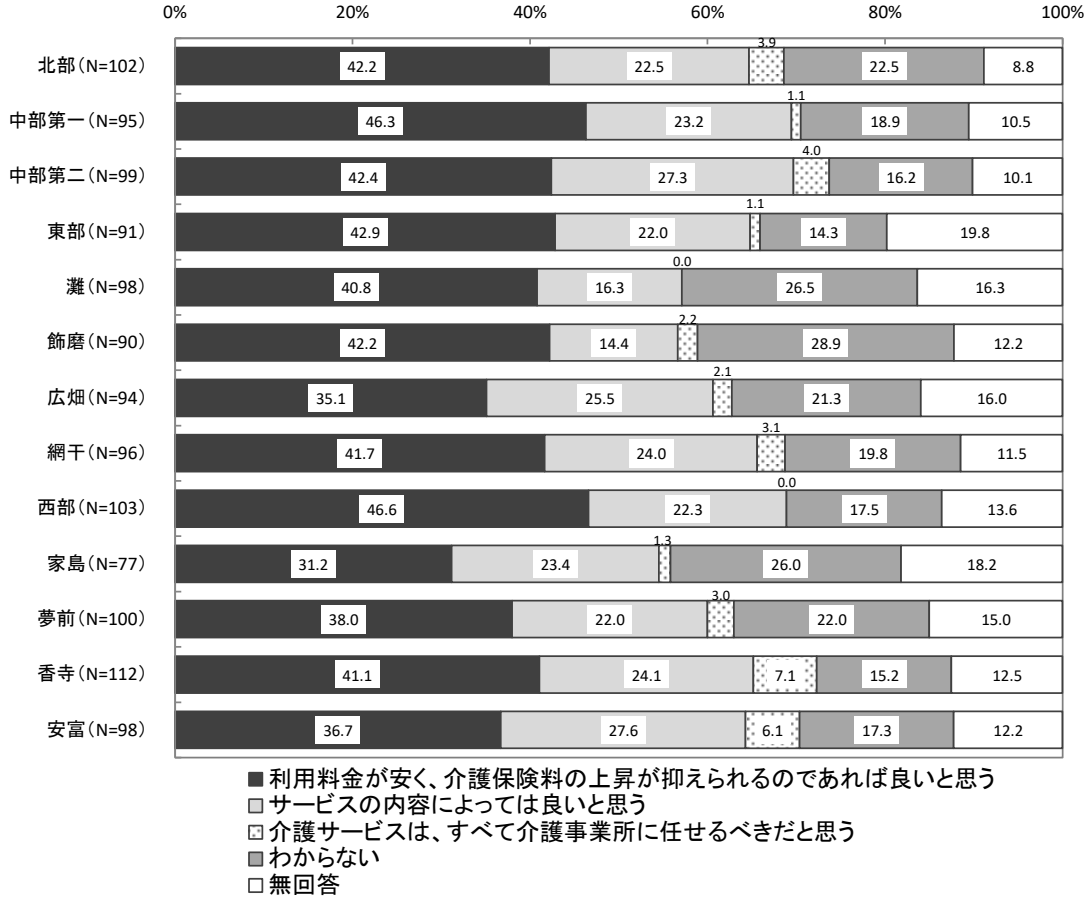
【一般高齢者】



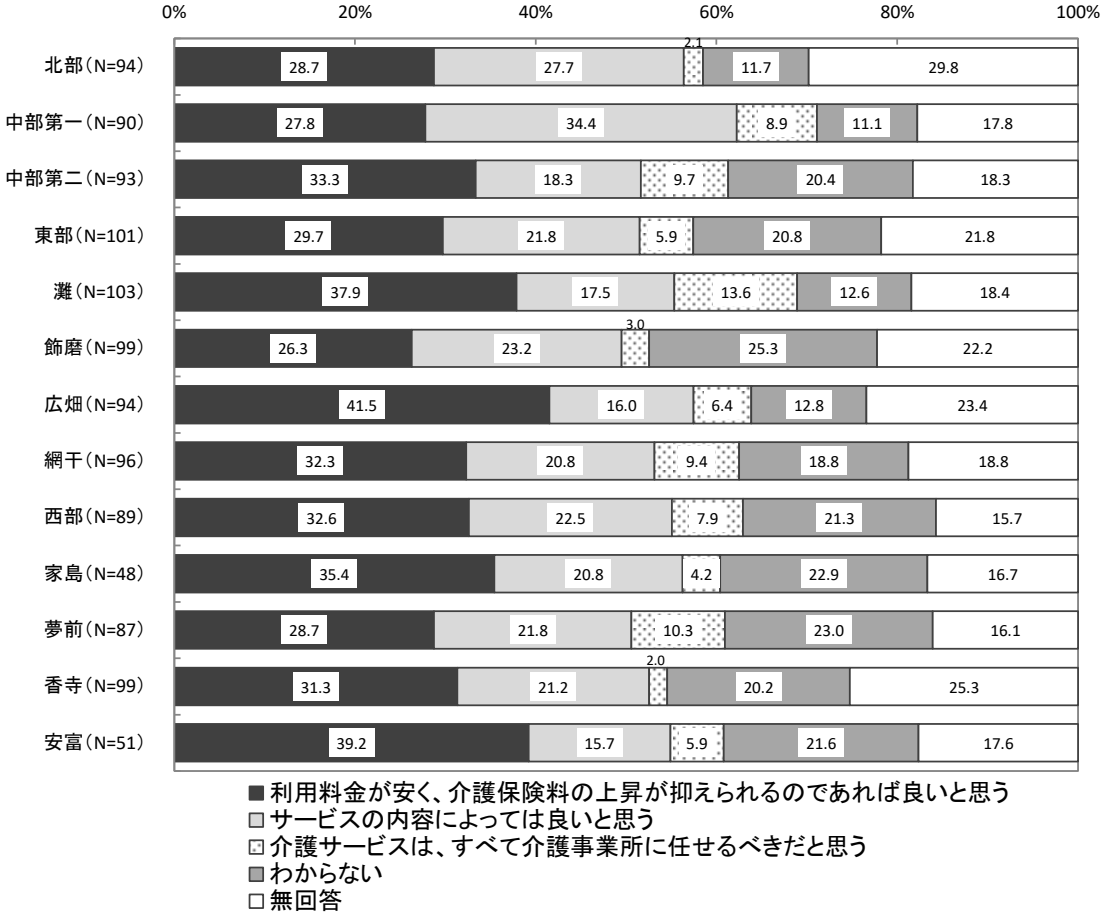
【要支援者】



【問 10（１）　一般高齢者／日常生活圏域別】



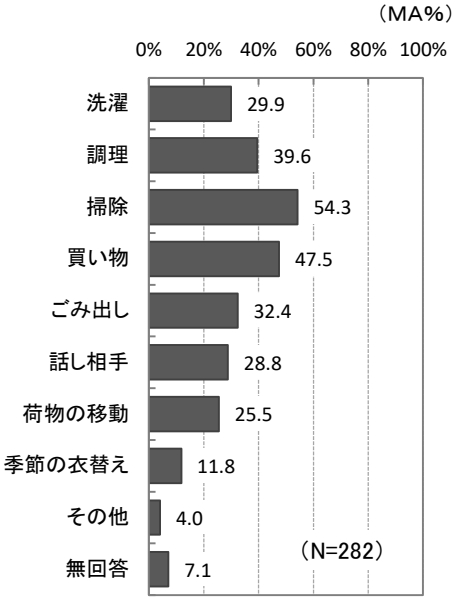
【問 10（１）　要支援者／日常生活圏域別】



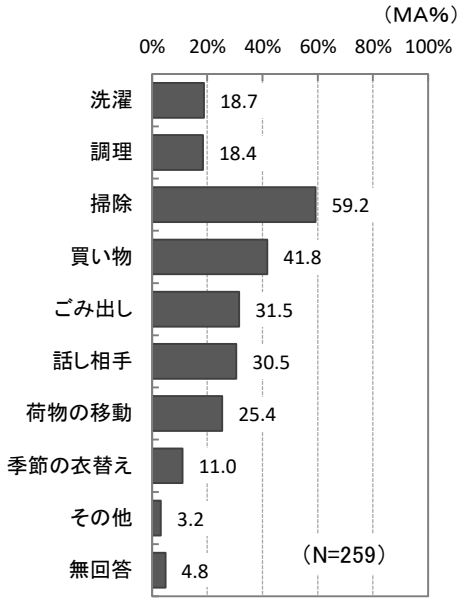
≪問 10（１）において「サービスの内容によっては良いと思う」の方のみ≫

問 10（１）①どのようなサービスであれば利用したいですか（いくつでも）

【一般高齢者】

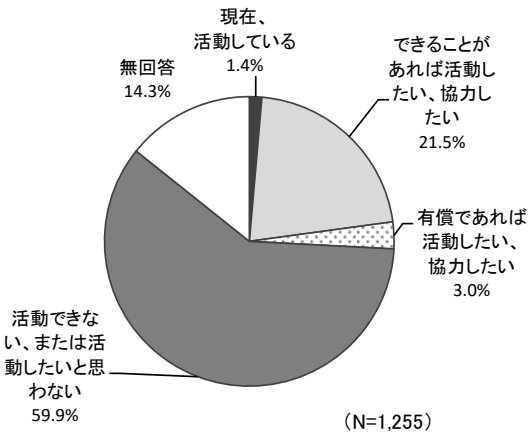


【要支援者】

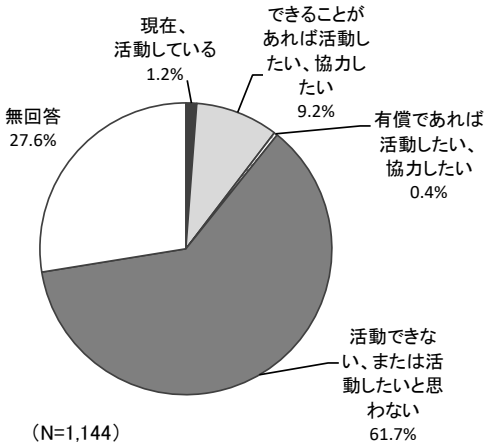


問 10（２）高齢者の生活を支援するボランティアについて、ボランティアとして利用者の自宅や介護サービス施設で活動したいと思いますか

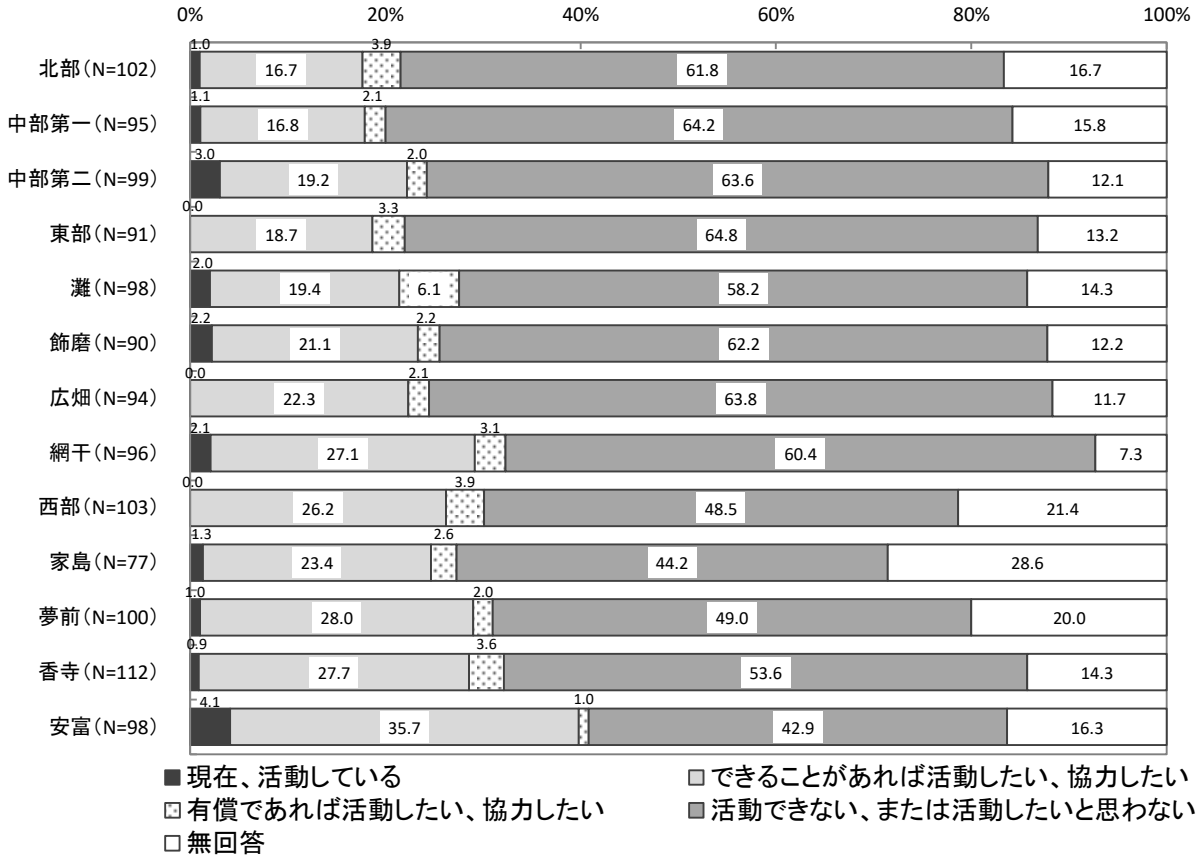
【一般高齢者】



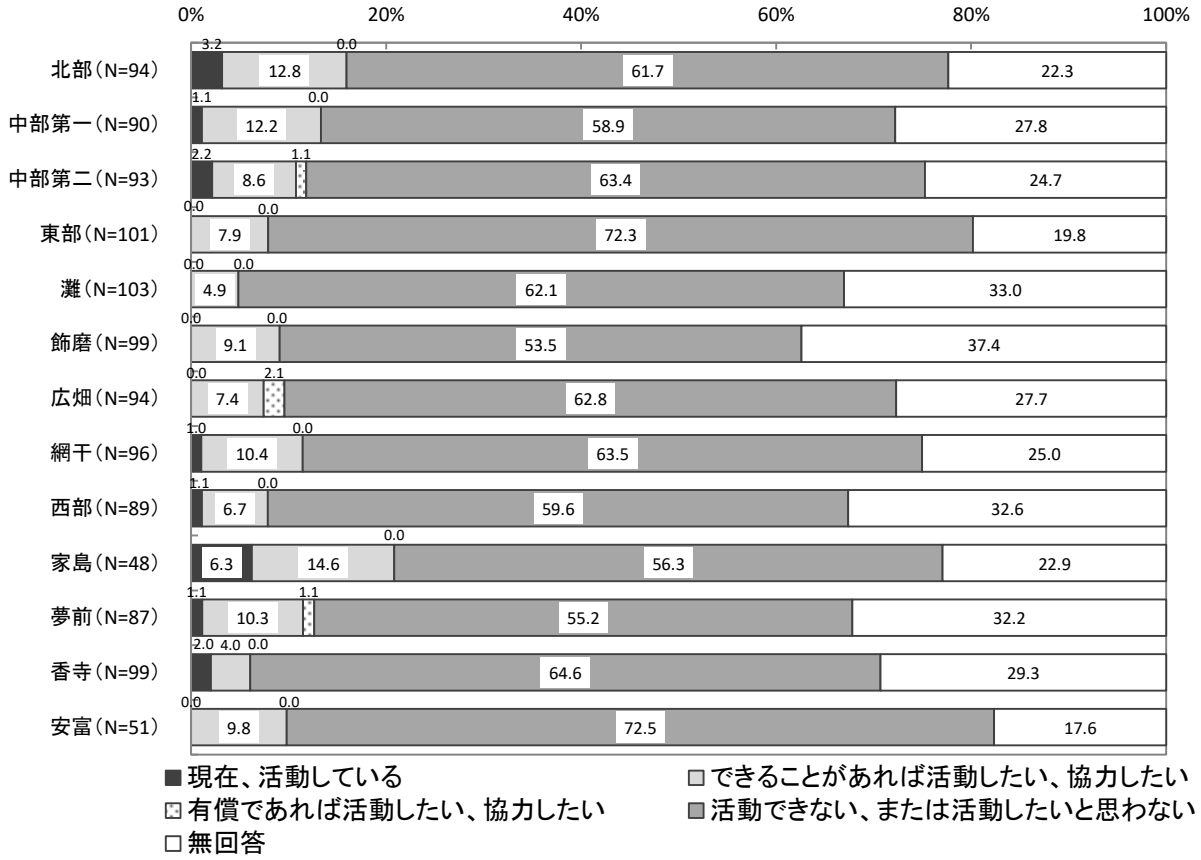
【要支援者】



【問 10（２）　一般高齢者／日常生活圏域別】



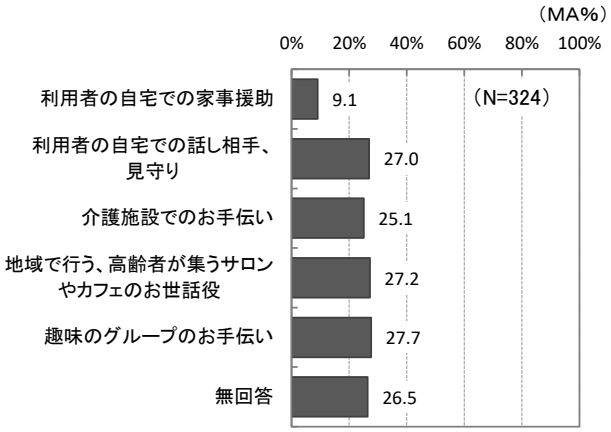
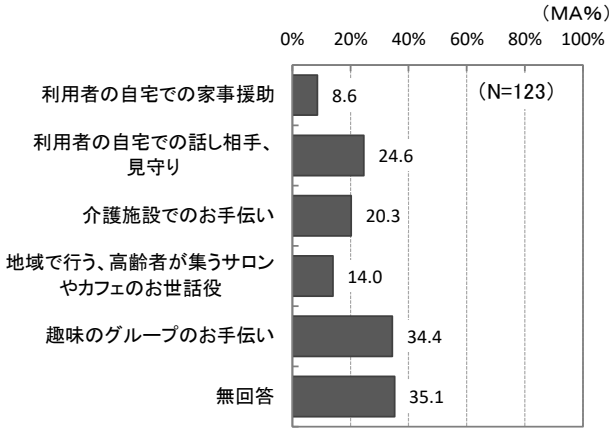
【問 10（２）　要支援者／日常生活圏域別】



≪問 10（２）において「活動できない、または活動したいと思わない」以外の方のみ≫

問 10（２）①ボランティアとしてどのような活動をしたいですか（いくつでも）

【一般高齢者】



【要支援者】